

# 足立区立小・中学校の 適正規模・適正配置の実現に向けて

- これからの 25 年を考える適正規模・適正配置のガイドライン -

平成 21 年 5 月

足立区教育委員会

## 目 次

- はじめに -

### 第 1 章 足立区立小・中学校の現状

- 1 区立小・中学校の児童・生徒数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 ページ
- 2 適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み・・・・・・・・・・・・2 ページ
- 3 区立小・中学校の規模の推移と平成 2 0 年度の状況・・・・・・・・・・・・4 ページ
- 4 将来の区内人口とさらなる区立小・中学校の小規模化・・・・・・・・・・・・5 ページ
- 5 学校を取り巻く環境の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6 ページ

学校選択制度を導入しています。

小中一貫校が開設しました。

多くの小・中学校が改築の時期を迎えようとしています。

「学校の適正規模・適正配置」は全国的な課題です。

### 第 2 章 足立区の適正規模・適正配置のガイドライン

- 1 適正規模・適正配置の基準等の見直しと「ガイドライン」の位置づけ・・・8 ページ
- 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9 ページ

適正規模について

適正配置について

学区域の変更について

- 3 適正規模・適正配置基準の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10 ページ

#### [適正規模の基準]

「12 学級から 24 学級」を適正規模とします。

「6 学級以下」は過小規模とします。

「25 学級以上」は大規模とします。

「児童・生徒数の考え方」は、適切な時期に見直しを行います。

#### [適正配置の基準]

「小学校 800m 以内・中学校 1200m 以内」を一つの目安とします。

可能な限り「通学区域」や「通学路」の考え方にあわせていきます。

鉄道・河川・幹線道路を目安に、ある程度のエリアを一体的に検討します。

## 目 次

### 第3章 今後の適正規模・適正配置に向けた事業展開

- 1 今後の適正規模・適正配置の検討の進め方・・・・・・・・・・・・・14 ページ  
第一に、「適正規模化」を検討します。  
第二に、「適正配置化」を検討します。  
「建物の建築年」を考慮します。  
「統合地域協議会」を開催しながら議論を深めていきます。  
8年ごとに見直しを行いながら事業を進めていきます。
- 2 児童・生徒数の推計と将来必要となる小・中学校数・・・・・・・・・・・・・16 ページ
- 3 これまでの事業計画の進捗と当面の取り組み・・・・・・・・・・・・・18 ページ  
平成7年度に計画された事業の進捗状況  
当面の取り組み
- 4 小学校・中学校の詳細分析・・・・・・・・・・・・・24 ページ  
小学校 72校の学校基礎データ（全72校の学校別データシート）  
中学校 37校の学校基礎データ（全37校の学校別データシート）

#### [資料編]

- 資料 1 平成 20 年度 足立区立小学校学区域図
- 資料 2 平成 20 年度 足立区立中学校学区域図
- 資料 3 平成 20 年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧
- 資料 4 昭和 54 年度以降の児童・生徒数等の推移
- 資料 5 平成 7 年度以降の学校規模(学級数)の推移
- 資料 6 平成 20 年度現在の学区域内居住人数一覧
- 資料 7 区立小・中学校の建設年次一覧

このガイドラインは、平成 21 年 3 月に足立区教育委員会が区立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方を [検討素材] としてまとめたものを、平成 21 年 5 月に足立区および足立区教育委員会として決定したものです。

- はじめに -

## 「たくましく 生き抜く力を 育む」

～ 21世紀社会に対応する能力・学力を培う～

足立区と足立区教育委員会では、この基本理念のもと、平成20年度から「子ども施策3カ年重点プロジェクト推進戦略」を進めています。

この基本理念には、未来の足立区を担う子どもたちには、どんなに社会が変化しても、自分で考え、判断し、柔軟に対応できる力をつけてほしいという、いつの時代も変わらぬ願いが込められています。

その子どもたちが、成長期に多くの時間を過ごす小学校と中学校。その中で子どもたちは学習による基礎学力の向上はもちろん、日々の集団行動や遊び、部活動の中で友情を育み、切磋琢磨しながら成長していきます。

しかし、足立区の小・中学校の中には、改善の兆しをみせない少子化の影響を受けて小規模傾向が続いている学校があります。このことは、多くの友人や教師たちとふれあいながら育まれる社会性や人間力の向上に大きく影響をあたえます。

私たち足立区教育委員会は、足立区の小・中学校を適正な規模に整えること、そしてその教育環境を、可能な限りすべての小・中学校で同じように提供していくことが最も重要な教育施策のひとつであると考えています。

このたび、教育環境のさらなる充実を目指して「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて - これからの25年を考える適正規模・適正配置のガイドライン - 」をまとめました。このガイドラインでは、平成7年度に策定した「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書」を基本方針として引き続き推進するにあたり、区立学校の現状や今後の児童・生徒数の推計などを踏まえて計画内容を再確認し、今後の足立区の適正規模・適正配置の考え方や進め方をお示ししています。

このガイドラインを契機として、区立小・中学校の適正規模・適正配置の新たな一步を踏み出し、区民のみなさんと共に考え実行しながら、現在、そして未来の子どもたちのためのより良い教育環境の創造に向けて、全力で取り組んでまいります。

平成21年5月

足立区教育委員会

# 第1章 足立区立小・中学校の現状

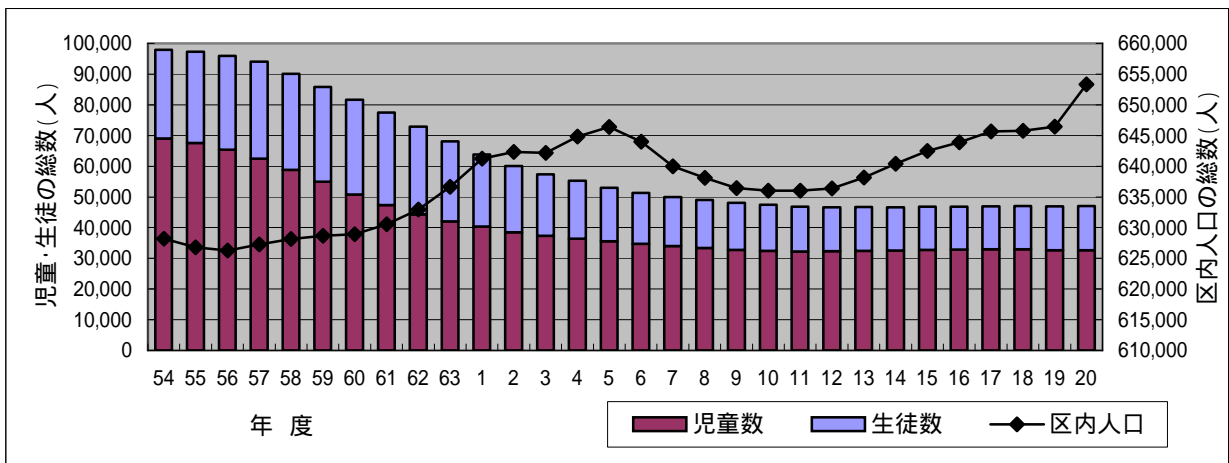
## 1 区立小・中学校の児童・生徒数の推移

足立区(以下「区」という。)では、昭和30年代の後半から都営住宅と公団住宅が大量に建設されたことから、急激な人口増加に対応するために多くの区立小・中学校(以下「小・中学校」という。)を建設してきました。その結果、昭和62年度には、小学校80校、中学校39校の計119校となり、23区の中で最も多くの学校を有していました。

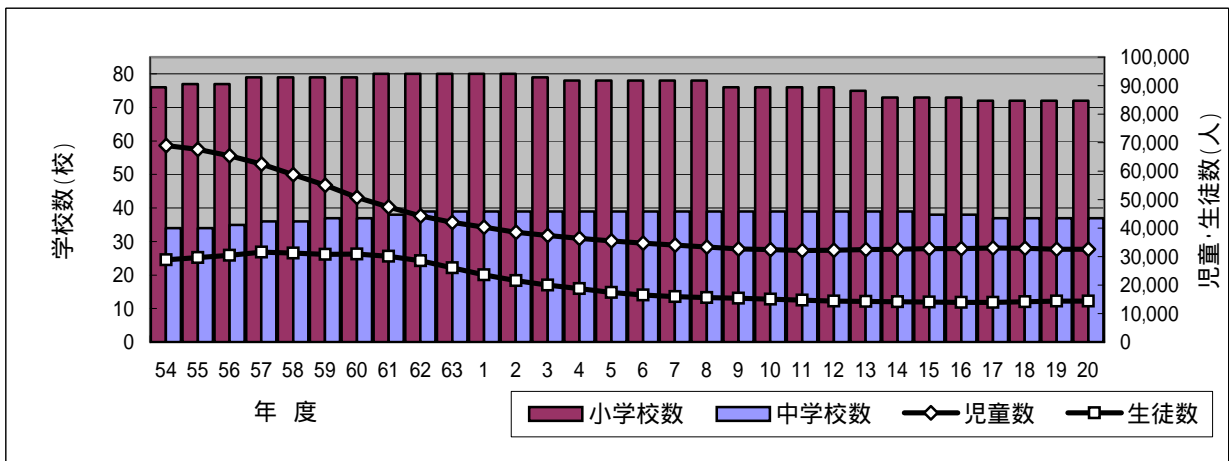
児童・生徒数の推移では、昭和54年度に児童数が69,033人、昭和57年度に生徒数が31,566人となりピークを迎えました。しかし、この時期を境に児童・生徒数の減少化が始まり、ピーク時と平成20年5月1日現在の比較では、児童数は32,633人で約52.7%減、生徒数は14,386人で約54.4%減となっています。

昭和54年度以降の児童・生徒数の推移を見ると、平成10年頃にかけて急激に減少しており、その後はほぼ横ばいとなっています。一方、区内人口は平成11年以降増加を続けており、区内人口に占める児童・生徒数の人口比は、昭和54年度の15.6%から平成20年度は7.2%にまで低下しています。

昭和54年度以降の児童・生徒数の総数と区内人口の推移



昭和54年度以降の学校数と児童および生徒数の推移



この2つのグラフの詳細データは、資料4「昭和54年度以降の児童・生徒数等の推移」に掲載しています。

## 2 適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み

足立区教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、減少する児童・生徒数の状況を受けて、昭和61年2月に、東京都足立区立小中学校適正規模及び適正配置審議会(以下「審議会」という。)に対して、「区立小学校及び中学校の適正規模に関すること」および「区立小学校及び中学校の適正配置に関すること」を諮問しました。

それを受けた審議会から、昭和63年2月に「足立区立小・中学校における適正規模ならびに適正配置について」(以下「昭和62年度の答申」という。)が教育委員会に対して答申され、小・中学校の適正規模・適正配置に向けた本格的な事業展開がスタートしました。この答申では、適正な学校規模や通学距離などが具体的に示され、今日においても区の適正規模・適正配置の基本的な考え方となっています。

昭和62年度の答申後、教育委員会では、いくつかの計画を策定しながら、小・中学校の適正規模・適正配置を進めてきました。その中でも、平成7年12月に策定した「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書」(以下「平成7年度の報告書」という。)は、平成10年度から平成44年度までの35年間におよぶ長期的な計画であり、平成20年度は前期の10年が終了し、中期17年の最初の年度となっています。

区では、平成7年度の報告書の策定以降、千住地域を中心に、小・中学校の適正規模・適正配置をさらに進めてきました。その結果、平成20年度現在では、小学校72校、中学校37校の合計109校となっています。

「昭和62年度の答申」以降の主な適正規模・適正配置に関する計画および統合実施校

年度	区分	計画・報告書等の名称および統合を実施した小・中学校
昭和62	計画	足立区立小・中学校における適正規模ならびに適正配置について(答申)
平成元	計画	足立区立小学校適正配置計画
平成3	統合	千寿本町小学校の開校(千寿第一小学校と千寿旭小学校を統合)
平成4	統合	千寿桜小学校の開校(千寿第六小学校と千寿第七小学校を統合)
平成5	計画	足立区立学校の適正規模・適正配置ならびに改築計画について
平成7	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書
平成9	統合	桜花小学校の開校(花畑東小学校と桑袋小学校を統合) 西保木間小学校の開校(淵江第二小学校と竹の塚北小学校を統合)
平成12	計画	千住地域の小・中学校の適正配置全体計画 - 改築・適正配置5ヵ年計画 -
平成13	統合	足立入谷小学校の開校(入谷小学校と入谷南小学校を統合)
平成14	統合	千寿小学校の開校(千寿小学校と千寿第二小学校を統合) 千寿常東小学校の開校(千寿第四小学校と柳原小学校を統合)
平成15	統合	千寿青葉中学校の開校(第三中学校と第十五中学校を統合)
平成17	統合	千寿双葉小学校の開校(千寿第三小学校と元宿小学校を統合) 千寿桜堤中学校の開校(第二中学校と第十六中学校を統合)

## 「昭和 62 年度の答申」の概要

### 適正規模の基準

	小学校	中学校
適正規模	12～24 学級(標準児童数 370～840 人)	12～24 学級(標準生徒数 420～880 人)
過小規模校	6 学級以下もしくは 180 人以下	6 学級以下もしくは 200 人以下
小規模校	7～11 学級もしくは 181～369 人	7～11 学級もしくは 201～419 人
大規模校	25～29 学級もしくは 841～999 人	25～29 学級もしくは 881～1099 人
過大規模校	30 学級以上もしくは 1000 人以上	30 学級以上もしくは 1100 人以上

### 適正配置の基準

	小学校	中学校
通学距離	800m以内が望ましい	1200m以内が望ましい
通学区域	小学校と中学校の通学区域は、交友関係や地域との結びつきなどを考慮し、できるだけ整合性を持たせることが望ましく、1 中学校あたり 2～3 の小学校が理想的と思われる。	
通学区域の境界	地域との十分な協力関係のもと、その地域の特性をいかした学校づくりを進めていくため、原則として 13 ブロック、町丁目の区域を分断しない配慮が必要である。一方、町会・自治会の区域もできる限り分断しない配慮が必要である。また通学区域と青少年対策地区委員会の区域についてはできる限り整合性を図る必要がある。	
通学路	特に小学校の場合の安全性を重要視し、主要道路(国道 4 号線ほか) 鉄道および河川により通学路が原則として分断しないことが望ましい。	

昭和 62 年度の答申では、上記の適正規模・適正配置の基準を定めて、第一に、通学区域の変更によって問題を解決すること、第二に、周辺校も小規模で学区の変更では解決できない場合に統廃合により適正化を進めていくこととして、前期(昭和 64 年度～昭和 67 年度)と後期(昭和 68 年度～昭和 71 年度)の計画が検討されました。

その結果、通学区域の変更が望ましい地域として、小学校では前期 40・後期 16 地域、中学校では前期 22・後期 16 地域で変更が必要と答申されました。あわせて、統廃合により解消が望ましい通学区域として、前期に千住地域の 4 小学校(千寿第一、千寿旭、千寿第六、千寿第七小学校)、後期に中川および花畑地域の 4 小学校(大谷田、長門、花畑東、桑袋小学校)の統合を進めることが望ましいと答申されています。

## 「平成 7 年度の報告書」の概要

### 計画年次と改築対象校数

区分	前期 10 年 (平成 10～19 年度)	中期 17 年 (平成 20～36 年度)	後期 8 年 (平成 37～44 年度)	S62 以 降に建築	改築・S62 以降の計
小学校	18 校のうち 12 校	49 校のうち 38 校	9 校のうち 8 校	2 校	60 校
中学校	11 校のうち 8 校	19 校のうち 13 校	7 校のうち 6 校	2 校	29 校
計	20 校	51 校	14 校	4 校	89 校

平成 7 年度の報告書は、昭和 62 年度の答申で示された適正規模・適正配置の基準を引き続き基本方針として検討を進めました。

検討は、学齢人口統計の結果、減少期と増加期の波はあるが長期的には減少傾向であり、その傾向には地域差があることを受けて、区内を 13 のブロックに分割し、まずブロックごとに検討を進め、最終的にブロック間の調整を図る形で全体計画を策定しました。

全体計画は 35 年におよぶ長期計画であり、前期・中期・後期の各期ごとに改築対象となる学校数を示して、昭和 62 年以降に建設した小学校 2 校、中学校 2 校をあわせて、計画の最終年度には小学校 60 校、中学校 29 校の計 89 校とする計画となっています。

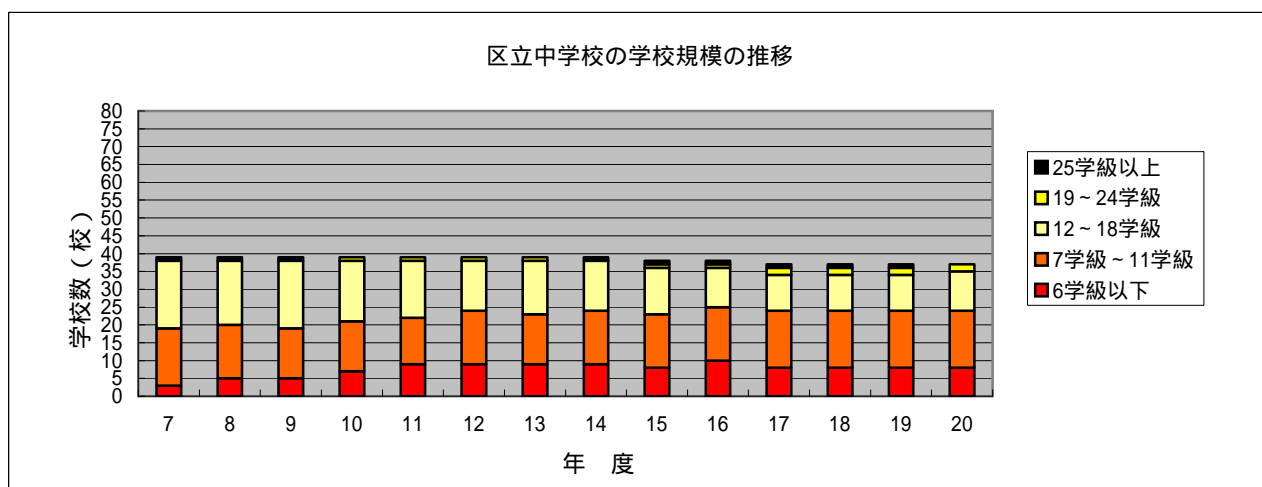
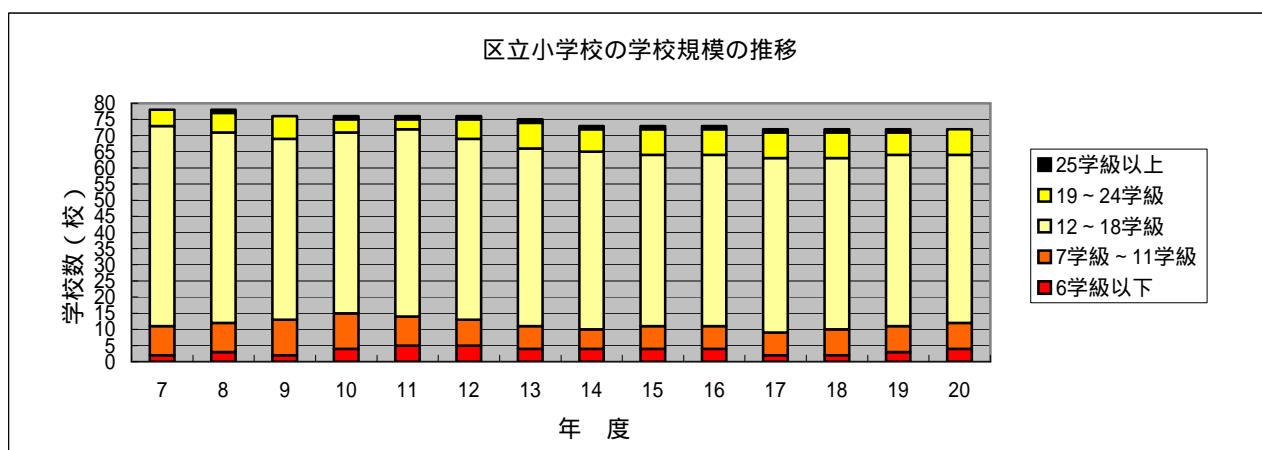
### 3 区立小・中学校の規模の推移と平成 20 年度の状況

昭和 62 年度の答申以降、平成 20 年度までに、小学校は 80 校から 72 校（8 校減）、中学校は 39 校から 37 校（2 校減）になりました。小学校では 10%、中学校では約 5.1%減少したことになります。このことは、統合対象となった学校の保護者や地域の方々を始め、区民のみなさんの理解と協力により、区の適正規模・適正配置に向けた対応が着実に前進してきたといえます。

しかし、この結果により小・中学校の小規模化がすべて解消された訳ではありません。平成 7 年度以降の小・中学校の学校規模の推移を見ても、学校全体で 12 学級以下の小規模校が毎年複数校存在しており、平成 20 年度現在も、小学校では 72 校中 12 校（約 16.6%）、中学校では 37 校中 24 校（約 64.8%）もの学校が 12 学級に満たない規模となっています。

また、学校全体で 6 学級以下の過小規模校は、小学校で 72 校中 4 校（約 5.5%）、中学校で 37 校中 8 校（約 21.6%）存在しており、学校の適正規模・適正配置は今後も解決しなければならない大きな課題となっています。

区立学校の学校規模の推移



このグラフの詳細データは、資料 5「平成 7 年度以降の学校規模（学級数）の推移」に掲載しています。



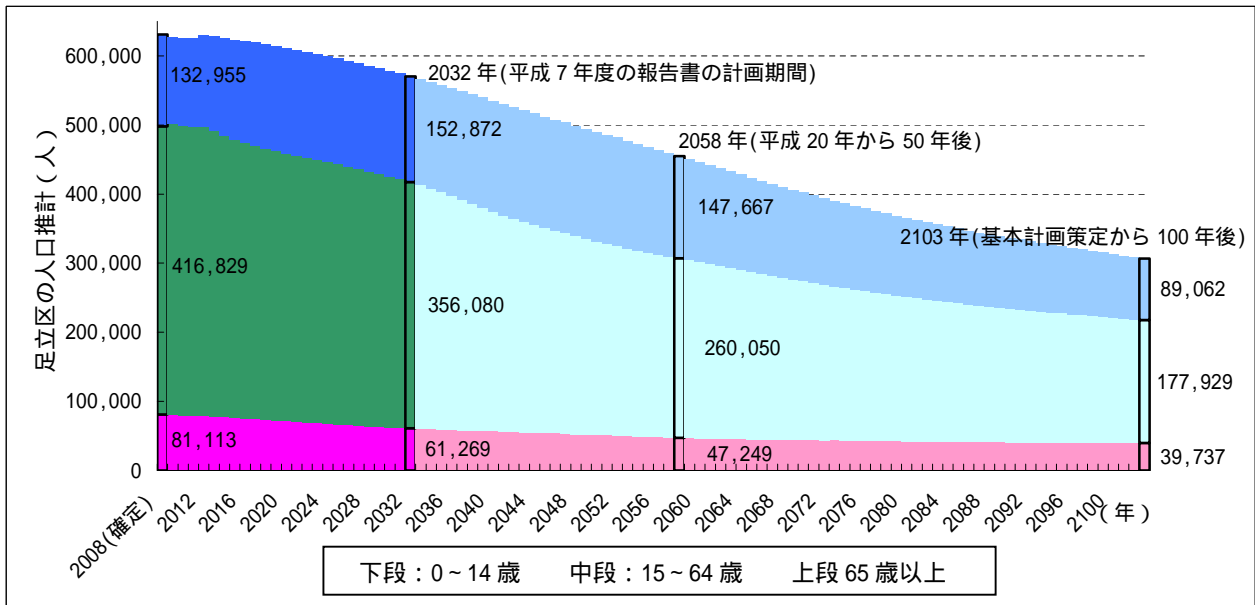
#### 4 将来の区内人口とさらなる区立小・中学校の小規模化

平成 17 年 3 月に策定した「足立区基本計画」では、区の人口は西暦 2012 年（平成 24 年）にピークを迎え、その後、西暦 2103 年には 306,728 人まで減少すると予測しています(注)。これは、平成 20 年 1 月 1 日付の区内人口 630,897 人（確定人数）と比較すると、約半分の区内人口になることを示しています。

この推計を、0 歳～14 歳までの学齢および学齢前人口で見ると、平成 20 年 1 月 1 日付の 81,113 人（確定人口）に対して、平成 7 年度の報告書の計画期間である平成 44 年（西暦 2032 年）には 61,269 人で約 24.4% 減となり、その後も減少は止まらず、今から 50 年後の西暦 2058 年には 47,249 人で約 41.7% も減少すると予測しています。

(注)足立区基本計画の策定年度から 100 年間の予測です。外国人の人数は含まれません。

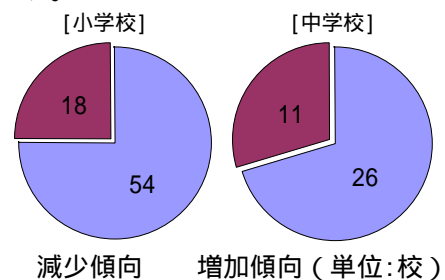
平成 16 年度に実施した区内人口の推計（足立区基本計画の基礎資料から）



また、平成 20 年 5 月 1 日現在で区内に居住している人口を見みると、多くの小・中学校で児童・生徒数の減少が始まっています。各小・中学校別に、学区域内に住んでいる児童・生徒数(注)と、小学校は 0 歳～5 歳、中学校は 0 歳～11 歳の入学前人口の平均人数を比較すると、小・中学校とも 7 割を超える学校で減少傾向が見られます。

このことは、小規模が続く学校の状況を改善できないことはもちろん、新たな小規模校が生まれる可能性があること、さらには、地域によって学校の規模や児童・生徒数の差が拡大していく可能性があることを示しています。

(注)住民基本台帳上の居住人数であり、実際の各小・中学校の在籍人数の比較ではありません。



このグラフの詳細数値は、資料 6「平成 20 年度現在の学区域内居住人数一覧」に掲載しています。

## 5 学校を取り巻く環境の変化

### 学校選択制度を導入しています。

区では、平成 14 年 4 月から学校選択制度を導入しています。

区の学校選択制度は、次の年度に小・中学校の新 1 年生となる児童・生徒のほか、転入や転居により転校する場合に、学校の経営方針や特色を踏まえて、自分にあった学校を選択できる制度です(注)。

学校選択制度の導入により、児童・生徒および保護者の選択の幅が広がりました。しかし一方で、受入れ可能な人数に対して応募する人数が極端に少ないなど、新たな課題が生じていることも事実です。特に中学校では、成長に伴い比較的長い距離の通学が可能となることから、希望する部活動の関係などにより、学校ごと、年度ごとに応募人数が大きく変動する事例が生じています。

学校選択制度の影響による小規模化は、学区域内の居住人数が減少する場合と違って一時的であることも考えられるため、十分に状況を確認しながら適正規模・適正配置の検討を進める必要があります。また、応募人数の多い学校は、受入れ人数を制限しながら、適正規模を保っていくことが必要となっています。

(注)区の学校選択制度は「学区域制度」の特例で導入された制度です。学区域の学校を希望する児童・生徒をすべて受け入れたうえで、なお受入れに余裕がある場合に学区域以外から希望する児童・生徒を受け入れる制度です。希望した児童・生徒全員が入学できるものではありません。

### 小中一貫校が開設しました。

平成 18 年 4 月に、区で初めての小中一貫校「興本扇学園」が開設しました。

興本扇学園は、平成 17 年 3 月に「小中一貫教育による人間力育成特区」の認定を受けて、近接する「興本小学校」と「扇中学校」による施設併設型の小中一貫校として誕生しました。9 年間の一貫したカリキュラムにより、「小学校から中学校への円滑な接続」「確かな学力の向上」などを目指して学校運営が進められています。

また、平成 22 年度には、新田地区に施設一体型の小中一貫校「新田学園」を開設する予定です。新田学園の開設は、区の小中一貫教育の新たなステップであり、魅力溢れる新しい学校の誕生が期待されています。

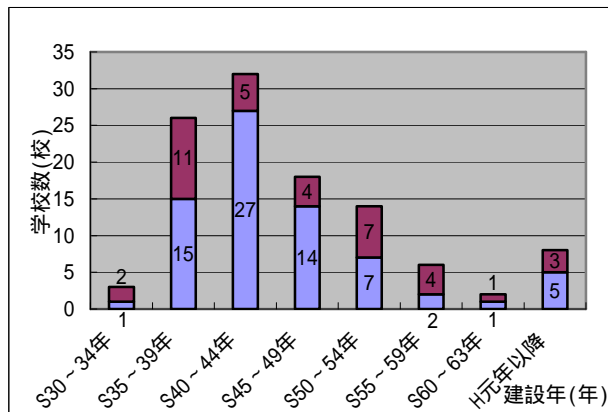
しかし、興本扇学園の開設から 3 年しか経過しておらず、区の小中一貫教育はまだ発展途上の段階といえます。これから誕生する新田学園での教育活動を含めて十分に検証を進めながら、適正規模・適正配置とリンクした小中一貫教育の推進が可能かどうかなど、教育委員会全体の課題として検討を進めていきます。

多くの小・中学校が改築の時期を迎えようとしています。

区の小・中学校は、急激な人口増加を受けて、昭和 30 年代後半から 50 年代に集中的に建設されました。そのため、平成 20 年度現在では多くの学校が 40 年以上を経過して、通常 50 年程度といわれる建物の耐用年数が確実に近づいています。

学校の改築や大規模な改修には、計画から設計、工事の期間を含めて、通常 3～4 年程度かかります。また、多額の費用がかかるため、区の財政的にも短期間に多くの学校の改築や大改修を行うことは不可能であり、計画的に事業を進めていかなければなりません。

さらに、区立施設の総延べ床面積の約 6 割を占める学校の改築や大改修は、将来の区の財政計画を考えるうえでも非常に重要な課題であり、学校の改築時期に合わせた適正規模・適正配置計画の推進が必要となっています。



小学校 中学校 (単位:校)

(注)校舎を増築している場合などは、最初に建てられた年を建設年としています。

このグラフの詳細データは、資料 7「区立小・中学校の建設年次一覧」に掲載しています。

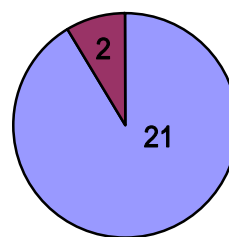
「学校の適正規模・適正配置」は全国的な課題です。

文部科学省は、少子化による小規模校の増加を防ぐため、公立小中学校の統廃合を促進する方針を固め、平成 20 年 6 月に中央教育審議会に対して、学校規模の目安や統廃合の具体的な進め方などの審議を要請しました。これは、学校教育法施行規則により、公立小・中学校の学級規模は「12 学級以上 18 学級以下を標準とする」と定められているものの、平成 19 年度の学校基本調査において、標準に満たない小・中学校が全国で 5 割以上に上っていることが判明したことを受けたもので、学校選択制度の広まりなど、様々な時代背景や小規模化の要因などを盛り込んだ提言が平成 21 年度中に行なわれると報道されています。

また、各自治体の対応について、平成 18 年に国立教育政策研究所が行った調査では、回答のあった全国約 1000 市区町村の約 46%が公立小中学校の統廃合を検討していると答えています。特別区の各区も同様に、ほとんどの区で適正規模・適正配置の検討や事業が進められており、少子化による児童・生徒数の減少は、全国的に同一の課題であるといえます。

[適正規模・適正配置の計画を進めているか]

(単位:区)



検討または実施している  
検討または実施の予定なし

23 区の教育委員会事務局  
調査結果から(H20 調査)

## 第2章 足立区の適正規模・適正配置のガイドライン

### 1 適正規模・適正配置の基準等の見直しと「ガイドライン」の位置づけ

この「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置に向けて」は、平成7年度に策定した「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書」を基本方針として引き続き推進するにあたり、これまでの計画内容を再確認し、今後の区の適正規模・適正配置の新たな第一歩を踏み出すための「ガイドライン」です。

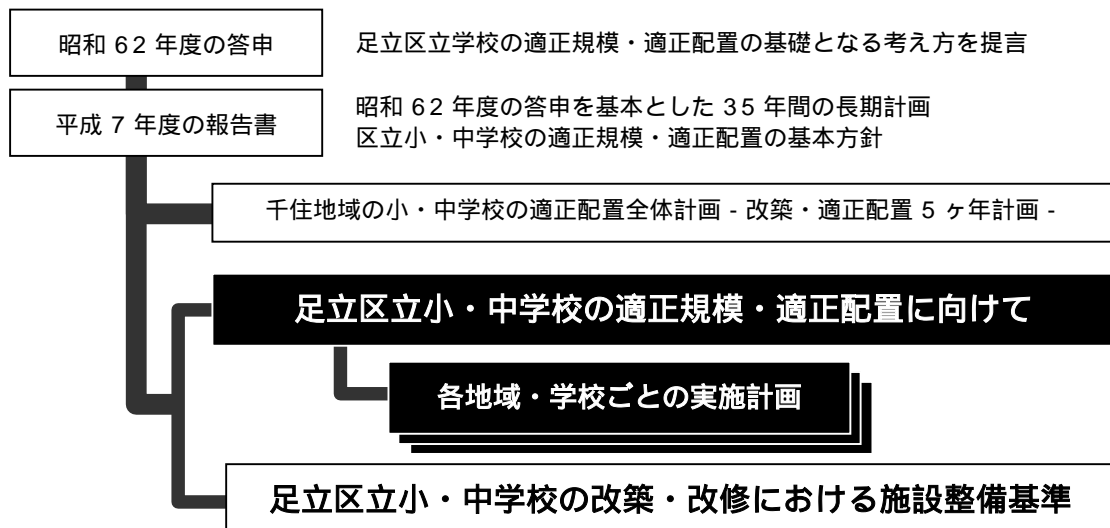
区ではこれまで、昭和62年度の答申で示された学校規模や通学距離の考え方を基本として、小・中学校の適正規模・適正配置を進めてきました。平成7年度の報告書でも、昭和62年度の答申の考え方をベースに、35年間の長期計画を策定しています。

基準や計画期間を定めて事業を進めることは小・中学校の将来ビジョンを明確にすることであり、区民のみなさんと共に学校の適正規模・適正配置を考えるうえで重要です。しかし、平成7年度の報告書の策定から13年を経過した今、時代とともに学校を取り巻く環境は大きく変化しており、これまでの基準や計画内容をもう一度見直す時期であると考えました。

この「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置に向けて」では、平成7年度の報告書を基本として、主に適正規模・適正配置の基準が現状にあっているか、将来必要となる小・中学校の校数は何校か、今後の計画期間と見直しの時期などについて再確認しました。その結果、基本的な考え方や方向性について、引き続き基本方針として適正規模・適正配置を推進できると判断し、このたび、今後の事業の進め方のルールとする「ガイドライン」を作成しました。

なお、このガイドラインは今後の適正規模・適正配置の基本的な考え方を示すものです。さらに具体的な学校や適正規模・適正配置の時期や方法については、各地域ごとに「実施計画」を策定して進めていきます。また、適正規模・適正配置にあわせて学校施設の改築や大規模改修を行う場合は、教育委員会が別途策定する「足立区立小・中学校の改築・改修における施設整備基準」との整合を図りながら進めていきます。

#### 「ガイドライン」の位置づけ（概念図）



## 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方

### 適正規模について

小・中学校は、「確かな学力の定着と向上」と、多様な「遊び・学び・体験」を通して、「豊かな心」と「健やかな体」を育む場所です。子どもたちが、毎日明るく、楽しく、元気に学び、遊べる環境を整えることは、学校教育の基本のひとつといえます。

また、多くの友人や教師とふれあいながら育まれる社会性や人間性は、将来社会に巣立つ子どもたちが必ず身につけなければならない「大切な力」です。義務教育という大切な時期に、適正な児童・生徒数の集団生活のなかで、互いに認め合い、助け合い、競い合いながら成長できる学校環境を整えることが、子どもたちの学力向上と人間力の育成の両面において大切なことであると考えます。

一方で、児童・生徒一人ひとりに教員の目が行き届き、個に応じた学習指導・生活指導がきめ細かくできることなど、小規模な学校や学級の良い面はもちろんあります。適正規模化を第一に考えながらも、小規模校の良い面は、区独自の非常勤講師を配置することより少人数指導を推進するなど、可能な限り取り入れていきます。

### 適正配置について

学校を適正規模にしていくことと同時に、小・中学校をバランス良く配置していくことが重要です。通学距離の不均衡は、子どもたちの通学時間が不公平になることはもちろん、著しく長距離になることで、交通安全上や防犯の問題が少なからず生じます。

また、小・中学校は地域コミュニティの核となる施設のひとつです。町会・自治会を始めとする地域との連携・協働によって、より一層の教育指導や教育環境の向上が図られることはもちろん、災害時の避難所施設となることなどを考慮し、地域の特性や近隣の公共施設の配置状況などを総合的に判断しながら適正配置を進めていきます。

### 学区域の変更について

昭和 62 年度の答申では、第一に学区域の変更により学校規模の適正化を図り、第二に周辺校も小規模な場合は統廃合により解消を図ることとしていました。しかし、平成 7 年度の報告書では、区内一斉に学区域を変更することは極めて困難であることから、統合または単独による改築にあわせて、周辺校を含めて段階的に見直していく考え方に変更しています。

平成 20 年度現在においても児童・生徒数は減少を続けており、学区域の変更により一時的に学校規模が改善したとしても、近い将来に統合を行う可能性が非常に高いと考えます。

よって、今後も引き続き統合により適正規模に改善することを優先して検討し、統合または単独の改築・改修にあわせて周辺校の学区域を含めて調整を図っていきます。

### 3 適正規模・適正配置基準の見直し

#### [適正規模の基準]

昭和 62 年度の答申で示された適正規模の基準

	小学校	中学校
適正規模	12～24 学級(標準児童数 370～840 人)	12～24 学級(標準生徒数 420～880 人)
過小規模校	6 学級以下もしくは 180 人以下	6 学級以下もしくは 200 人以下
小規模校	7～11 学級もしくは 181～369 人	7～11 学級もしくは 201～419 人
大規模校	25～29 学級もしくは 841～999 人	25～29 学級もしくは 881～1099 人
過大規模校	30 学級以上もしくは 1000 人以上	30 学級以上もしくは 1100 人以上

「12 学級から 24 学級」を適正規模とします。

小学校では、クラス替えができる各学年 2 学級以上が最低限必要であるため「1 学年 2 学級～3 学級で 12 学級～18 学級」を望ましい学校規模とします。中学校では、同じ地域の小学校 2 校程度から 1 つの中学校に進学することを想定して「1 学年 4 学級～6 学級で 12～18 学級」を望ましい学校規模とします。なお、学校教育法施行規則でも、小・中学校ともに「12 学級以上 18 学級以下」を標準と定めており、法令上も望ましい学校規模となっています(注)。

また、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令では「5 学級以下の学校と 12 学級～18 学級の学校を統合する場合には 24 学級までを適正とする」と定めており、「19 学級～24 学級」は適正な学校規模の範囲内であると考えます。

(注)「地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」と定められています。

「6 学級以下」は過小規模とします。

小学校では、「すべての学年が単学級でクラス替えができない 6 学級」を今後も過小規模とします。また、中学校では、教員の配置基準(定数)により「正規教員を配置できない教科がある 6 学級以下」を過小規模とします。

11 学級以下の小規模校のなかでも、学校運営上で様々な問題が生じることを踏まえて、小・中学校とも 6 学級以下の過小規模は早急に解消策の検討を進めていきます。

「25 学級以上」は大規模とします。

平成 20 年度現在、小・中学校とも 25 学級以上の規模の学校はありません。

過去に、小学校では綾瀬小学校、中学校では第十四中学校が 25 学級以上となっていました。実際に学校運営に関わった関係者の意見などを踏まえて、現在は学区域外からの入学希望者がある程度制限して 24 学級以下を保っています。

小・中学校とも、一定以上の大きな規模は教育活動と生活指導上の両面において困難さが増す可能性が高いため、今後も 25 学級以上にならないよう対応を続けていきます。

「児童・生徒数の考え方」は、適切な時期に見直しを行います。

昭和 62 年度の答申では、当時の児童・生徒数の平均値をもとに、適正規模の人数の考え方を示しています。平均値は、現在も継続している 40 人学級で計算しているため、将来的に 40 人以下の少人数学級の導入や、現在審議されている中央教育審議会の検討結果など、国や東京都の動向を見ながら適切な時期に見直しを行います。

なお、40 人の学級編成の場合、40 人以下で 1 学級が編成され、41 人になると 20 人と 21 人の 2 つの学級が編成されます。この場合、児童・生徒数が多い 11 学級の事例と、児童・生徒数が少ない 12 学級の事例を比較すると、小学校では約 200 人、中学校では約 70 人もの差が生じることが考えられます。12 学級以上であっても小規模傾向が顕著な小・中学校として改善策を検討しなければならない場合も考えられるため、今後も主に学級数を適正規模の基準としながら、児童・生徒数の考え方は適正規模の目安として活用していきます。

適正規模の人数の考え方（昭和 62 年度の答申から）

	小学校	中学校
1 学級あたりの平均人数	31 人～35 人	35 人～37 人
適正な学級数	12 学級～24 学級	
標準の児童・生徒数	31 人×12 学級=372 370 人 35 人×24 学級=840 人	35 人×12 学級=420 人 37 人×24 学級=888 880 人

11 学級と 12 学級の児童・生徒数の差（例）

	小学校	中学校
児童・生徒数が多い 11 学級の事例	(40 人×2 学級×5 学年) + (40 人×1 学級×1 学年) = 440 人	(40 人×4 学級×2 学年) + (40 人×3 学級×1 学年) = 440
児童・生徒数が少ない 12 学級の事例	(21 人+20 人) ×6 学年 = 246 人	(31 人+30 人+30 人+30 人) ×3 学年 = 363 人

## [適正配置の基準]

昭和 62 年度の答申で示された適正配置の基準

	小学校	中学校
通学距離	800m以内が望ましい	1200m以内が望ましい
通学区域	小学校と中学校の通学区域は、交友関係や地域との結びつきなどを考慮し、できるだけ整合性を持たせることが望ましく、1 中学校あたり 2~3 の小学校が理想的と思われる。	
通学区域の境界	地域との十分な協力関係のもと、その地域の特性をいかした学校づくりを進めていくため、原則として 13 ブロック、町丁目の区域を分断しない配慮が必要である。一方、町会・自治会の区域もできる限り分断しない配慮が必要である。また通学区域と青少年対策地区委員会の区域についてはできる限り整合性を図る必要がある。	
通学路	特に小学校の場合の安全性を重要視し、主要道路（国道 4 号線ほか）鉄道および河川により通学路が原則として分断しないことが望ましい。	

「小学校 800m 以内・中学校 1200m 以内」を一つの目安とします。

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令では、適正な通学距離として、小学校はおおむね 4km 以内、中学校はおおむね 6km 以内と定められています。しかしこれは公共交通機関などを利用する地方を含めた全国一律の基準であり、東京都を始めとする都市部では、小学校 1 年生から中学校 3 年生までのすべての児童・生徒が、毎日無理なく徒歩で通学できる範囲とすることが大切です。

昭和 62 年度の答申では、当時行った児童・生徒に対する通学距離の調査結果や特別区を対象にした統計等をもとにして、小学校は半径 800m 以内、中学校は半径 1200m 以内を区として望ましいと考える通学距離としています(注)。

しかし、すべての通学区域で学校を中心付近に配置することは極めて困難です。適正規模化の効果を最優先して考えた場合には、やや基準を上回ることもありえるため、通学距離の基準は、今後も著しく長距離にならないための一つの目安として活用していきます。

(注)平成 20 年度現在、基準を定めている他の区では、小学校 1km~1.5km 程度、中学校は 1.5km~2km 程度となっており、区の基準は比較的短い距離を望ましい距離としています。また、望ましい通学距離の基準を定めていない区もあります。

可能な限り「通学区域」や「通学路」の考え方にあわせていきます。

学校教育は、地域の様々な協力と連携により一層の向上が図られます。今後、適正配置を進めるにあたっては、地域との結びつきを考慮して、町会・自治会や青少年対策地区委員会（区内 25 地区町連と同一）の区域を可能な限り整合させるよう努めていきます。

また、交友関係を継続するという点で、小学校と中学校の学区域についてもできるだけ整合させることが望ましいと考えます。しかし、中学校より小さな学区域の小学校では、適正規模化の組合せの案によっては 2 つの中学校の学区域にまたがる可能性があります。その場合は、適正規模化と小・中学校の学区域を整合させることの両面の効果を比較検討しながら事業を進めていきます。



鉄道・河川・幹線道路を目安に、ある程度のエリアを一体的に検討します。

区ではこれまで、公共施設の配置基準を「全区」「準全区」「ブロック」「住区」「基礎住区」の5層のピラミッド型構成を設定して、主にブロック間の施設配置にアンバランスが生じないように配慮しながら施設整備を進めてきました。

この5層構造が、「公共施設再配置のための指針(平成 21 年 3月)」の策定により、「日常利用施設」と「広域利用施設」の2つに集約されます。これにより、区の公共施設はブロックを基本とした均等配置から、その地域の人口や利用者数などに主眼を置いた考え方になり、公共施設の統合や複合化などの検討が進められます。

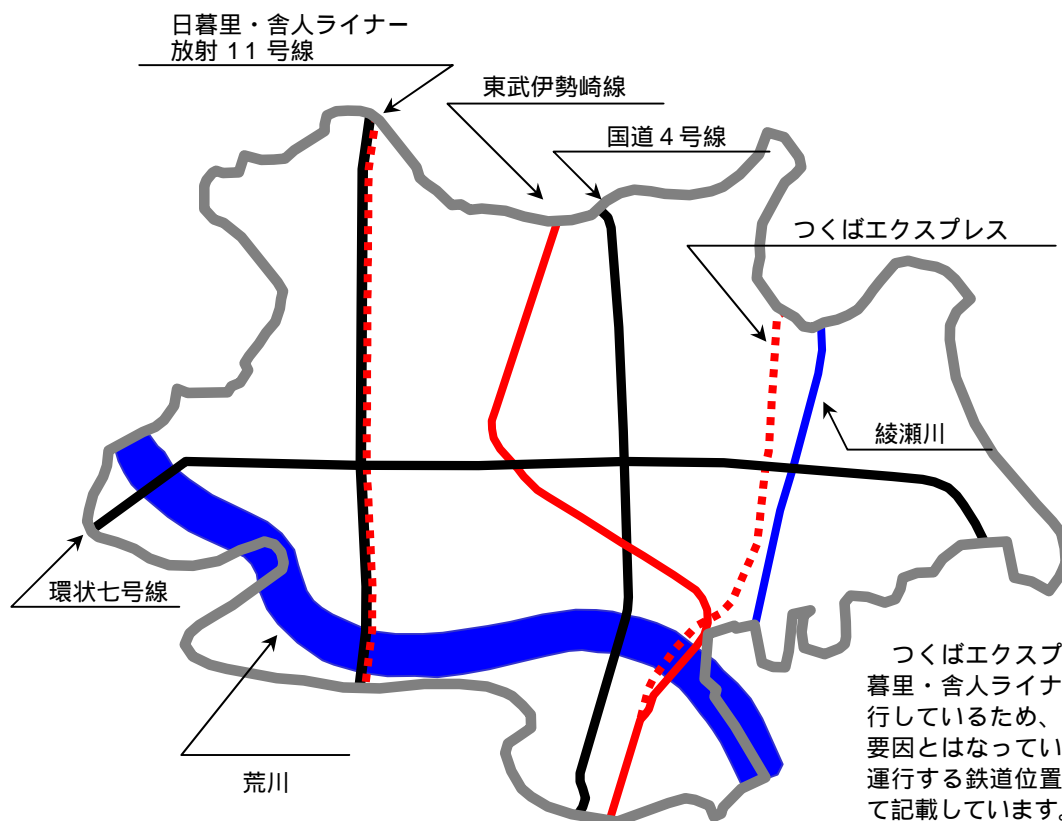
一方、小・中学校の適正規模・適正配置の考え方でも、児童・生徒の通学距離や小・中学校の結びつき、地域との連携強化などの学校経営上のメリットを重視して、主に鉄道・河川・幹線道路などの地域を分断する要因を目安に区内を13の地域に分割して適正配置を進めてきました。

小・中学校の適正規模・適正配置を進めるためには、対象となる学校だけでなく、周辺校を含めたある程度のエリアを一体的に考えていくことが地域全体の適正化につながります。よって、今後も「徒歩で毎日無理なく通学できる距離」を基本として、主に下記に示す鉄道・河川・幹線道路を境界の目安にしたエリアを一つの区域として適正規模・適正配置を進めていきます。

日常利用施設とは  
学校などの日常生活に密着した施設を中心に配置します。

広域利用施設とは  
駅などの交通利便性の高い場所で区内全域や区外からも利用され、文化・産業・芸術などの核となる施設を配置します。

足立区の鉄道・河川・幹線道路の概略図



つくばエクスプレスは地下、日暮里・舎人ライナーは高架上を運行しているため、地域を分断する要因とはなっていません。区内を運行する鉄道位置を示すものとして記載しています。

## 第3章 今後の適正規模・適正配置に向けた事業展開

### 1 今後の適正規模・適正配置の検討の進め方

小・中学校の適正規模・適正配置の検討は、原則として次のような方法で進めていきます。

#### 第一に、「適正規模化」を検討します。

- ◆ 原則として、11 学級以下の小規模校となっている小・中学校の検討を進めます。
- ◆ その中でも、学校全体で 6 学級以下の過小規模校となっている小・中学校の検討を早急に進めます。
- ◆ 適正規模化の方法は、主に複数学校の統合により行います。
- ◆ 統合後の学校の規模は、原則として 12 学級～24 学級とします。
- ◆ その中でも、区として最も望ましいと考える 12 学級～18 学級となるように検討を進めます。

#### 第二に、「適正配置化」を検討します。

- ◆ 適正配置化は、区内全体の小・中学校の配置バランスと、地域の特性などを考慮します。
- ◆ 「徒歩で毎日無理なく通学できる距離」となるように適正配置を検討していきます。
- ◆ 統合にあわせて、周辺校を含めて必要に応じて学区域を調整します。

#### 「建物の建築年」を考慮します。

- ◆ 老朽化は安全上の問題が生じる可能性が高いため、適正規模・適正配置を進めるにあたり、建築年を考慮します。
- ◆ 小規模の度合いが比較的低い場合でも、建築年の古さにより適正規模・適正配置の検討時期を早める可能性があります。
- ◆ 建築年が比較的新しい場合でも、近接校が小規模校となった場合や、その他の建替え要因が生じた場合などは、適正規模・適正配置の検討時期を早める可能性があります。

#### 「統合地域協議会」を開催しながら議論を深めていきます。

- ◆ 教育委員会で統合に関する素案を作成し、保護者・学校関係者・地域のみなさんとの協議を進めます。
- ◆ 協議の進捗状況をみながら、適切な時期に「統合地域協議会」を立ち上げて議論を深めていきます。
- ◆ 統合地域協議会のメンバー以外の保護者や地域のみなさんには、協議会のニュースなどを作成しながら、情報発信と事業への参画機会の提供に努めていきます。

## 8年ごとに見直しを行いながら事業を進めていきます。

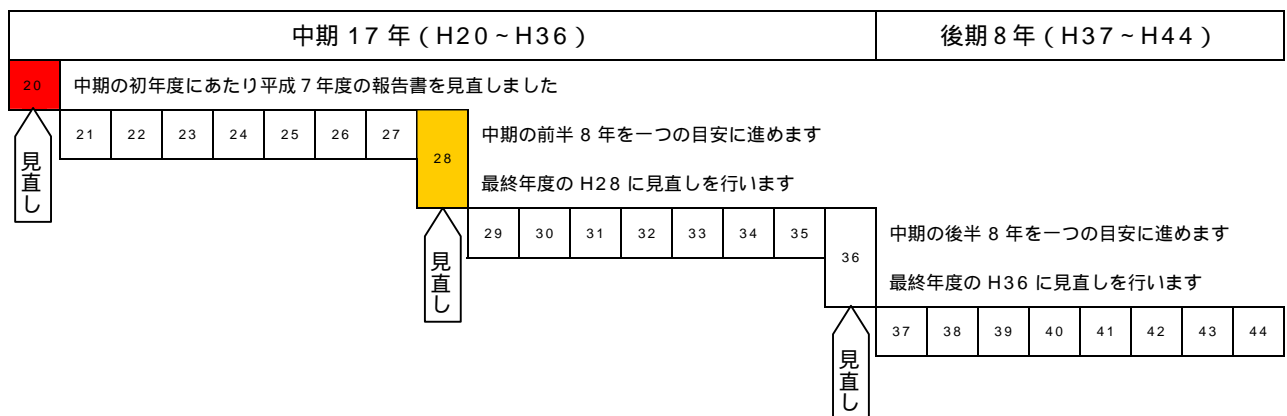
このガイドラインでは、現在および将来の児童・生徒数を踏まえながら、基準や検討の進め方などについての区の考え方をまとめています。今後、これらの考え方を基本としながら、平成7年度の報告書の中期17年と後期8年の25年間の計画を進めていきます。

しかし、教育に関する国や東京都の考え方や新しい施策の展開など、小・中学校を取り巻く環境は今後も変化し続けます。その変化に対応し、いつの時代も適正な規模での学校教育を提供していくために、8年ごとに見直し年度を定めて小・中学校の適正規模・適正配置を進めていきます。

なお、この見直しの年度は、区の将来像を示す「足立区基本構想」と、その将来像を実現するための基礎となる「足立区基本計画」の計画期間と整合しています。また、財政運営の進捗管理を行う「足立区中期財政計画」や、公共施設配置の基本的な考え方を示す「公共施設再配置のための指針」など、区の上位計画との整合を図りながら、小・中学校の適正規模・適正配置を進めていきます。

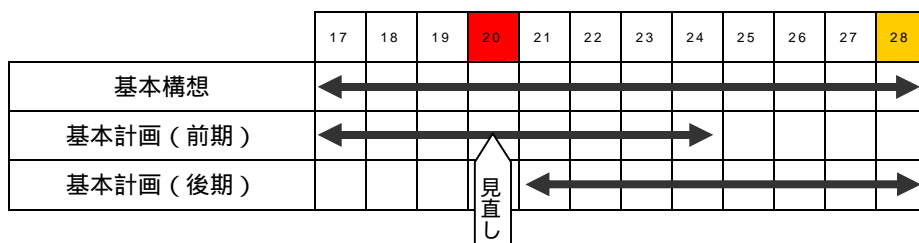
計画期間と見直し時期等

単位：年度



[参考]足立区基本構想および基本計画の計画期間(予定)

単位：年度



## 2 児童・生徒数の推計と将来必要となる小・中学校数

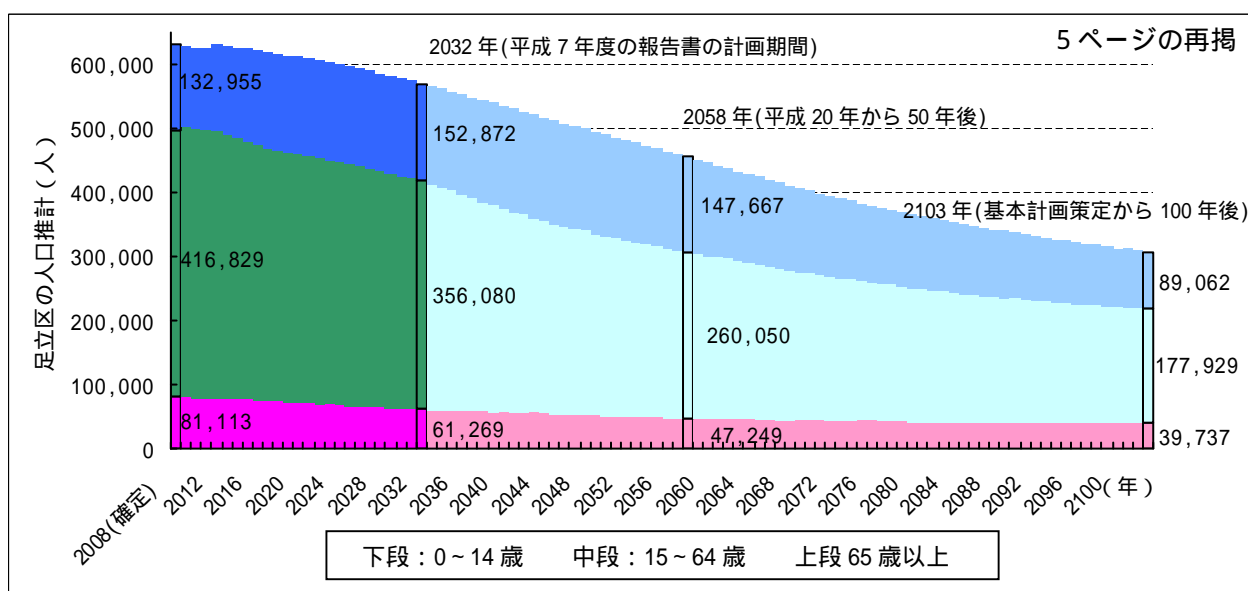
平成 17 年 3 月に策定した「足立区基本計画」では、平成 7 年度の報告書の計画期間である平成 44 年（西暦 2032 年）の学齢人口および学齢前人口（0 歳～14 歳）は 61,269 人と予測しています。

この推計をもとに、平成 44 年の 6～11 歳の小学校年齢、12～14 歳の中学校年齢の学齢人口を試算すると、児童数 24,937 人、生徒数 12,621 人となります。

なお、区内に居住する学齢人口のうち、実際に区立学校に入学・進学する割合は、小学校では約 98%、中学校では約 85%（注 1）ですが、学区域内に住む児童・生徒をすべて受け入れられることが公立学校の原則であるため、その比率は考慮しないこととします。

（注 1）平成 20 年 5 月 1 日現在のデータでは、小学校は居住人数 33,025 人に対して児童数 32,633 人で 98.8%、中学校は居住人数 16,769 人に対して生徒数 14,386 人で 85.8%となります。

平成 16 年度に実施した区内人口の推計（足立区基本計画の基礎資料から）



### 西暦 2032 年（平成 44 年）の児童・生徒数の推計

	(a)西暦 2008 年(確定)	(b)西暦 2032 年(推計)	増減率
0 歳～14 歳	81,113 人 (100%)	61,269 人 (100%)	24.46%減
(うち 0～5 歳)	31,414 人 (38.7%)	23,711 人 (38.7%)	-
(うち 6～11 歳)	33,004 人 (40.7%)	24,937 人 (40.7%)	-
(うち 12～14 歳)	16,695 人 (20.6%)	12,621 人 (20.6%)	-
15 歳～64 歳	416,829 人	356,080 人	14.57%減
65 歳以上	132,955 人	152,872 人	14.98%増
合計	630,897 人	570,221 人	9.62%減

の(a)は平成 20 年「数字で見る足立」から引用しています。

西暦 2032 年の 0～5 歳、6～11 歳、12～14 歳の割合は、2008 年度の 0～14 歳の中で占める割合をそのまま計算しています。

予測数値をもとに、区の適正規模の基準である 12 学級以上 24 学級以下のうち、望ましいと考える 12 学級～18 学級の平均値「15 学級」と、適正規模の範囲内を含めた 12 学級～24 学級の場合の平均値「18 学級」の 2 つの場合で必要校数を試算します。

また、平成 20 年度現在、東京都では 40 人を下回る学級編成の予定はありませんが、25 年間という長期的な視野でのガイドラインであるため、その可能性も考慮して、あわせて 35 人学級の場合も試算することとします。

#### 算出に用いる基礎数値

- ◆ 西暦 2032 年（平成 44 年）の児童数は 2 万 5 千人、生徒数は 1 万 3 千人とします。
- ◆ 40 人編成の 1 クラスの平均人数は、小学校 31 人、中学校 34 人で計算します(注 2)。
- ◆ 35 人編成の 1 クラスの平均人数は、小学校 28 人、中学校 30 人で計算します(注 2)。

#### 基礎数値をもとにした学校数の試算

学 校 数 値	40 人学級の場合				35 人学級の場合			
	小学校		中学校		小学校		中学校	
平成 44 年の人数	25,000 人		13,000 人		25,000 人		13,000 人	
1 クラスの平均人数	31 人		34 人		28 人		30 人	
必要なクラス数	807 クラス		383 クラス		893 クラス		434 クラス	
学級数	15	18	15	18	15	18	15	18
学校数	54 校	45 校	26 校	22 校	60 校	50 校	29 校	25 校

小数点以下は切り上げて計算しています。

以上の結果から、西暦 2032 年（平成 44 年）に必要となる区立学校数は、小学校が最大で 60 校・最少で 45 校、中学校が最大で 29 校・最少で 22 校が必要であると予測されます。

(注 2)40 人編成の場合の 1 クラスの人数は、平成 7 年度から平成 20 年度までの児童・生徒数の平均である小学校 31.5 人、中学校 34.3 人の小数点以下第一位を切り捨てました。また、35 人編成の場合の 1 クラスの人数は、平成 20 年度の実際の児童・生徒数を 35 人編成と仮定して算出した、小学校 28.2 人、中学校 30.3 人の小数点以下第一位を切り捨てました。

### 3 これまでの事業計画の進捗と当面の取り組み

#### 平成 7 年度に計画された事業の進捗状況

平成 7 年度の報告書では、平成 10 年度から平成 44 年度までの 35 年間の計画期間を、前期 10 年・中期 17 年・後期 8 年と区分して、各期ごとに改築対象とすべき学校と校数を示しています。また、年次計画では、改築は 50 年を経過しない範囲で行うことや、財政的に短期間で多くの学校を改築することは難しいため、改築時期を前倒しして平準化を図ることなどを考慮し、年 2 ～ 3 校の改築を行いながら、あわせて統合を進めていくこととしています。

事業計画の期間や実施した校数等

[事業期間と前期・中期・後期に改築の対象とした学校数]

区 分	期 間	改築対象とした学校数	
		小学校	中学校
前期 10 年	平成 10 年度～平成 19 年度	18 校中 12 校	11 校中 8 校
中期 17 年	平成 20 年度～平成 36 年度	49 校中 38 校	19 校中 13 校
後期 8 年	平成 37 年度～平成 44 年度	9 校中 8 校	7 校中 6 校
昭和 62 年以降に建設された学校（計画対象外）		2 校	2 校
平成 44 年度に必要な学校数		60 校	29 校

[前期 10 年間の改築・改修および統合の進捗状況]

	小学校	中学校
( a ) 改築を予定した校数	12 校	8 校
( b ) 単独改築・改修	2 校	2 校
( c ) 統合に伴う改築・改修(注)	6 校	2 校
進捗率 ( b + c ) / ( a )	約 66.7%	50%

(注)統合に伴う改築・改修を行った学校には、中期、後期の計画を前押しして統合した学校を含みます。

[改築等の実施状況]

平成 20 年度現在の実施状況は、次ページ以降の

「平成 7 年度の報告書」の計画内容と「平成 20 年度現在の状況」一覧表

のとおりです。

「平成 7 年度の報告書」の計画内容と「平成 20 年度現在の状況」一覧表

連番	平成 7 年度の報告書						平成 20 年度現在の状況					
	地域	区分	学校名	計画期			統合 改築案	統合または単独改築		H20.5.1 学級数	H20.5.1 児童・ 生徒数	地域の状況および今後の課題
				前期	中期	後期		統合校・改築等の結果 統合案の今後について	統合・改築等 の年度			
1	1	小	千寿本町小学校	H3	統合	-			15	522	平成 7 年度の報告書に基づき、平成 12 年に「千住地域の小・中学校の適正配置全体計画-改築・適正配置 5 ヶ年計画-」を策定し、地域を一体的に適正規模・適正配置化を進めてきました。 平成 20 年度現在、ほとんどの小・中学校で適正な規模となっており、小学校、中学校ともに統合の効果が表れています。 今後、大幅な児童・生徒数の増減がない限り、現状の学校および学区を維持していきます。	
2			千寿桜小学校	H4	統合	-			15	458		
3			千寿小学校				統合	千寿小学校	H14	12		353
4			千寿第二小学校									
5			千寿第四小学校				統合	千寿常東小学校	H14	15		504
6			柳原小学校									
7			千寿第三小学校				統合	千寿双葉小学校	H17	12		326
8			元宿小学校									
9			千寿第八小学校							12		390
10		中	第一中学校				改築	単独改築	H17	8		280
11			第二中学校				統合	千寿桜堤中学校	H17	14		529
12			第十六中学校									
13			第三中学校				統合	千寿青葉中学校	H15	11		357
14			第十五中学校									
15	2	小	高野小学校				統合	引き続き検討		6	177	
16			江北小学校								12	386
17			扇小学校						12	312		
18			宮城小学校						12	393		
19			新田小学校				小中一貫校	H22 開設	13	446		
20		新田中学校				5					137	
21		中	江南中学校						6	145		
22			上沼田中学校				統合	引き続き検討		6	182	
23			江北中学校							9	300	
24	3		小	西新井小学校				単独改築	H22 完了	17	562	
25		興本小学校							18	612		
26		本木東小学校					統合	引き続き検討 統合の組合せは 再検討	6	98		
27		寺地小学校									12	297
28		本木小学校							13	397		
29		中	第五中学校				統合	小中一貫校となっ たため再検討	5	149		
30			扇中学校								6	187
31			第六中学校									8

連番	平成 7 年度の報告書						平成 20 年度現在の状況					
	地域	区分	学校名	計画期			統合 改築案	統合または単独改築		H20.5.1 学級数	H20.5.1 児童・ 生徒数	地域の状況および今後の課題
				前期	中期	後期		統合校・改築等の結果 統合案の今後について	統合・改築等 の年度			
32	4	小	梅島小学校				改築	単独改築	H12	22	757	西新井駅西口駅前地区の大規模な集合住宅開発により、地域の人口が大きく変化しています。また、東武伊勢崎線の車両工場跡地にも約 700 戸の集合住宅が建設されており、今後も人口の増加傾向が続くと考えられます。しかし、児童・生徒数の増加は一時的な可能性もあるため、長期的な視野で地域を一体的にみた改善策の検討が必要です。 また、現在、西新井小学校の単独改築と 3 つの中学校の大規模改修を進めており、中・長期的な視野にたった統合案を再検討します。
33			梅島第一小学校				統合	引き続き検討 統合の組合せは 再検討		12	323	
34			栗原小学校						9	250		
35			亀田小学校						8	251		
36			梅島第二小学校						12	347		
37			関原小学校						12	351		
38		中	第四中学校				統合	大規模改修	H22 完了	18	684	
39			第九中学校				統合	大規模改修	H22 完了	17	620	
40			第七中学校				統合	大規模改修 再検討	H22 完了	9	319	
41			第十中学校						11	369		
42	5	小	千寿第五小学校				統合	引き続き検討		9	244	千寿第五小学校の校舎は最も古いもので昭和 35 年に建設されたものであり、改築の時期が迫っています。また、地域内の他校に比べて小規模傾向が伺えるため、適正規模・適正配置の検討が必要です。 また、中学校においては、青井中学校と栗島中学校の小規模化が伺えます。青井中学校は、環状 7 号線以北も学区であり、同じ地域を学区とする加平小学校の移転計画とあわせた適正規模・適正配置の検討が望ましいと考えます。
43			五反野小学校						16	512		
44			弘道小学校						12	357		
45			弘道第一小学校				統合	引き続き検討 統合の組合せは 再検討		15	457	
46			弥生小学校						18	567		
47			栗島小学校						16	513		
48		青井小学校						12	361			
49		中	第十一中学校					単独改築（一部）	H15	18	680	
50			青井中学校				統合	引き続き検討		7	221	
51			栗島中学校						10	354		
52	6	小	綾瀬小学校							24	859	ほとんどの小・中学校が適正な規模の学校となっていますが、大谷田小学校と長門小学校の小規模傾向が伺えるため、適正規模・適正配置化の検討が必要です。 一方、綾瀬小学校と東淵江小学校の大規模傾向が伺えます。区域内の児童数の推移と学校選択制度の状況を踏まえながら、25 学級以上の大規模校にならないように調整を図っていきます。
53			東淵江小学校							22	757	
54			東綾瀬小学校							12	407	
55			北三谷小学校							14	444	
56			東加平小学校							18	612	
57			大谷田小学校				統合	引き続き検討		11	370	
58			長門小学校						8	224		
59		中	東綾瀬中学校							18	661	
60			蒲原中学校							19	718	



連番	平成 7 年度の報告書						平成 20 年度現在の状況					
	地域	区分	学校名	計画期			統合 改築案	統合または単独改築		H20.5.1 学級数	H20.5.1 児童・ 生徒数	地域の状況および今後の課題
				前期	中期	後期		統合校・改築等の結果 統合案の今後について	統合・改築等 の年度			
61	7	小	中川小学校				統合	大規模改修	H22 完了	17	546	小学校、中学校ともおおむね適正規模となつていますが、谷中中学校がやや小規模傾向です。谷中中学校の学区には適正規模を確保できる生徒数が居住しており、学級数も回復の傾向を示していることから、今後も大きな人口の変化がない限り地域全体で現状を維持できると想定されます。
62			中川北小学校							17	560	
63			中川東小学校					13	434			
64			辰沼小学校					17	563			
65			六木小学校					17	531			
66			中	第十二中学校					15	522		
67		第十三中学校						15	525			
68		谷中中学校						9	314			
69	8	小	加平小学校				加平小学校の 移転計画あり	検討中	11	268	加平小学校が六町土地区画整理事業の区域内で移転する予定です。移転時期にあわせて適正規模・適正配置の検討が必要です。また、花保中学校の過小規模化と東島根中学校の老朽化が課題となっています。特に老朽化は安全性の課題が生じる可能性があるため、早急な解決策の検討が必要です。	
70			東栗原小学校						15	499		
71			花畑小学校				13	404				
72			花保小学校				19	658				
73			平野小学校				13	369				
74		中	東島根中学校				8	237				
75			花保中学校				5	185				
76	9	小	花畑第一小学校				再検討	桜花小学校	H9	12	328	平成 9 年に桜花小学校が開校し適正規模に改善しましたが、やや小規模傾向が再度見え始めており、今後の児童数の推移によっては適正規模化の検討が必要です。また、花畑北中学校の小規模化が顕著になっています。一方で統合案である淵江中学校は適正規模を維持していることなどから、統合案の再考を含めて検討が必要です。
77			花畑東小学校							11	319	
78			桑袋小学校				21	721				
79			淵江第一小学校				15	510				
80			花畑西小学校				17	620				
81		中	淵江中学校				引き続き検討 統合の組合せは 再検討	8	275			
82			花畑中学校					6	183			
83			花畑北中学校									
84	10	小	島根小学校				単独改築	H14	17	552	小学校ではすべての学校で適正規模となっており、平成 9 年の西保木間小学校開校の効果が見られます。学校の配置バランスも整っており、今後大きな人口の変化がない限り現状を維持できると想定されます。一方で、竹の塚中学校の過小規模化が深刻です。学区には 3～4 学級の生徒が居住しており、今後の状況を見ながら改善策の検討が必要と考えます。	
85			中島根小学校						18	553		
86			竹の塚小学校				引き続き検討	H9	14	469		
87			保木間小学校						18	639		
88			淵江小学校				17	557				
89			竹の塚北小学校				西保木間小学校	H9	13	422		
90		淵江第二小学校				6			186			
91		中	竹の塚中学校						6	186		
92			六月中学校			S62 以降			18	655		

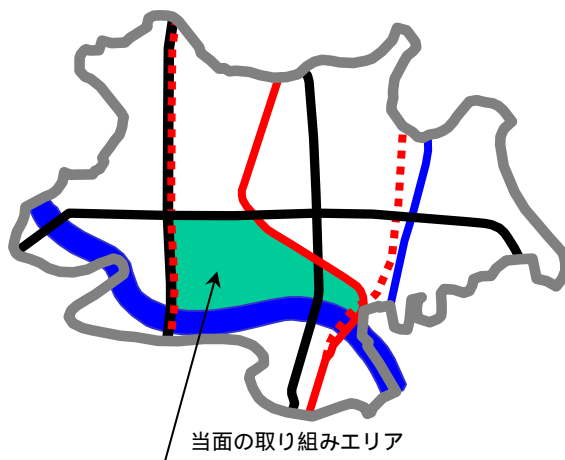
連番	平成 7 年度の報告書						平成 20 年度現在の状況					
	地域	区分	学校名	計画期			統合 改築 案	統合または単独改築		H20.5.1 学級数	H20.5.1 児童・ 生徒数	地域の状況および今後の課題
				前期	中期	後期		統合校・改築等の結果 統合案の今後について	統合・改築等 の年度			
93	11	小	西新井第一小学校						19	648	西伊興小学校の学区には適正規模を確保できる児童数が居住していますが、近隣小学校との距離が非常に近いことによる分散が原因と考えられる小規模傾向が伺えるため、適正配置の検討が必要です。第十四中学校が大規模傾向であり、学校選択制度の運用により生徒数を制限する必要があります。	
94			西新井第二小学校						17	578		
95		中	西伊興小学校						6	209		
96			栗原北小学校						15	475		
97			第十四中学校						24	927		
98			西新井中学校						13	479		
99	12	小	上沼田小学校				統合 引き続き検討 統合の組合せは 再検討		6	133	上沼田小学校が過小規模化しています。学区内に住む児童数も1学年20名程度であり、周辺の小学校を含めて検討が必要と考えます。また、中学校は3校とも小規模傾向であり、地域全体を見た適正規模化の検討が必要です。 ただし、日暮里・舎人ライナーの開通により、沿線の学校では児童・生徒数が増加することも考えられるため、今後の学校規模の推移を見ながら適切な時期に適正規模・適正配置を推進します。	
100			鹿浜小学校						12	420		
101			鹿浜西小学校						11	284		
102			鹿浜第一小学校						21	699		
103			北鹿浜小学校						12	346		
104		皿沼小学校					12	379				
105		中	第八中学校				統合 引き続き検討 統合の組合せは 再検討		8	265		
106	鹿浜中学校							8	247			
107	加賀中学校							10	352			
108	13	小	伊興小学校				統合 足立入谷小学校 再検討		21	763	足立入谷小学校の開校により、小学校はおおむね適正規模を維持しています。しかし、児童数はやや少ない状況であるため、今後も児童数の推移を見ながら検討を進めます。 中学校では入谷中学校と入谷南中学校が小規模化しており、適正規模化の検討が必要です。 ただし、日暮里・舎人ライナーの開通により、沿線の学校では児童・生徒数が増加することも考えられるため、今後の学校規模の推移を見ながら、適切な時期に適正規模・適正配置を推進します。	
109			東伊興小学校						18	605		
110			舎人小学校						17	530		
111			入谷小学校						12	288		
112			入谷南小学校						12	392		
113			舎人第一小学校						16	556		
114			古千谷小学校						15	531		
115		中	伊興中学校				統合 引き続き検討		8	267		
116			入谷中学校						7	201		
117			入谷南中学校	S62以降								

各学校ごとの児童・生徒数の推移や、学齢および学齢前人口のデータは、24 ページ以降の「小・中学校学校基礎データ」をご覧ください。

## 当面の取り組み

当面の取り組みとして、下記の3つの小学校と1つの中学校を適正規模・適正配置の検討対象校として進めていきます。

この4つの小・中学校が位置する地域は、環状七号線・放射11号線・東武伊勢崎線・荒川に囲まれたエリアです。現在この地域において、小学校では西新井小学校の単独改築、中学校では第四中学校、第七中学校、第九中学校の大規模改修が進められています。地域全体の適正規模・適正配置を進めるために、当面の取り組みとして、この4つの小・中学校を中心として、周辺の学校の学区変更を含めて最も良い解決策を検討していきます。



学校名	現状と課題
本木東小学校	過小規模が深刻化しています。 平成10年度以降、学校全体で6学級規模が続いています。学区内に住んでいる学齢前人口も複数学級を確保できない人数であり、早急な検討が必要と考えます。
千寿第五小学校	建物が古くなっており、学校規模も小規模が続いています。 校舎が一番古いもので昭和35年に建築され、老朽化が進んでいます。また、平成14年度以降は11学級以下の小規模校となっています。改築の時期が迫っており、統合または単独改築の方向性について早急に検討を進める必要があります。
栗原小学校	大規模な集合住宅の開発により、児童数が増え始めています。 児童数の増加に反して、小学校の中で延床面積は3番目、敷地面積は最も小さい学校で、許容可能人数を超える可能性があります。 一方で、児童数の増加は一時的なものである可能性もあるため、長期的な視野で地域を一体的に見た改善策の検討が必要と考えます。
第七中学校 (大規模改修中)	学校の北側で大規模な集合住宅の開発が進んでいます。 このエリアは、かつて大規模工場があった場所です。当時から第十中学校の学区としてきましたが、実際には道路を挟んで第七中学校と隣接しているエリアであり、通学距離を考慮して学区変更の検討を進めます。

この地域の詳細は、資料1および2「平成20年度 足立区立小・中学校学区図」に掲載しています。

小学校 72 校の学校基礎データ

01 千寿小学校	25-1
02 千寿本町小学校	25-2
03 千寿双葉小学校	26-1
04 千寿常東小学校	26-2
05 千寿第五小学校	27-1
06 千寿桜小学校	27-2
07 千寿第八小学校	28-1
08 西新井小学校	28-2
09 西新井第一小学校	29-1
10 西新井第二小学校	29-2
11 西伊興小学校	30-1
12 興本小学校	30-2
13 本木小学校	31-1
14 本木東小学校	31-2
15 寺地小学校	32-1
16 関原小学校	32-2
17 江北小学校	33-1
18 高野小学校	33-2
19 扇小学校	34-1
20 鹿浜小学校	34-2
21 鹿浜第一小学校	35-1
22 北鹿浜小学校	35-2
23 鹿浜西小学校	36-1
24 上沼田小学校	36-2
25 皿沼小学校	37-1
26 新田小学校	37-2
27 宮城小学校	38-1
28 舎人小学校	38-2
29 舎人第一小学校	39-1
30 足立入谷小学校	39-2
31 古千谷小学校	40-1
32 梅島小学校	40-2
33 梅島第一小学校	41-1
34 梅島第二小学校	41-2
35 島根小学校	42-1

36 中島根小学校	42-2
37 亀田小学校	43-1
38 栗原小学校	43-2
39 栗原北小学校	44-1
40 栗島小学校	44-2
41 加平小学校	45-1
42 東栗原小学校	45-2
43 平野小学校	46-1
44 弥生小学校	46-2
45 五反野小学校	47-1
46 弘道小学校	47-2
47 弘道第一小学校	48-1
48 青井小学校	48-2
49 綾瀬小学校	49-1
50 東綾瀬小学校	49-2
51 東加平小学校	50-1
52 東渚江小学校	50-2
53 中川小学校	51-1
54 中川北小学校	51-2
55 辰沼小学校	52-1
56 中川東小学校	52-2
57 北三谷小学校	53-1
58 大谷田小学校	53-2
59 長門小学校	54-1
60 花畑小学校	54-2
61 花畑第一小学校	55-1
62 花畑西小学校	55-2
63 桜花小学校	56-1
64 花保小学校	56-2
65 六木小学校	57-1
66 渚江小学校	57-2
67 渚江第一小学校	58-1
68 西保木間小学校	58-2
69 保木間小学校	59-1
70 竹の塚小学校	59-2
71 伊興小学校	60-1
72 東伊興小学校	60-2

中学校 37 校の学校基礎データ

01 第一中学校	61-1
02 千寿桜堤中学校	61-2
03 千寿青葉中学校	62-1
04 第四中学校	62-2
05 第五中学校	63-1
06 第六中学校	63-2
07 第七中学校	64-1
08 第八中学校	64-2
09 第九中学校	65-1
10 第十中学校	65-2
11 第十一中学校	66-1
12 第十二中学校	66-2
13 第十三中学校	67-1
14 第十四中学校	67-2
15 江南中学校	68-1
16 新田中学校	68-2
17 江北中学校	69-1
18 鹿浜中学校	69-2
19 東島根中学校	70-1
20 渚江中学校	70-2
21 竹の塚中学校	71-1
22 東綾瀬中学校	71-2
23 青井中学校	72-1
24 花畑中学校	72-2
25 蒲原中学校	73-1
26 西新井中学校	73-2
27 入谷中学校	74-1
28 上沼田中学校	74-2
29 伊興中学校	75-1
30 花畑北中学校	75-2
31 谷中中学校	76-1
32 花保中学校	76-2
33 栗島中学校	77-1
34 扇中学校	77-2
35 加賀中学校	78-1

36 入谷南中学校	78-2
37 六月中学校	79-1

[データについて]

- ◆ 在籍人数には特別支援学級(固定)の児童・生徒数を含んでいません。
- ◆ 第四中学校の夜間学級の生徒数は含んでいません。
- ◆ 在籍人数や居住数が他校に比べて非常に多いため、グラフの一部が正確に表示されない場合があります。

## 1 学校基礎データ

行政番号 01 学校名 千寿小学校

所在地 120-0043 足立区千住宮元町6-1

交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩15分  
千住大橋駅(京成線)下車徒歩5分

開校年月日 平成14年4月1日 敷地面積 7,681 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和44年 延床面積 4,747 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.60以上(H2補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)

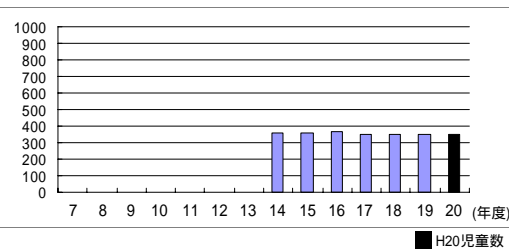
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数								355	357	368	348	351	347	353
学級								12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

平成14年に千寿小学校と千寿第二小学校を統合し開校しました。開校後は常に12学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

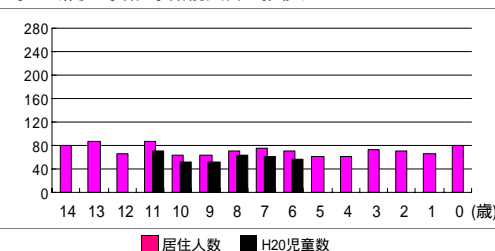
居住人数 81 86 66 86 64 64 71 76 70 61 62 73 71 67 80

H20児童数 70 51 52 63 61 56

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。千住大橋駅周辺地区の集合住宅開発により、将来的に児童数が増加する可能性があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

千住地域の小中学校は、平成17年までに統廃合を順次進めてきました。大幅な児童数の増減がない限り、現状の学校数および学区を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 02 学校名 千寿本町小学校

所在地 120-0034 足立区千住3-30

交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩7分

開校年月日 平成3年4月1日 敷地面積 6,252 m<sup>2</sup> 特別支援学級 難聴・言語障がい

建築年 平成5年 延床面積 8,889 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)

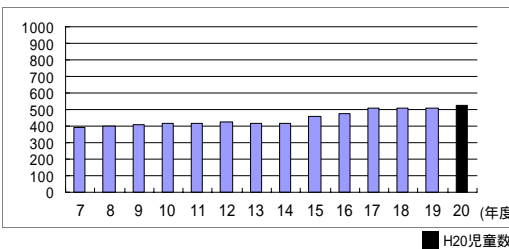
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	392	401	411	420	418	426	417	420	458	478	506	511	507	522
学級	12	13	13	13	12	13	13	13	14	14	15	15	15	15

これまでの学校規模の推移について

平成3年に千寿第一小学校と千寿旭小学校を統合し開校しました。常に12学級から15学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

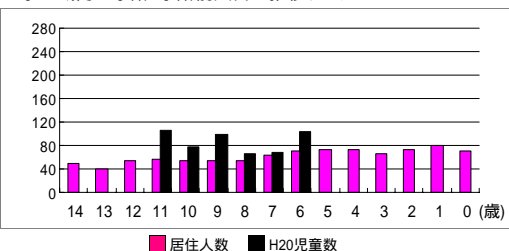
居住人数 50 40 55 56 53 55 53 63 70 74 74 66 74 80 70

H20児童数 106 77 100 67 68 104

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、やや増加することが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

千住地域の小中学校は、平成17年までに統廃合を順次進めてきました。大幅な児童数の増減がない限り、現状の学校数および学区を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 03 学校名 千寿双葉小学校

所在地 120-0031 足立区千住大川町17-1

交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩13分  
北千住駅から東武・都営バス千住四丁目下車徒歩3分

開校年月日 平成17年4月1日 敷地面積 7,949 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 平成19年 延床面積 7,551 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)

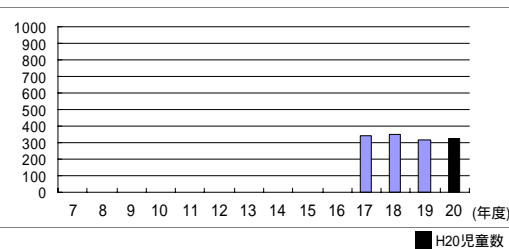
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数											342	346	320	326
学級											12	12	11	12

これまでの学校規模の推移について

平成17年に千寿第三小学校と元宿小学校を統合し開校しました。  
平成19年度には11学級となりましたが、その後回復し12学級となっており、おおむね適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

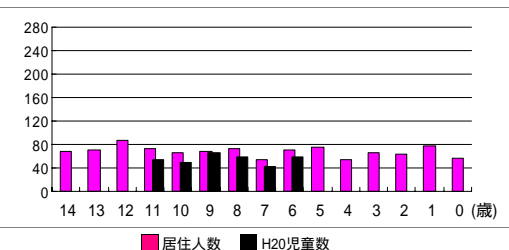
居住人数 69 70 88 72 65 68 73 54 70 75 54 67 64 77 57

H20児童数 53 49 65 58 42 59

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。  
大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

千住地域の小中学校は、平成17年までに統廃合を順次進めてきました。  
大幅な児童数の増減がない限り、現状の学校数および学区を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 04 学校名 千寿常東小学校

所在地 120-0026 足立区千住旭町10-31

交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩5分

開校年月日 平成14年4月1日 敷地面積 9,563 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい

建築年 昭和38年 延床面積 6,568 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟・0.72(H16補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)

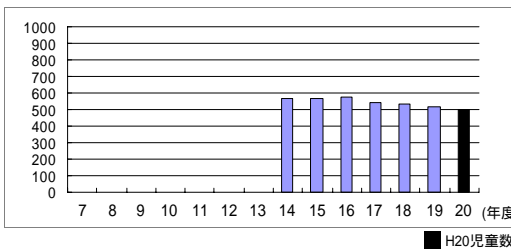
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数								565	565	574	541	534	518	504
学級								17	17	17	17	17	16	15

これまでの学校規模の推移について

平成14年に千寿第四小学校と柳原小学校を統合し開校しました。  
常に15学級から17学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

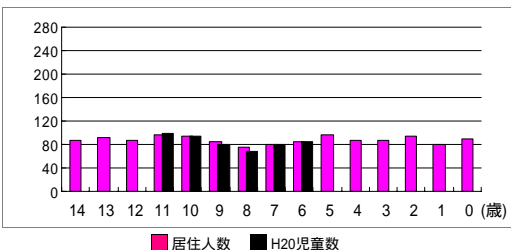
居住人数 88 92 86 97 93 84 76 81 85 96 87 86 93 79 89

H20児童数 98 94 80 68 80 84

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。  
大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

千住地域の小中学校は、平成17年までに統廃合を順次進めてきました。  
大幅な児童数の増減がない限り、現状の学校数および学区を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 05 学校名 千寿第五小学校

所在地 120-0015 足立区足立1-13-10

交通 五反野駅(東武線)下車徒歩5分

開校年月日 大正14年4月1日 敷地面積 6,553 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい

建築年 昭和35年 延床面積 5,640 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟・0.72～0.78(H20補強済) 体育館・0.78(H20補強済)

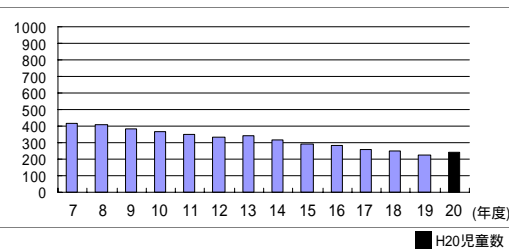
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	416	409	384	364	350	330	339	316	292	282	257	250	221	244
学級	13	13	12	12	12	12	12	11	10	10	9	9	8	9

これまでの学校規模の推移について

児童数の減少が見られます。平成14年度には11学級以下の小規模となり、平成20年度現在では、学校全体で9学級で1学年1学級の学年が3学年あります。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

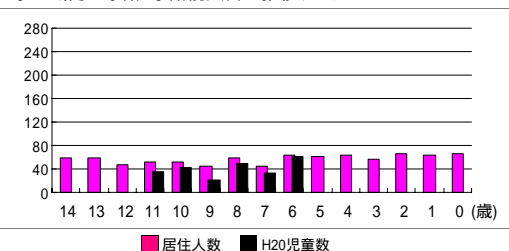
居住人数 60 58 48 52 52 45 60 44 64 61 63 56 67 63 67

H20児童数 36 43 21 49 34 61

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

学区内には2学級規模の児童が住んでいることから、学校選択制度の影響が見られます。児童数の増加が見込まれないことから、今後も小規模が続く可能性があります。また、昭和35年に建設された校舎の老朽化が進んでいます。今後の児童数の推移や学校選択制度の状況を見ながらも、早急に検討が必要です。

## 1 学校基礎データ

行政番号 06 学校名 千寿桜小学校

所在地 120-0045 足立区千住桜木1-8-15

交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩15分  
北千住駅から東武・都営バス龍田町下車徒歩3分

開校年月日 平成4年4月1日 敷地面積 8,175 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい

建築年 平成6年 延床面積 8,987 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)

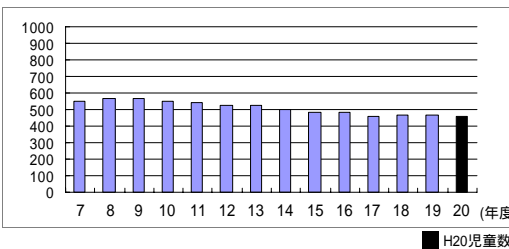
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	551	567	568	553	543	527	526	498	483	481	458	469	464	458
学級	18	18	18	18	18	16	17	16	16	15	14	15	15	15

これまでの学校規模の推移について

平成4年に千寿第六小学校と千寿第七小学校を統合し開校しました。常に14学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

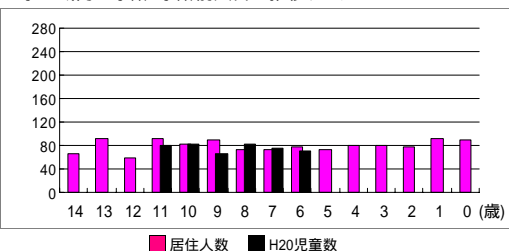
居住人数 66 92 60 91 82 89 73 72 78 74 81 79 77 91 90

H20児童数 81 82 67 82 75 71

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

千住地域の小中学校は、平成17年までに統廃合を順次進めてきました。大幅な児童数の増減がない限り、現状の学校数および学区を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 07 学校名 千寿第八小学校

所在地 120-0024 足立区千住関屋町16-1

交通 牛田駅(東武線)下車徒歩10分  
北千住駅(東武線等)下車徒歩15分

開校年月日 昭和13年4月1日 敷地面積 9,439 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和41年 延床面積 6,532 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟・0.72～0.89(H20補強済) 体育館・0.89(H20補強済)

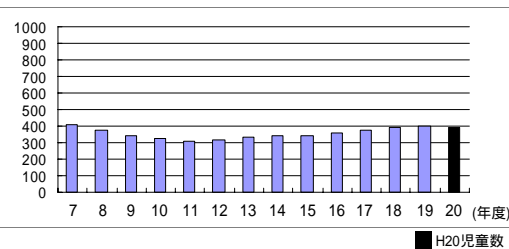
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	405	373	344	327	309	320	336	340	338	361	378	395	396	390
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

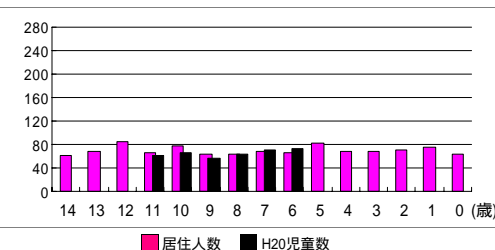
居住人数 61 68 84 65 77 64 64 68 65 83 69 68 71 76 64

H20児童数 61 66 57 64 70 72

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。千住大川端地区の集合住宅開発により、将来的に児童数が増加する可能性があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

千住地域の小中学校は、平成17年までに統廃合を順次進めてきました。大幅な児童数の増減がない限り、現状の学校数および学区を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 08 学校名 西新井小学校

所在地 123-0845 足立区西新井本町4-9-27

交通 大師前駅(東武大師線)下車徒歩7分

開校年月日 昭和4年4月1日 敷地面積 9,075 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和33年 延床面積 6,285 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 平成22年改築終了予定

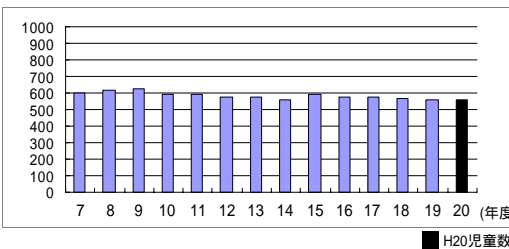
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	597	616	622	593	594	577	574	562	591	577	574	563	557	562
学級	19	19	19	18	18	18	18	18	19	18	18	17	17	17

これまでの学校規模の推移について

常に17学級から19学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

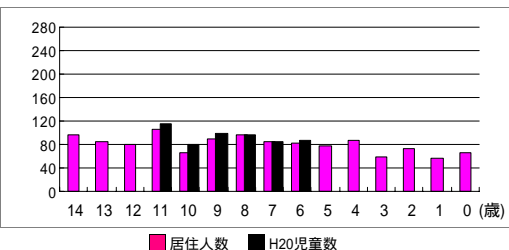
居住人数 97 84 79 105 67 90 96 84 82 77 86 60 72 56 66

H20児童数 115 80 100 96 84 87

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、やや減少が見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成22年の完成に向けて、現在改築を進めています。今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。



## 1 学校基礎データ

行政番号	09	学校名	西新井第一小学校
所在地	123-0841 足立区西新井6-21-3		
交通	大師前駅(東武大師線)下車徒歩5分 西新井大師西駅(日舎ライナー)下車徒歩7分		
開校年月日	昭和27年4月1日	敷地面積	10,904 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和41年	延床面積	6,191 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71～0.72(H19、20補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		

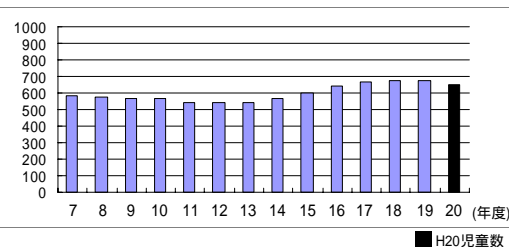
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	585	578	569	566	545	538	543	567	597	642	667	674	675	648
学級	18	18	17	17	17	17	17	17	18	19	19	19	19	19

これまでの学校規模の推移について

常に17学級から19学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区域内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



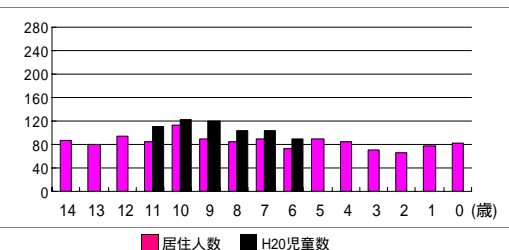
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年 5年 4年 3年 2年 1年														
居住人数	86	80	93	84	113	90	85	90	74	90	85	71	65	78	82
H20児童数	110 123 119 103 103 90														

今後の児童数の推移について

学区域内に住む児童数は、やや減少することが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	10	学校名	西新井第二小学校
所在地	123-0841 足立区西新井4-34-1		
交通	西新井駅(東武線)から東武バス西新井消防署下車徒歩1分 大師前駅(東武大師線)下車徒歩15分 谷在家(日舎ライナー)下車徒歩10分		
開校年月日	昭和39年9月1日	敷地面積	9,953 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和39年	延床面積	5,611 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.60以上(H8補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)		

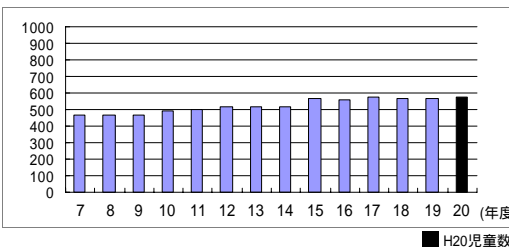
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	470	467	468	495	501	514	514	519	565	562	575	569	568	578
学級	14	13	13	15	15	16	17	17	18	18	18	17	17	17

これまでの学校規模の推移について

常に13学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区域内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



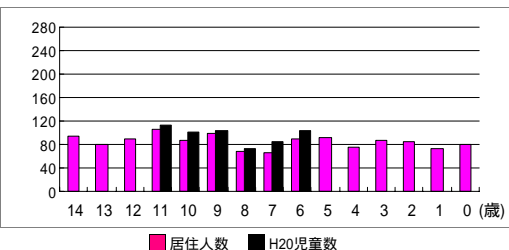
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年 5年 4年 3年 2年 1年														
居住人数	95	80	90	105	88	98	69	66	89	92	75	87	84	72	80
H20児童数	112 101 104 73 84 104														

今後の児童数の推移について

学区域内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	11	学校名	西伊興小学校
所在地	121-0823 足立区伊興2-6-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩13分		
開校年月日	昭和47年4月1日	敷地面積	11,383 m <sup>2</sup>
建築年	昭和47年	延床面積	5,428 m <sup>2</sup>
耐震IS値	校舎棟・0.72～0.82(H19補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		
		特別支援学級	
		学童保育室	あり

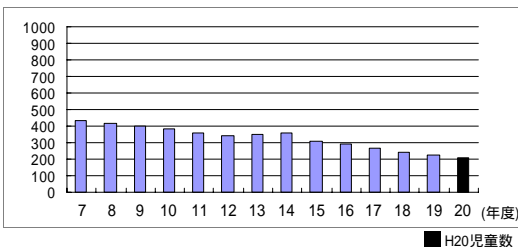
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	436	420	400	384	356	338	351	355	311	289	266	241	221	209
学級	12	13	13	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6

これまでの学校規模の推移について

児童数の減少が見られます。平成15年度には11学級以下の小規模校となり、平成20年度は学校全体で6学級ですべての学年が単学級の過小規模校となっています。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

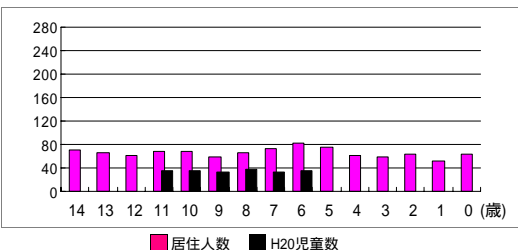
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	70	65	61	69	69	59	65	72	82	75	62	58	64	51	63
H20児童数				35	36	34	37	32	35						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

近隣の小学校との距離が近く、学区も入り組んでいます。その影響からか、学校選択制度によって学区外の小学校に入学する傾向が見られます。今後の学校選択制度の状況を見ながら、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	12	学校名	興本小学校
所在地	123-0873 足立区扇3-22-1		
交通	西新井駅(東武線)から都営バス阿弥陀橋下車徒歩3分 江北駅(日舎ライナー)下車徒歩3分		
開校年月日	昭和37年4月1日	敷地面積	13,344 m <sup>2</sup>
建築年	昭和37年	延床面積	5,766 m <sup>2</sup>
耐震IS値	校舎棟・0.74～0.85(H16補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		
		特別支援学級	
		学童保育室	あり

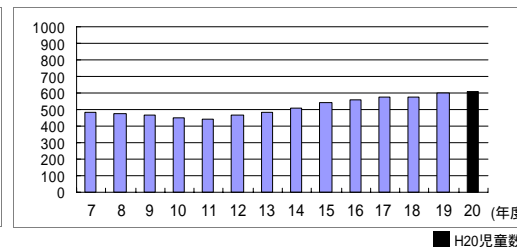
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	485	477	468	452	443	463	485	512	539	558	576	579	597	612
学級	15	14	14	13	12	13	14	15	17	17	18	18	18	18

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から18学級を以上を維持しており、適正な学校規模といえます。平成18年度から、扇中学校との小中一貫校となり、児童数および学級数の安定傾向が伺えます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

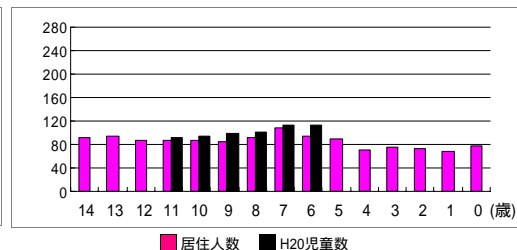
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	91	94	88	86	88	85	92	109	95	90	70	75	72	68	78
H20児童数				92	93	98	102	114	113						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、やや減少が見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。平成20年度現在、足立区唯一の小中一貫校です。扇中学校との小中一貫教育を今後も推進していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	13	学校名	本木小学校
所在地	123-0857 足立区本木北町7 - 1		
交通	北千住駅(東武線等)または大師前駅(東武大師線)から東武バス本木小学校前下車徒歩1分		

開校年月日	明治10年3月10日	敷地面積	6,527 m <sup>2</sup>	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和40年	延床面積	5,652 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.81～0.82(H12補強済) 体育館・0.81(H12補強済)				

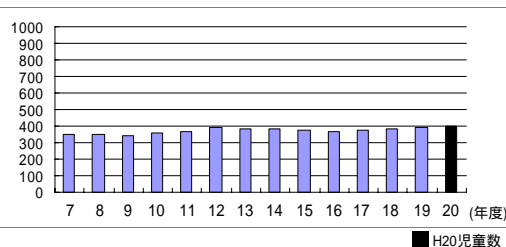
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	351	352	341	358	364	390	381	380	374	368	379	387	391	397
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から13学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区域内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



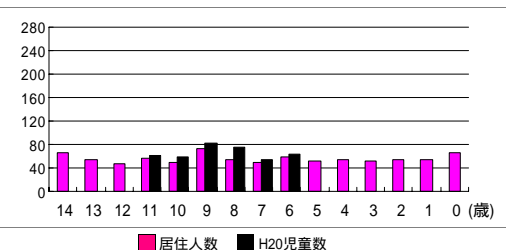
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年 5年 4年 3年 2年 1年														
居住人数	65	55	47	56	49	73	55	49	60	52	55	52	55	53	66
H20児童数	62 59 82 76 54 64														

今後の児童数の推移について

学区域内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	14	学校名	本木東小学校
所在地	123-0853 足立区本木1 - 14 - 15		
交通	北千住駅(東武線等)または大師前駅(東武大師線)から東武バスいずみ記念病院前下車徒歩1分		

開校年月日	昭和32年4月1日	敷地面積	6,725 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和38年	延床面積	4,905 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.74～0.81(H13補強済) 体育館・0.81(H13補強済)				

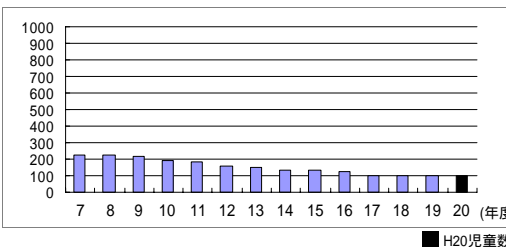
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	226	223	215	190	183	160	147	136	132	122	104	96	102	98
学級	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

これまでの学校規模の推移について

児童数の減少が見られます。平成10年度には学校全体で6学級以下の過小規模となり、10年以上過小規模が続いています。1学級の児童数も少なく、平成20年度は、10から23人の学級規模となっています。

学校全体の児童数の推移グラフ



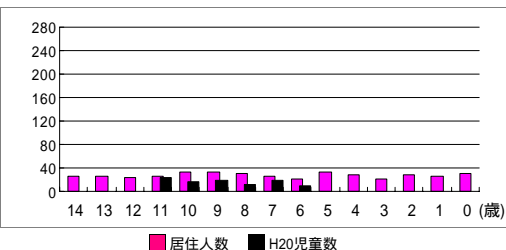
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年 5年 4年 3年 2年 1年														
居住人数	27	27	24	27	34	32	31	26	22	33	28	21	28	26	31
H20児童数	23 17 18 11 19 10														

今後の児童数の推移について

学区域内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大規模な住宅開発なども見込まれないため、複数学級に回復するのは極めて困難な状況といえます。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も、学区内の児童数の増加が見込めず、複数学級に回復することは極めて難しいと思われる。過小規模の解消のため、早急な改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	15	学校名	寺地小学校
所在地	123-0873 足立区扇1-7-1		
交通	北千住駅(東武線等)または大師前駅(東武大師線)から東武バス本木小学校前下車徒歩10分 扇大橋駅(日舎ライナー)下車徒歩8分		
開校年月日	昭和15年9月16日	敷地面積	9,637 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和43年	延床面積	6,229 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.75～0.96(H12補強済) 体育館・0.78(H12補強済)		

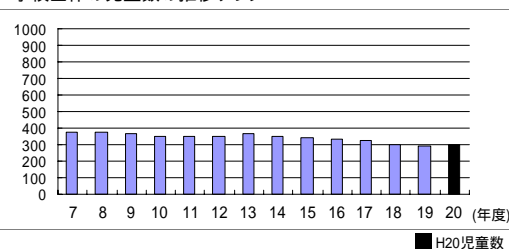
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	374	372	367	352	350	352	370	351	344	334	322	302	288	297
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



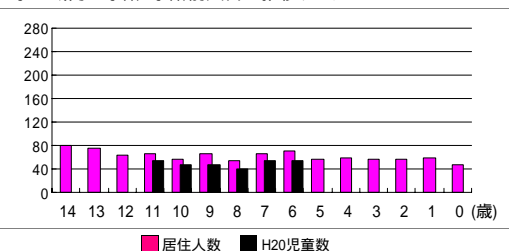
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	80	75	64	67	57	66	55	67	70	57	59	57	57	58	47
H20児童数				55	47	46	41	55	53						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の0歳が47人で、やや少ない人数となっています。  
大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増減によっては、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	16	学校名	関原小学校
所在地	123-0852 足立区関原3-38-3		
交通	西新井駅(東武線)下車徒歩12分		
開校年月日	昭和7年4月1日	敷地面積	7,209 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和39年	延床面積	6,547 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟および体育館・0.60以上(S62補強済)		

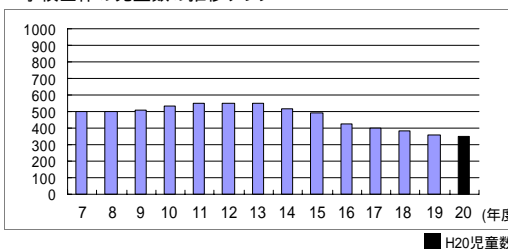
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	503	499	511	537	546	549	547	517	488	427	400	380	355	351
学級	15	15	16	16	17	17	17	16	15	14	14	13	12	12

これまでの学校規模の推移について

児童数の減少が見られますが、常に12学級から17学級を維持しており、おおむね適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



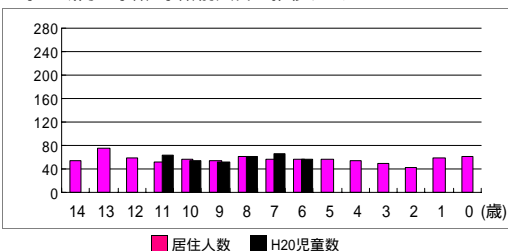
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	54	76	59	52	56	53	61	56	57	56	54	50	42	59	61
H20児童数				63	53	51	62	65	57						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の2歳が42人で、やや少ない人数となっています。  
大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増減によっては、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	17	学校名	江北小学校
所在地	123-0872 足立区江北3-50-1		
交通	西新井駅(東武線)から都営バス荒川土手操車所下車徒歩10分		

開校年月日	明治7年11月1日	敷地面積	8,115 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和41年	延床面積	5,675 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.75～0.93(H17補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)				

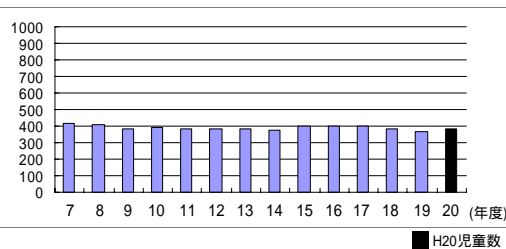
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	417	411	385	390	386	386	387	374	402	404	399	387	366	386
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



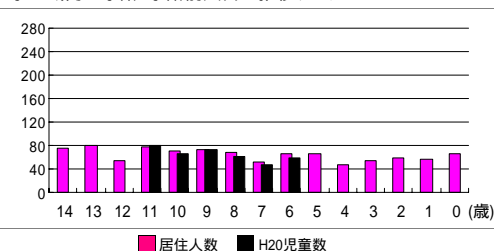
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	76	80	53	78	70	72	68	52	65	67	46	54	60	56	67
H20児童数				80	67	72	62	46	59						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の4歳が46人で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増減によっては、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	18	学校名	高野小学校
所在地	123-0872 足立区江北5-4-1		
交通	大師前駅(東武大師線)下車徒歩15分 江北駅(日舎ライナー)下車徒歩3分		

開校年月日	昭和38年4月1日	敷地面積	12,964 m <sup>2</sup>	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和37年	延床面積	6,106 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.76～0.79(H13補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)				

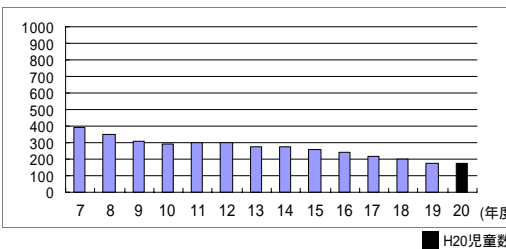
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	395	350	312	290	303	301	279	273	261	243	220	198	172	177
学級	13	12	12	10	11	11	11	11	10	9	8	7	6	6

これまでの学校規模の推移について

児童数の減少が見られます。平成10年度には11学級以下の小規模校となり、平成19年度から学校全体で6学級ですべての学年が単学級の過小規模校となっています。

学校全体の児童数の推移グラフ



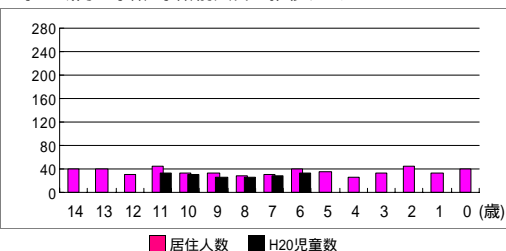
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	40	40	31	45	33	34	29	31	39	35	27	33	45	33	39
H20児童数				34	30	25	27	28	33						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。周辺地域において、上沼田南土地区画整理事業が進められています。また、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

現時点では児童数の大幅な増加は見込まれませんが、区画整理事業と新線の状況により変化する可能性があります。今後の学校規模の推移を見ながら、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	19	学校名	扇小学校
所在地	123-0873 足立区扇2-30-1		
交通	西新井駅(東武線)からはるかぜ扇いちょう公園下車徒歩5分他(北千住駅からはるかぜも可) 扇大橋駅(日舎ライナー)下車徒歩4分		
開校年月日	昭和45年4月1日	敷地面積	8,059 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和45年	延床面積	5,027 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71～0.75(H14補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		

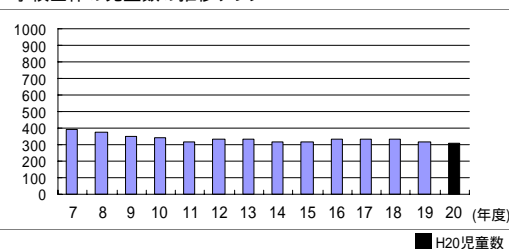
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	391	378	351	338	318	335	336	316	320	336	334	334	318	312
学級	12	12	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

平成9年度から11年度まで11学級以下の小規模校でしたが、平成12年度以降は12学級を維持しており、おおむね適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



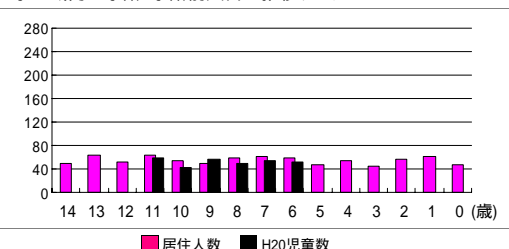
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	49	64	51	64	54	50	58	62	60	47	55	44	57	62	47
H20児童数				59	42	56	49	55	51						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の5歳と0歳が47人、3歳が44人で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増減によっては、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	20	学校名	鹿浜小学校
所在地	123-0864 足立区鹿浜4-20-22		
交通	西新井駅(東武線)から東武・国際興業バス鹿浜十字路下車徒歩3分 国際興業バス樫二丁目下車徒歩3分		
開校年月日	昭和23年11月1日	敷地面積	8,118 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和43年	延床面積	5,428 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.78～0.83(H12補強済) 体育館・0.83(H12補強済)		

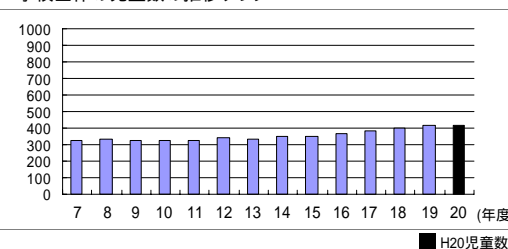
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	328	333	325	326	328	340	337	346	347	369	382	399	414	420
学級	12	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

平成8年度から11年度まで11学級以下の小規模校でしたが、平成12年度以降は12学級を維持しており、おおむね適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



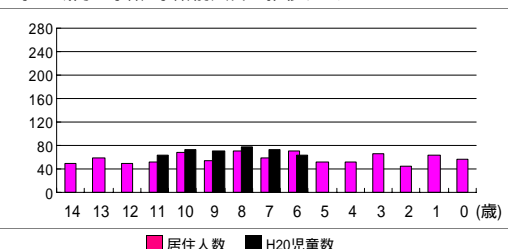
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	49	60	50	51	69	54	71	58	70	51	52	65	45	63	57
H20児童数				64	73	70	78	72	63						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の2歳が45人で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増減によっては、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	21	学校名	鹿浜第一小学校
所在地	123-0863 足立区谷在家2-24-1		
交通	西新井駅(東武線)から東武バス谷在家下車徒歩5分 谷在家駅(日舎ライナー)下車徒歩8分		
開校年月日	昭和41年4月1日	敷地面積	12,636 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和40年	延床面積	6,022 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71～0.76(H9、10補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		

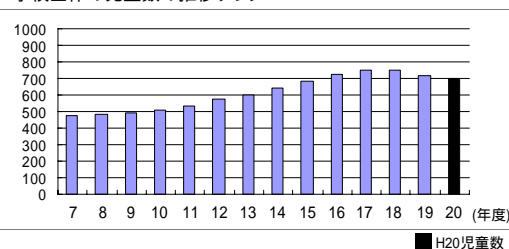
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	479	487	492	512	532	576	597	643	684	729	746	746	718	699
学級	16	15	17	17	17	19	20	20	22	22	22	22	21	21

これまでの学校規模の推移について

常に15学級から22学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



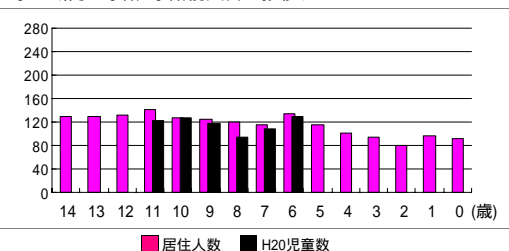
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	130	129	131	142	127	124	119	116	133	116	101	94	81	96	91
H20児童数				122	126	118	95	108	130						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は減少することが見込まれますが、すべての年代で80人を越えており、今後も適正な規模を維持できると考えられます。  
大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	22	学校名	北鹿浜小学校
所在地	123-0864 足立区鹿浜5-27-1		
交通	西新井駅(東武線)から東武バス産業道路東下車徒歩3分		
開校年月日	昭和48年4月1日	敷地面積	10,275 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和48年	延床面積	5,698 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.74～0.82(H14補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		

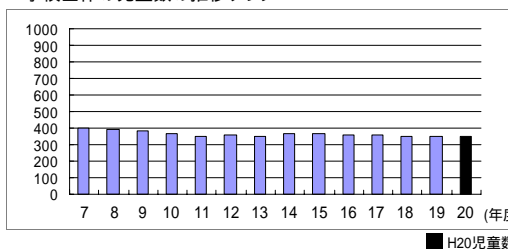
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	402	388	382	365	352	355	348	368	370	357	356	347	346	346
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



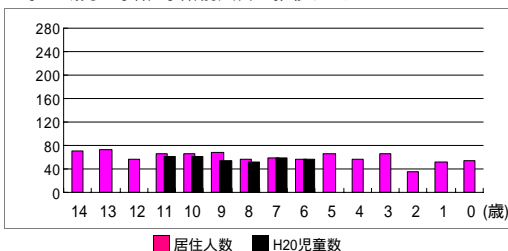
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	70	72	57	67	65	68	56	58	57	65	56	67	35	52	53
H20児童数				61	62	55	51	60	57						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の2歳が35人で、単学級規模の人数となっています。  
大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後、11学級以下の学校規模になる可能性があります。  
児童数の増減を見ながら、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	23	学校名	鹿浜西小学校
所在地	123-0864 足立区鹿浜2-24-1		
交通	西新井駅(東武線)から東武バス鹿浜下車徒歩3分 王子・赤羽駅(JR等)から都営バス鹿浜橋下車徒歩3分		
開校年月日	昭和44年4月1日	敷地面積	10,153 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和44年	延床面積	4,226 m <sup>2</sup>
		学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.72～0.81(H16補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		

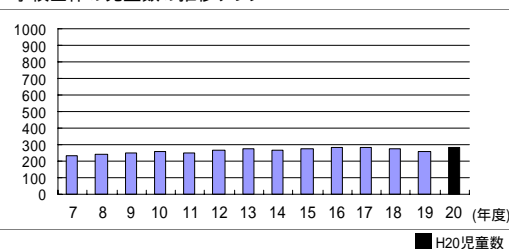
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	237	241	250	262	254	263	279	266	274	286	285	275	262	284
学級	8	9	9	9	8	9	11	9	11	11	10	10	11	11

これまでの学校規模の推移について

常に11学級以下の小規模校となっています。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

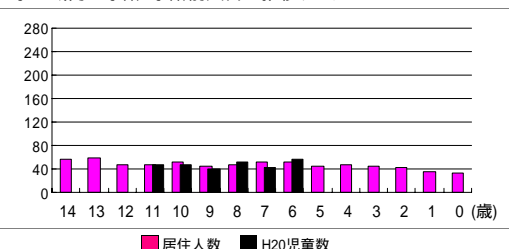
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	57	60	47	46	52	44	48	51	52	44	46	44	43	36	34
H20児童数				47	48	40	51	42	56						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれます。平成20年度現在の2歳から5歳が40人代でやや少なく、0歳と1歳が30人台で、単学級規模の人数となっています。  
大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も小規模が継続する可能性が高いと思われます。児童数の増減を見ながら、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	24	学校名	上沼田小学校
所在地	123-0872 足立区江北6-10-2		
交通	大師前駅(東武大師線)下車徒歩18分 西新井大師西駅(日舎ライナー)下車徒歩3分		
開校年月日	昭和47年4月1日	敷地面積	9,042 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	情緒障がい
建築年	昭和47年	延床面積	6,195 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71～0.72(H20補強済) 体育館・1.22(H20補強済)		

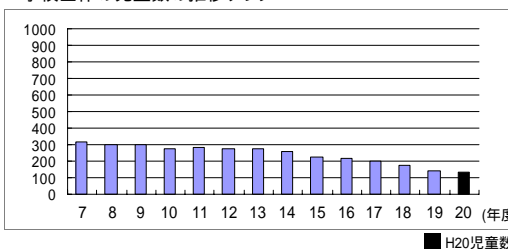
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	316	298	302	279	280	277	275	256	227	214	197	174	141	133
学級	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6	6

これまでの学校規模の推移について

児童数の減少が見られます。平成14年度には11学級以下の小規模校となり、平成19年度から学校全体で6学級ですべての学年が単学級の過小規模校となっています。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	42	41	34	23	28	40	23	26	22	16	27	23	21	19	22
H20児童数				22	29	27	19	10	26						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大規模な住宅開発なども見込まれないため、複数学級に回復するのは極めて困難な状況といえますが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

現時点では、児童数の大幅な増加は見込まれませんが、新線の状況により変化する可能性があります。児童数の増減を見ながら、改善策の検討が必要と考えます。



## 1 学校基礎データ

行政番号 25 学校名 皿沼小学校

所在地 123-0862 足立区皿沼1-19-1

交通 西新井駅(東武線)から  
東武バス皿沼不動前下車徒歩7分

開校年月日 昭和57年4月1日 敷地面積 12,735 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和57年 延床面積 6,095 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.77～0.92(H19補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)

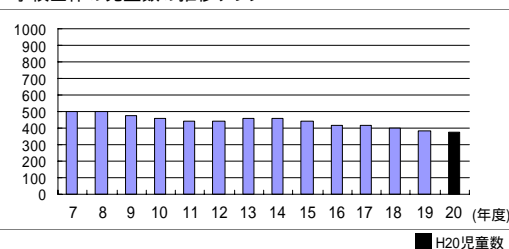
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	502	501	478	457	438	438	459	460	443	419	413	403	382	379
学級	15	15	14	14	13	13	15	14	14	13	13	13	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から15学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

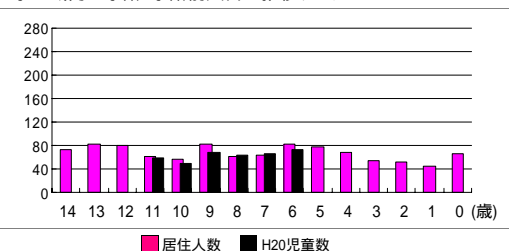
居住人数 73 83 80 61 56 82 62 64 83 77 69 55 51 45 67

H20児童数 59 49 68 63 67 73

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の1歳が45人で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増減によっては、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 26 学校名 新田小学校

所在地 123-0865 足立区新田2-30-1

交通 王子駅(JR等)から都営バス新田二丁目下車徒歩3分

開校年月日 昭和23年4月1日 敷地面積 6,624 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和41年 延床面積 6,007 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 H22移転予定(小中一貫校)

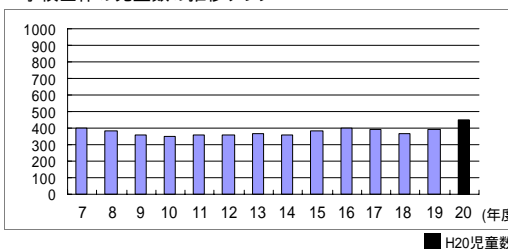
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	402	387	356	346	362	361	363	358	381	399	389	370	393	446
学級	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から13学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

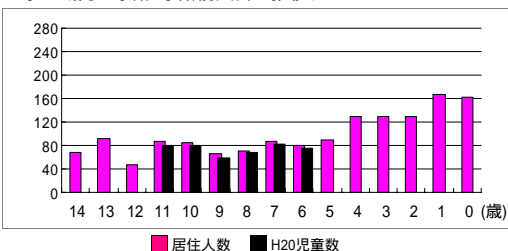
居住人数 69 92 46 87 84 66 70 88 80 90 130 129 129 167 163

H20児童数 80 80 59 69 83 75

今後の児童数の推移について

新田地区の大規模な集合住宅開発により、学区内に住む児童数は大幅に増加する見込みです。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成22年に新田小学校と新田中学校の小中一貫校「新田学園」が開校する予定です。

## 1 学校基礎データ

行政番号	27	学校名	宮城小学校
所在地	120-0047 足立区宮城1-27-25		
交通	西新井駅(東武線)から都営バス宮城二丁目下車徒歩3分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	8,496 m <sup>2</sup>	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和39年	延床面積	6,264 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.72～0.87(H19補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)				

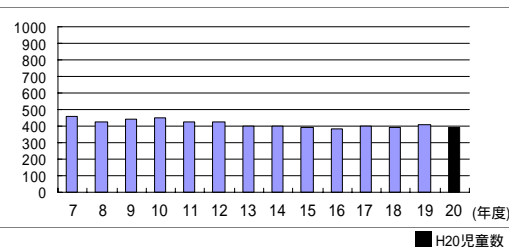
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	459	429	439	448	425	421	404	402	392	381	404	395	408	393
学級	14	13	13	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から14学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



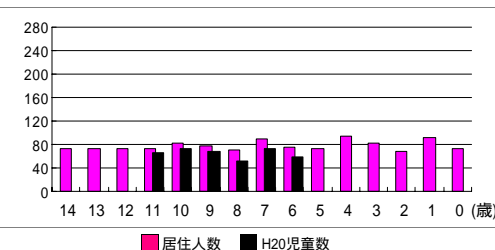
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年 5年 4年 3年 2年 1年														
居住人数	73	72	72	74	83	77	71	89	75	74	94	83	68	92	72
H20児童数	67 72 69 52 74 59														

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。学区内には大規模な集合住宅が建設される可能性があり、その状況によっては児童数が増加する可能性があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	28	学校名	舎人小学校
所在地	121-0831 足立区舎人1-25-32		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス舎人町下車徒歩5分 舎人駅(日舎ライナー)下車徒歩3分		

開校年月日	明治26年1月28日	敷地面積	10,685 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和44年	延床面積	6,376 m <sup>2</sup>	学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.72～0.75(H18補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)				

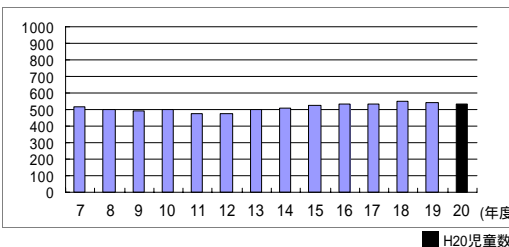
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	514	497	488	501	472	476	504	510	523	532	534	547	542	530
学級	16	15	15	15	14	14	15	16	17	17	17	18	18	17

これまでの学校規模の推移について

常に14学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



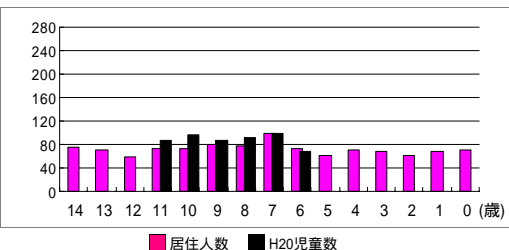
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年 5年 4年 3年 2年 1年														
居住人数	75	70	59	73	72	81	78	98	73	61	70	69	62	68	70
H20児童数	87 97 88 91 98 69														

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、やや減少することが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	29	学校名	舎人第一小学校
所在地	121-0831 足立区舎人6-4-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス見沼代親水公園駅下車徒歩7分 見沼代親水公園駅(日舎ライナー)下車徒歩7分		
開校年月日	昭和61年4月1日	敷地面積	9,471 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和61年	延床面積	8,969 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)		

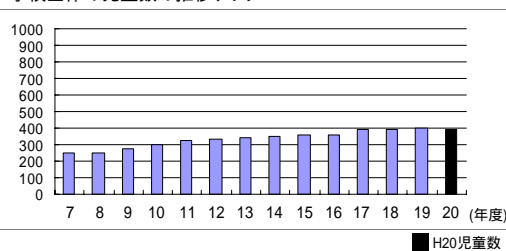
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	250	252	271	297	323	332	340	350	359	359	392	388	401	392
学級	10	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

平成10年度までは11学級以下の小規模校でしたが、平成11年度以降は12学級を維持しており、おおむね適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



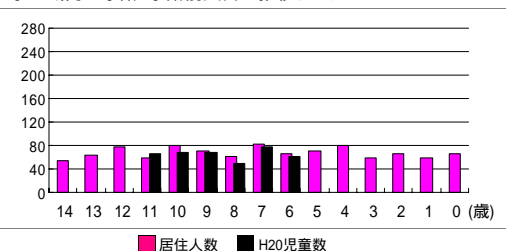
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	54	64	77	60	79	71	62	82	67	71	80	60	66	60	65
H20児童数				66	69	69	50	77	61						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増減によっては、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	30	学校名	足立入谷小学校
所在地	121-0836 足立区入谷3-8-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス舎人団地南下車徒歩4分		
開校年月日	平成13年4月1日	敷地面積	10,665 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和50年	延床面積	5,668 m <sup>2</sup>
		学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.71～1.03 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)		

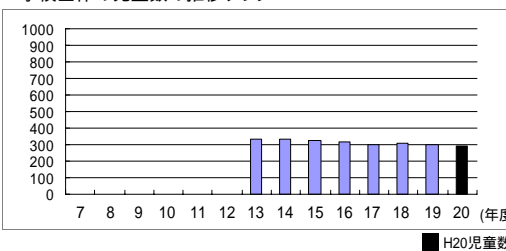
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数							332	334	329	320	304	309	303	288
学級							12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

平成13年に入谷小学校と入谷南小学校を統合し開校しました。開校後は常に12学級以上を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



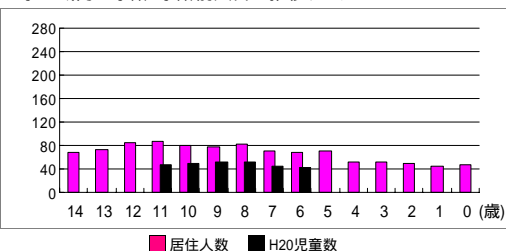
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	68	73	85	87	80	78	83	71	68	70	51	52	50	45	48
H20児童数				48	50	51	51	45	43						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は減少することが見込まれ、平成20年度現在の1歳が45人、0歳が48人で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増減によっては、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	31	学校名	古千谷小学校
所在地	121-0832 足立区古千谷本町4-12-16		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス古千谷下車徒歩2分 舎人駅(日舎ライナー)下車徒歩10分		
開校年月日	昭和51年4月1日	敷地面積	9,198 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和51年	延床面積	5,048 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.77~0.83(H20補強済) 体育館・0.77(H20補強済)		

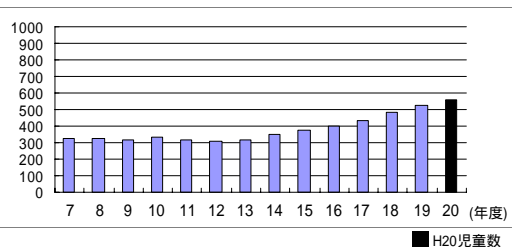
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	321	324	319	330	318	307	317	351	377	398	436	487	525	556
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	14	15	15	16

これまでの学校規模の推移について

児童数の増加が見られます。常に12学級から16学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

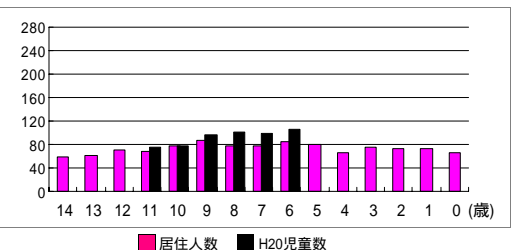
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	58	61	71	69	77	86	77	77	84	81	65	76	74	74	66
H20児童数				75	78	97	102	98	106						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	32	学校名	梅島小学校
所在地	123-0851 足立区梅田7-35-1		
交通	梅島駅(東武線)下車徒歩1分		
開校年月日	明治22年10月26日	敷地面積	10,366 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	平成12年	延床面積	7,934 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)		

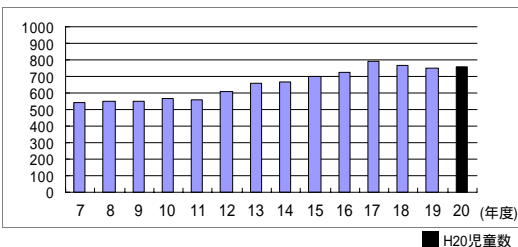
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	543	552	551	566	562	609	656	670	704	729	793	765	747	757
学級	18	18	18	18	18	19	20	20	20	21	23	23	22	22

これまでの学校規模の推移について

常に18学級から23学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

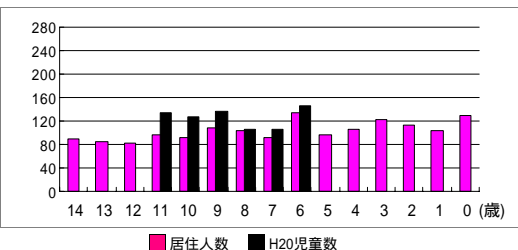
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	90	85	82	96	91	109	103	92	134	96	105	123	114	104	129
H20児童数				135	126	136	107	107	146						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。大規模化の傾向があるため、学校選択制度の受入れ可能人数を調整することにより適正規模である24学級以下を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 33 学校名 梅島第一小学校

所在地 121-0816 足立区梅島3-37-4

交通 西新井駅(東武線)下車徒歩6分

開校年月日 昭和8年4月11日 敷地面積 6,919 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和40年 延床面積 5,583 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟および体育館・0.60以上(H2補強済)

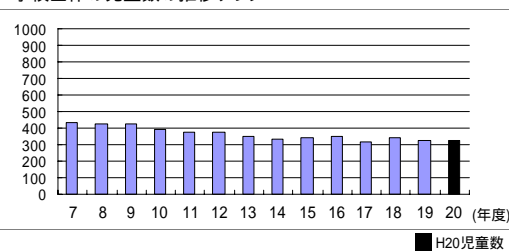
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	434	426	422	391	379	371	346	331	341	349	319	343	326	323
学級	14	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から14学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

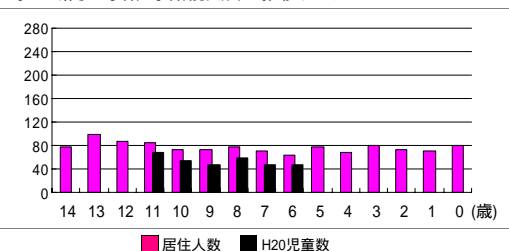
居住人数 77 98 86 85 74 72 78 71 63 77 69 81 72 71 79

H20児童数 68 55 46 59 48 47

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 34 学校名 梅島第二小学校

所在地 123-0851 足立区梅田3-27-4

交通 梅島駅(東武線)下車徒歩13分

開校年月日 昭和19年6月1日 敷地面積 8,198 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい

建築年 昭和42年 延床面積 5,397 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.61(H11、12補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)

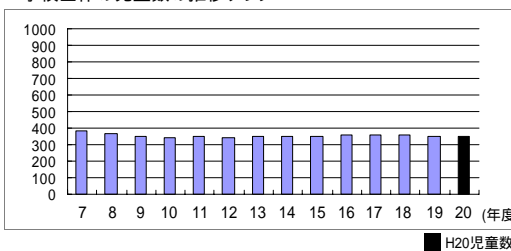
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	380	365	347	340	346	342	346	349	349	362	358	362	348	347
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

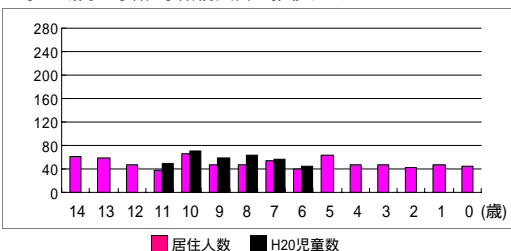
居住人数 62 59 46 38 65 47 47 55 39 63 48 48 42 47 44

H20児童数 50 71 60 64 57 45

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の0歳から4歳が40人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

学校選択の状況によっては単学級の可能性があり、今後の状況によっては改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	35	学校名	島根小学校
所在地	121-0815 足立区島根3-28-11		
交通	西新井駅(東武線)下車徒歩5分		

開校年月日	昭和36年10月1日	敷地面積	9,240 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	平成14年	延床面積	7,732 m <sup>2</sup>	学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)				

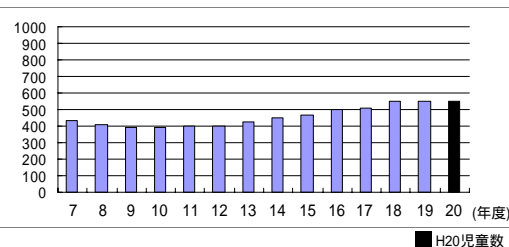
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	436	409	388	388	399	396	424	454	470	499	512	551	547	552
学級	14	13	12	12	12	12	13	14	14	15	16	17	17	17

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から17学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



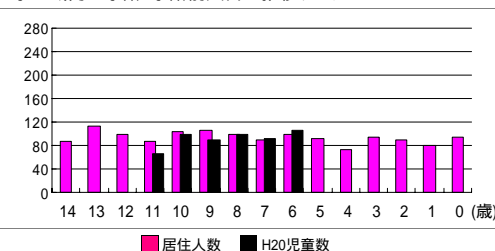
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年 5年 4年 3年 2年 1年														
居住人数	86	112	98	87	103	105	98	89	99	91	73	94	89	79	95
H20児童数	65 99 90 100 91 107														

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	36	学校名	中島根小学校
所在地	121-0815 足立区島根2-9-22		
交通	梅島駅(東武線)下車徒歩18分 西新井駅(東武線)下車徒歩18分		

開校年月日	昭和49年4月1日	敷地面積	11,522 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和49年	延床面積	4,935 m <sup>2</sup>	学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.74~0.77(H16補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)				

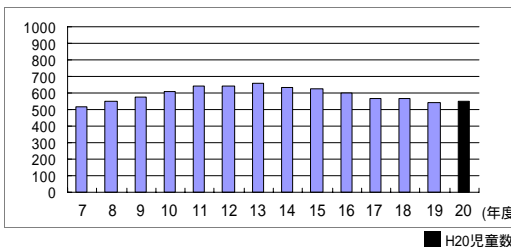
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	513	554	577	612	638	643	662	631	627	603	566	565	541	553
学級	17	18	18	19	19	19	19	18	18	17	17	17	17	18

これまでの学校規模の推移について

常に17学級から19学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



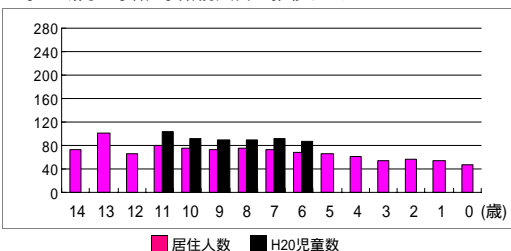
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年 5年 4年 3年 2年 1年														
居住人数	74	101	66	80	76	72	76	72	68	67	61	55	57	53	47
H20児童数	103 92 90 89 91 88														

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、やや減少が見込まれ、平成20年度現在の0歳が47人で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増減によっては、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	37	学校名	亀田小学校
所在地	123-0843 足立区西新井栄町1-1-1		
交通	西新井駅(東武線)下車徒歩8分		

開校年月日	昭和31年4月1日	敷地面積	11,744 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和40年	延床面積	5,373 m <sup>2</sup>	学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.60以上(H8補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)				

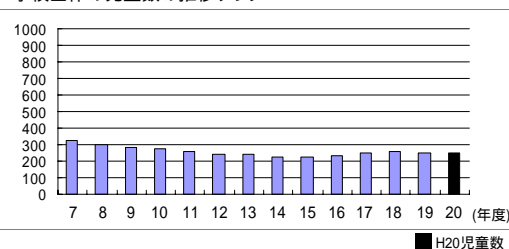
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	323	303	287	271	262	243	238	225	228	236	249	255	252	251
学級	12	12	11	11	11	10	10	10	9	9	10	10	9	8

これまでの学校規模の推移について

平成9年度には11学級以下の小規模となり、平成20年度現在では、1学年1学級の学年が4学年あります。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

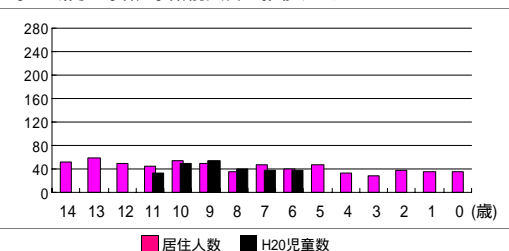
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	52	58	50	44	55	50	36	47	39	46	33	29	37	36	35
H20児童数				34	49	54	39	38	37						

今後の児童数の推移について

現時点で児童数の増加は見込まれませんが、学区内で700世帯を超える集合住宅が建設されており、その影響により児童数が増加する可能性があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

集合住宅の建設により児童数の増加が見込まれます。隣接の学区でも大規模な住宅開発により児童数が大きく増加しています。しかし、児童数の急激な増加は一時的である可能性が高いため、児童数の推移を見ながらも、地域を一体的に考えた長期的な改善策が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	38	学校名	栗原小学校
所在地	123-0843 足立区西新井栄町2-10-18		
交通	西新井駅(東武線)下車徒歩2分		

開校年月日	昭和17年7月1日	敷地面積	6,105 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和42年	延床面積	4,542 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.72~0.79(H18補強済) 体育館・0.89(H18補強済)				

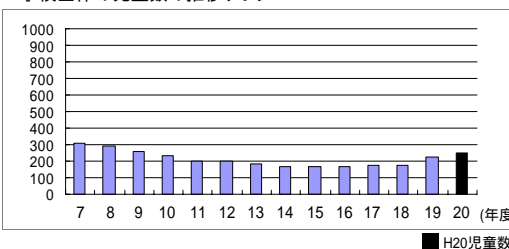
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	306	289	258	235	204	202	184	167	168	167	172	175	225	250
学級	12	12	10	9	8	8	7	6	6	6	6	6	8	9

これまでの学校規模の推移について

平成9年度には11学級以下の小規模校となり、平成20年度現在も全学年で9学級で1学年1学級の学年が3学年ありますが、児童数が減少から増加に転じています。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

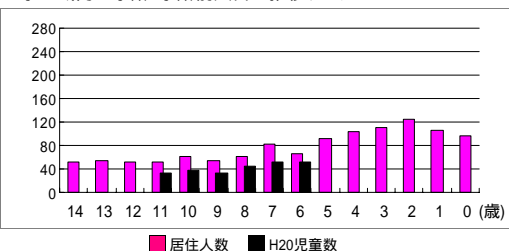
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	52	53	51	51	61	53	61	82	67	91	103	111	124	107	97
H20児童数				32	38	33	45	51	51						

今後の児童数の推移について

西新井駅西口駅前の大規模な集合住宅開発で、今後の児童数が大幅に増加する見込みです。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

児童数の大幅な増加により、現在の学校規模では許容できない可能性があります。児童数の増加は一時的なものである可能性が高いため、学齢前人口の変動を見ながらも、地域を一体的に考えた長期的な改善策が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 39 学校名 栗原北小学校

所在地 123-0842 足立区栗原4-25-9

交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩12分

開校年月日 昭和52年4月1日 敷地面積 9,426 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和52年 延床面積 5,820 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.73～0.79(H20補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)

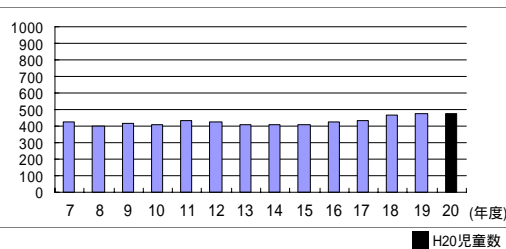
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	424	396	417	407	437	423	412	410	409	428	436	464	478	475
学級	13	12	13	12	13	13	12	12	12	12	12	13	15	15

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から15学級を維持しており、適正な学校規模といえます。  
平成20年度現在、すべての学年で学区域内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

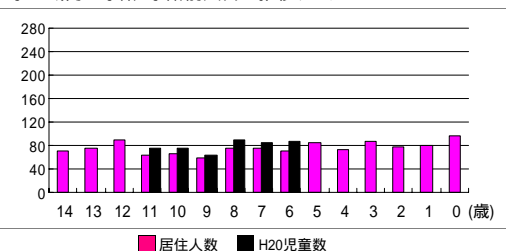
居住人数 70 76 89 64 65 58 76 75 71 84 72 86 77 81 97

H20児童数 75 76 64 89 85 86

今後の児童数の推移について

学区域内に住む児童数は、やや増加することが見込まれます。  
大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 40 学校名 栗島小学校

所在地 121-0012 足立区青井6-13-10

交通 五反野駅(東武線)下車徒歩18分  
梅島駅(東武線)下車徒歩18分

開校年月日 昭和29年4月1日 敷地面積 9,405 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和42年 延床面積 5,330 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.71～0.74(H14補強済) 体育館・0.71(H14補強済)

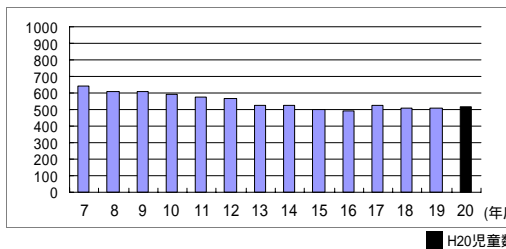
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	641	610	609	589	572	563	528	527	499	492	522	508	507	513
学級	18	19	19	18	18	18	17	17	16	15	16	15	16	16

これまでの学校規模の推移について

常に15学級から19学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

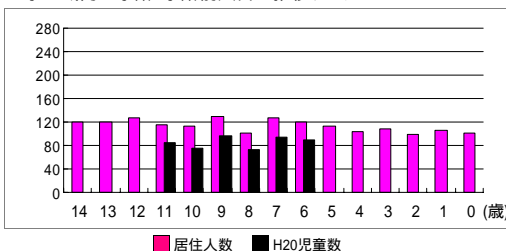
居住人数 120 119 128 116 113 129 101 126 120 113 104 109 98 106 101

H20児童数 84 76 96 72 95 90

今後の児童数の推移について

学区域内に住む児童数は、やや減少することが見込まれますが、すべての年代で3学級規模の人数が居住しています。  
大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。



## 1 学校基礎データ

行政番号	41	学校名	加平小学校
所在地	121-0074 足立区西加平1-8-6		
交通	六町駅(TX)下車徒歩6分 五反野駅(東武線)から東武バス加平小学校下車徒歩1分		
開校年月日	昭和40年4月1日	敷地面積	11,387 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和38年	延床面積	6,252 m <sup>2</sup>
		学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.30～0.38(H21補強工事予定) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		

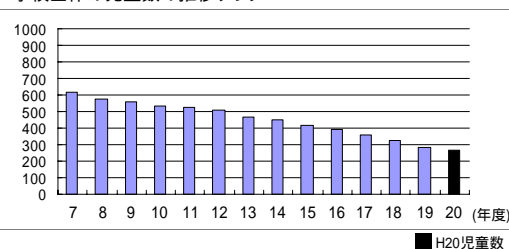
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	620	579	559	536	524	505	467	450	413	391	358	322	281	268
学級	18	18	17	17	16	15	14	14	13	13	13	11	10	11

これまでの学校規模の推移について

児童数の減少が見られます。平成18年度には11学級以下の小規模校となり、平成20年度現在では1学年1学級の学年が1学年あります。学区内には複数学級規模の児童が住んでいるため、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

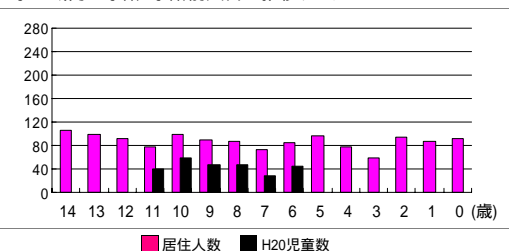
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	106	98	91	78	99	89	86	72	84	96	78	58	95	87	91
H20児童数				41	59	48	47	29	44						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成25年以降に、六町土地区画整理事業区域内で新校舎を建設し移転する予定です。移転にあわせて児童数が増加する可能性もあるため、今後、児童数の推移を見ながら改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	42	学校名	東栗原小学校
所在地	121-0075 足立区一ツ家3-20-1		
交通	綾瀬駅(千代田線)から東武バス青井六丁目下車徒歩5分 竹ノ塚駅(東武線)から東武バス都営住宅下車徒歩5分		
開校年月日	昭和45年4月1日	敷地面積	10,963 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和45年	延床面積	5,723 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.72～0.73(H15補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		

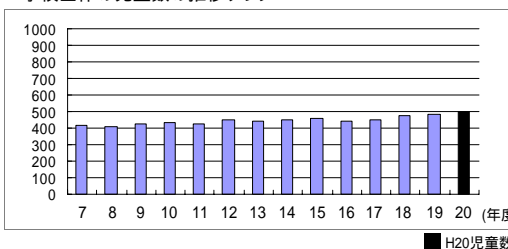
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	413	409	426	436	425	448	438	448	455	444	454	472	480	499
学級	12	12	13	13	13	13	13	13	14	13	14	15	15	15

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から15学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

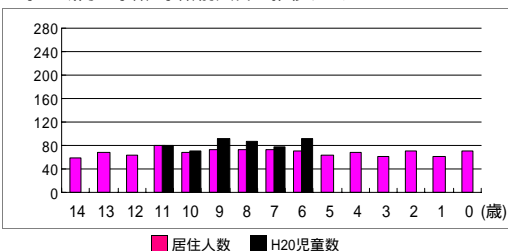
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	58	69	64	80	68	74	74	74	71	64	69	62	71	62	71
H20児童数				80	71	91	87	78	92						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 43 学校名 平野小学校

所在地 121-0076 足立区平野3-6-3

交通 北千住駅(東武線等)または竹ノ塚駅(東武線)から都営バス島根町下車徒歩7分

開校年月日 昭和52年4月1日 敷地面積 8,384 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい

建築年 昭和52年 延床面積 6,068 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟および体育館・0.76(H19補強済)

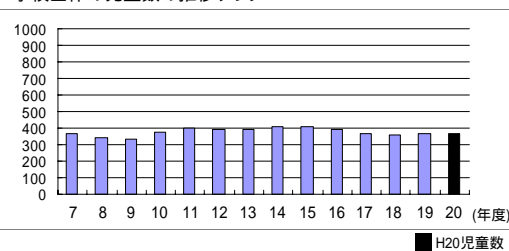
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	368	342	333	373	402	395	393	410	406	391	366	360	369	369
学級	12	12	12	12	13	13	12	12	12	12	12	12	12	13

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から13学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

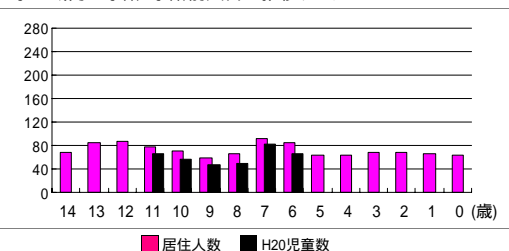
居住人数 68 85 87 77 71 59 67 91 84 64 63 69 68 65 64

H20児童数 66 57 47 50 83 66

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 44 学校名 弥生小学校

所在地 120-0011 足立区中央本町2-5-1

交通 五反野駅(東武線)下車徒歩7分

開校年月日 昭和28年4月1日 敷地面積 9,329 m<sup>2</sup> 特別支援学級 難聴・言語障がい

建築年 昭和41年 延床面積 6,635 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟・0.60以上(H2補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)

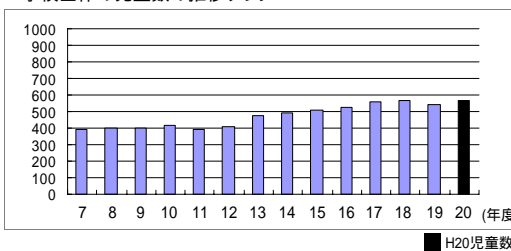
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	392	399	397	417	394	407	477	489	505	527	558	567	541	567
学級	12	12	12	13	12	12	15	15	17	17	18	18	17	18

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

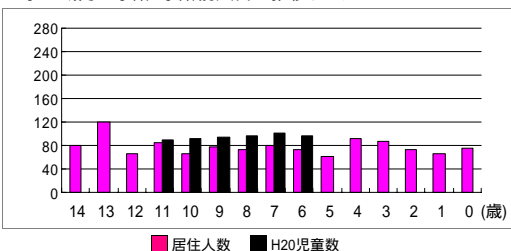
居住人数 79 120 65 84 67 78 74 81 72 62 91 86 72 65 76

H20児童数 89 92 93 96 101 96

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 45 学校名 五反野小学校

所在地 120-0015 足立区足立3-11-5

交通 五反野駅(東武線)下車徒歩3分

開校年月日 昭和27年9月1日 敷地面積 8,693 m<sup>2</sup> 特別支援学級 弱視

建築年 昭和45年 延床面積 4,927 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.60以上(H1補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)

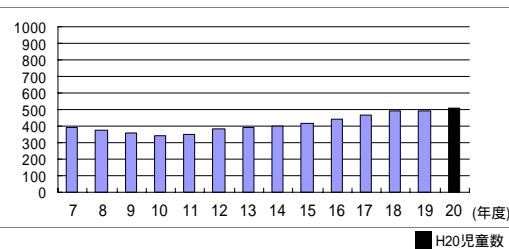
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	394	377	358	342	351	380	395	397	416	443	470	491	493	512
学級	12	12	12	12	12	12	13	13	13	14	15	16	16	16

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から16学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

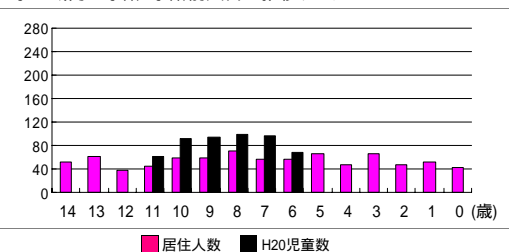
居住人数 52 61 38 44 60 60 70 57 56 65 46 67 46 51 43

H20児童数 62 92 95 98 96 69

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、ほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の4歳と2歳が46人、0歳が43人で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増減によっては、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 46 学校名 弘道小学校

所在地 120-0014 足立区西綾瀬4-7-27

交通 綾瀬駅(千代田線)下車徒歩10分  
五反野駅(東武線)下車徒歩12分

開校年月日 明治11年5月28日 敷地面積 10,680 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和42年 延床面積 5,709 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟・0.60以上(S62補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)

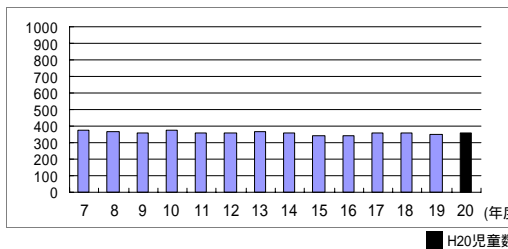
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	375	363	359	373	362	361	370	357	344	339	359	360	349	357
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

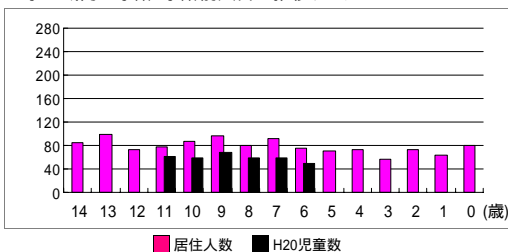
居住人数 84 100 73 78 86 96 81 92 76 70 74 57 74 63 79

H20児童数 62 59 68 59 59 50

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、やや減少が見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 47 学校名 弘道第一小学校

所在地 120-0013 足立区弘道1-20-8

交通 五反野駅(東武線)下車徒歩8分

開校年月日 昭和40年9月1日 敷地面積 10,918 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和40年 延床面積 5,975 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟・0.76～0.86(H18補強済) 体育館・0.77(H18補強済)

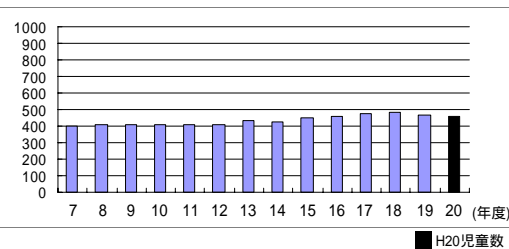
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	396	405	407	407	409	409	431	429	449	457	471	480	469	457
学級	12	12	12	12	12	12	13	13	14	14	15	15	15	15

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から15学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区域内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

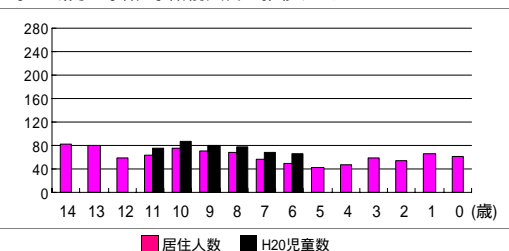
居住人数 82 81 58 64 76 71 68 57 49 42 47 60 55 67 62

H20児童数 76 86 81 78 69 67

今後の児童数の推移について

学区域内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれ、平成20年度現在の5歳が42人、4歳が47人で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後もおおむね適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増減によっては、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 48 学校名 青井小学校

所在地 120-0012 足立区青井3-12-2

交通 青井駅(TX)下車徒歩2分  
五反野駅(東武線)下車徒歩16分

開校年月日 昭和48年4月2日 敷地面積 9,114 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい

建築年 昭和48年 延床面積 4,660 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.71～0.73(H19補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)

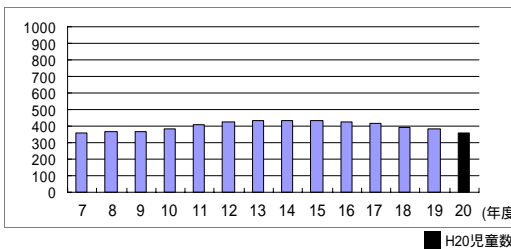
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	362	363	367	386	406	426	434	431	432	425	418	394	383	361
学級	12	12	12	12	12	14	13	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から14学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区域内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

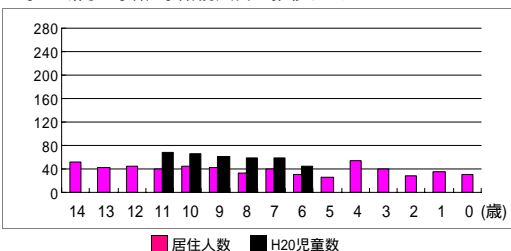
居住人数 51 43 45 41 44 43 33 39 30 27 55 41 28 35 31

H20児童数 69 67 61 60 60 44

今後の児童数の推移について

学区域内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の0歳から5歳の年代のうち4世代が単学級規模であり、少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

常に適正規模を保っていますが、学齢前人口の人数と学校選択制度の状況を見ながら、改善策が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	49	学校名	綾瀬小学校
所在地	120-0005 足立区綾瀬3-12-15		
交通	綾瀬駅(千代田線)下車徒歩3分		

開校年月日	昭和37年4月1日	敷地面積	11,396 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和38年	延床面積	6,556 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71～0.77(H15補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)				

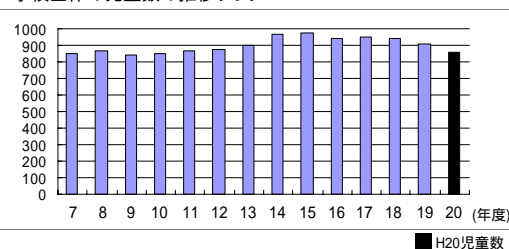
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	850	870	838	847	870	872	903	967	972	943	949	941	908	859
学級	24	25	24	25	25	26	27	27	27	27	27	25	25	24

これまでの学校規模の推移について

常に24学級から27学級であり、足立区で最も大きな小学校となっています。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



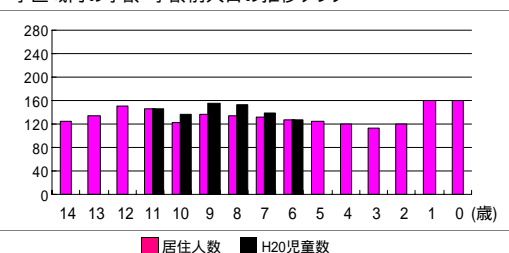
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年 5年 4年 3年 2年 1年														
居住人数	124	134	150	147	122	137	135	132	126	125	119	112	120	160	159
H20児童数	145 137 156 154 140 127														

今後の児童数の推移について

全体として、学区内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれますが、一時減少し、その後増加する傾向が見られます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。大規模化の傾向があるため、学校選択制度の受入れ可能人数を調整することにより適正規模である24学級以下を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	50	学校名	東綾瀬小学校
所在地	120-0004 足立区東綾瀬2-15-15		
交通	綾瀬駅(千代田線)下車徒歩13分		

開校年月日	昭和51年4月1日	敷地面積	7,073 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和51年	延床面積	4,881 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.74～0.86(H14補強済) 体育館・0.86(H14補強済)				

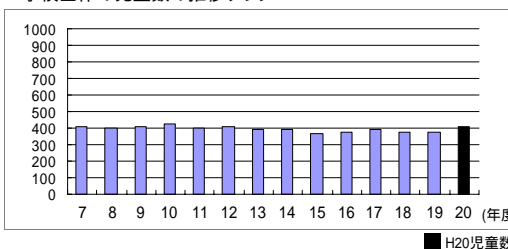
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	405	397	410	423	400	411	392	395	369	375	388	377	379	407
学級	12	12	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から13学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



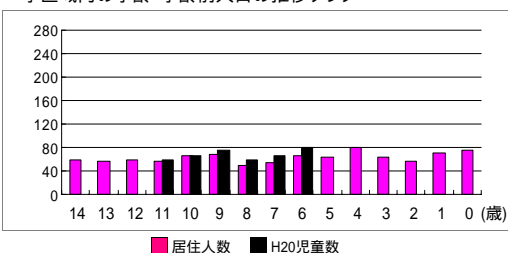
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年 5年 4年 3年 2年 1年														
居住人数	58	56	59	56	65	68	50	55	67	64	80	63	56	71	76
H20児童数	60 66 76 58 67 80														

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 51 学校名 東加平小学校

所在地 121-0055 足立区加平1-12-12

交通 北綾瀬駅(千代田線)下車徒歩5分  
綾瀬駅(千代田線)から東武バス加平橋下車徒歩3分

開校年月日 昭和44年4月1日 敷地面積 10,110 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和44年 延床面積 5,593 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.60以上(H8補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)

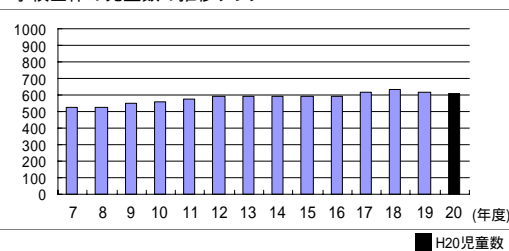
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	524	523	547	560	575	592	594	594	592	595	615	631	620	612
学級	16	16	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

これまでの学校規模の推移について

常に16学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

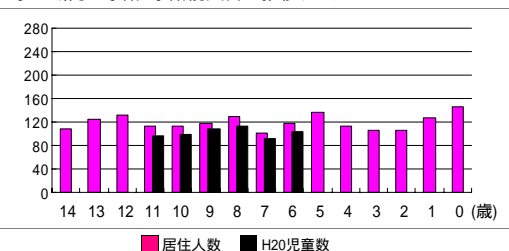
居住人数 109 124 131 114 113 118 130 101 118 136 113 107 106 127 146

H20児童数 96 100 108 113 91 104

今後の児童数の推移について

全体として、学区内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれますが、一時減少し、その後増加する傾向が見られます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 52 学校名 東洲江小学校

所在地 123-0003 足立区東和3-20-11

交通 亀有駅(JR)から東武バス東和五丁目下車徒歩1分

開校年月日 明治44年8月1日 敷地面積 9,134 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい

建築年 昭和38年 延床面積 6,667 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟・0.71~0.74(H20補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)

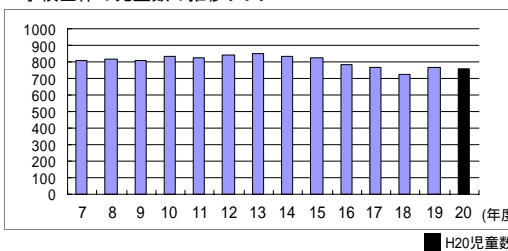
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	808	820	805	836	827	839	847	835	828	781	765	726	767	757
学級	23	24	24	24	24	24	24	24	23	22	23	22	22	22

これまでの学校規模の推移について

常に22学級から24学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

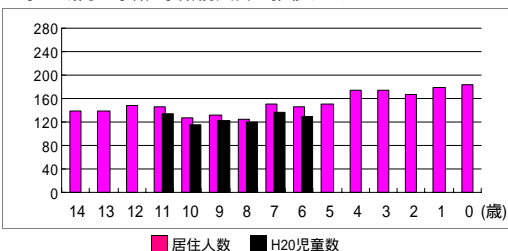
居住人数 140 140 149 147 127 131 124 151 145 151 174 175 168 179 184

H20児童数 134 115 123 120 136 129

今後の児童数の推移について

大規模な集合住宅の建設により、学区内に住む児童数は増加しています。その他の大規模な集合住宅の建設は見込まれていないため、児童数は適正な規模に転じると思われます。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

児童数の増加が見込まれるため、学齢前人口の変動を見ながら、対策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	53	学校名	中川小学校
所在地	120-0001 足立区大谷田3-17-20		
交通	亀有駅(JR)から東武バス中川小学校前下車徒歩1分		

開校年月日	昭和37年4月1日	敷地面積	12,861 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和37年	延床面積	4,778 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	平成22年改修終了予定				

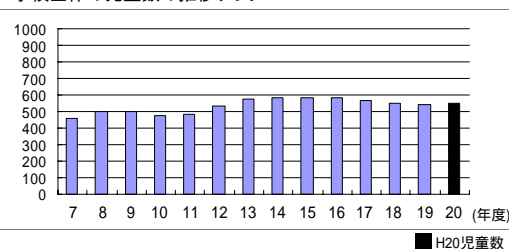
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	462	498	496	476	485	535	572	587	580	583	563	548	538	546
学級	14	15	16	16	15	16	17	18	18	18	17	18	17	17

これまでの学校規模の推移について

常に14学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

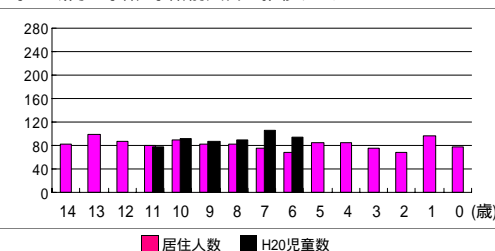
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	82	98	88	79	90	83	83	75	68	84	84	75	68	96	78
H20児童数				77	91	87	89	107	95						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	54	学校名	中川北小学校
所在地	121-0052 足立区六木1-6-10		
交通	亀有駅(JR)・綾瀬駅(千代田線)から東武バス六ツ木団地下車徒歩1分		

開校年月日	昭和47年4月1日	敷地面積	11,445 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和47年	延床面積	6,376 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71(H14補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)				

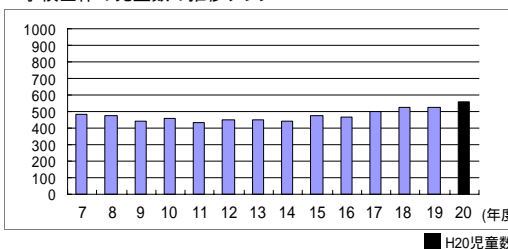
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	483	473	442	455	433	453	446	443	479	465	504	523	528	560
学級	14	14	12	13	13	14	15	15	16	14	16	16	16	17

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から17学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

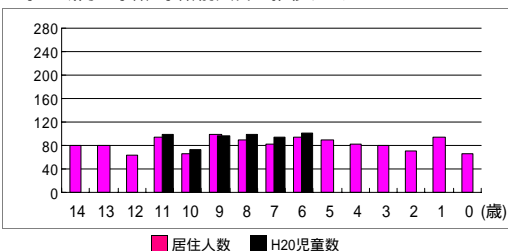
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	81	80	64	93	66	99	89	83	94	90	82	80	71	95	66
H20児童数				99	72	96	99	93	101						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	55	学校名	辰沼小学校
所在地	120-0006 足立区谷中5-12-1		
交通	北綾瀬駅(千代田線)下車徒歩15分		

開校年月日	昭和53年4月1日	敷地面積	14,807 m <sup>2</sup>	特別支援学級	情緒障がい
建築年	昭和53年	延床面積	6,093 m <sup>2</sup>	学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.73～0.89(H17補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)				

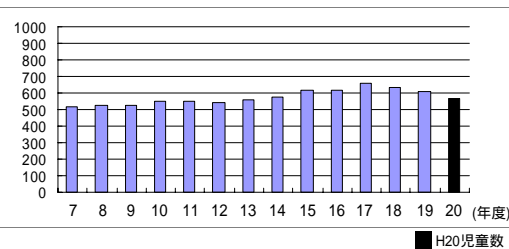
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	517	527	526	547	554	541	558	579	614	620	657	630	606	563
学級	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	18	17	18	17

これまでの学校規模の推移について

常に17学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



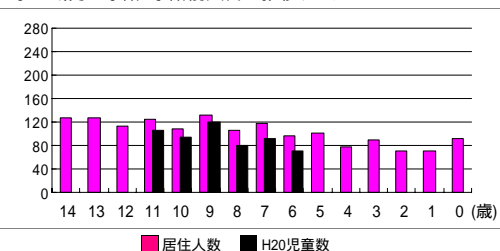
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年					5年	4年	3年	2年	1年					
居住人数	126	126	114	124	108	132	107	117	97	102	78	89	70	71	91
H20児童数	107		95	119	81	91	70								

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は減少が見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

児童数が大きく減少する可能性があります。2学級以上を確保できる人数が居住しているため、今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	56	学校名	中川東小学校
所在地	120-0001 足立区大谷田2-1-10		
交通	亀有駅(JR)から東武バス中川小学校前下車徒歩2分		

開校年月日	昭和55年4月1日	敷地面積	13,787 m <sup>2</sup>	特別支援学級	難聴・言語障がい
建築年	昭和55年	延床面積	7,669 m <sup>2</sup>	学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.72～0.74(H15補強済) 体育館・0.74(H15補強済)				

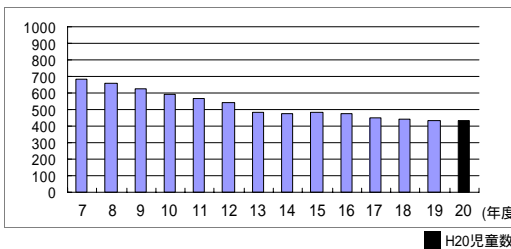
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	686	655	626	595	563	538	484	477	484	473	451	444	436	434
学級	18	18	18	18	18	18	15	15	15	14	14	13	13	13

これまでの学校規模の推移について

常に13学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



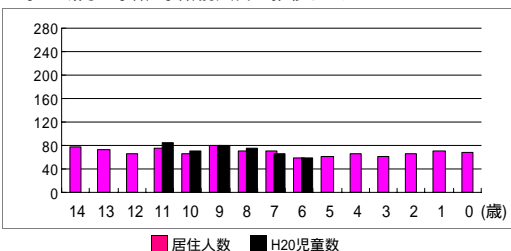
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	6年					5年	4年	3年	2年	1年					
居住人数	77	72	66	75	66	79	70	71	60	61	67	61	65	71	68
H20児童数	85		70	79	75	66	59								

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。



## 1 学校基礎データ

行政番号	57	学校名	北三谷小学校
所在地	120-0003 足立区東和1-17-12		
交通	亀有駅(JR)下車徒歩15分 綾瀬駅(千代田線)下車徒歩20分		
開校年月日	昭和30年2月1日	敷地面積	7,916 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和43年	延床面積	5,782 m <sup>2</sup>
		学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.71～0.78(H19補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)		

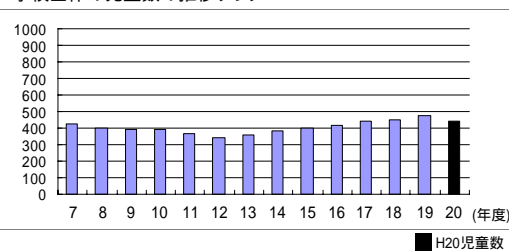
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	424	403	394	388	368	341	357	383	400	413	445	451	473	444
学級	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13	14	14	15	14

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から15学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



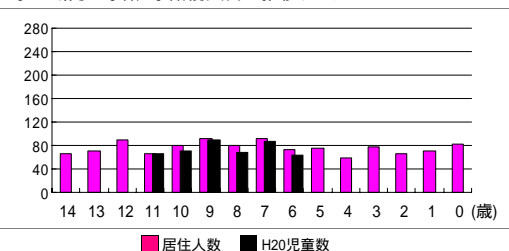
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	67	71	90	67	79	92	81	91	72	75	58	78	66	70	83
H20児童数				65	70	89	69	88	63						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	58	学校名	大谷田小学校
所在地	120-0002 足立区中川4-41-27		
交通	亀有駅(JR)下車徒歩8分		
開校年月日	昭和25年5月1日	敷地面積	10,599 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和41年	延床面積	4,726 m <sup>2</sup>
		学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.74(H19補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)		

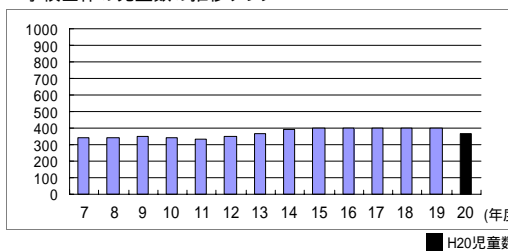
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	342	344	348	338	336	351	368	390	396	398	400	402	396	370
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11

これまでの学校規模の推移について

12学級を維持していましたが、平成20年度は11学級の小規模となっています。

学校全体の児童数の推移グラフ



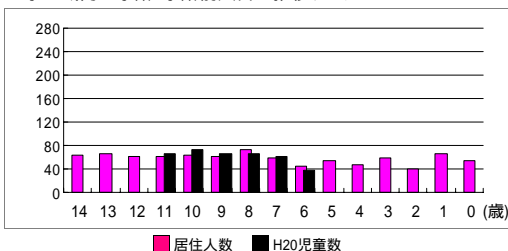
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年						6年	5年	4年	3年	2年	1年				
居住人数	64	65	62	62	63	61	73	58	44	53	48	60	40	65	55
H20児童数				65	72	66	67	62	38						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれ、平成20年度現在の4歳が48人、2歳が40人で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

おおむね適正規模を保っていますが、児童数が少ない年代があります。今後の児童数をみながらも、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	59	学校名	長門小学校
所在地	120-0002 足立区中川1-19-32		
交通	亀有駅(JR)下車徒歩10分		

開校年月日	昭和39年4月1日	敷地面積	9,329 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和40年	延床面積	4,315 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.72～0.81(H9、10補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)				

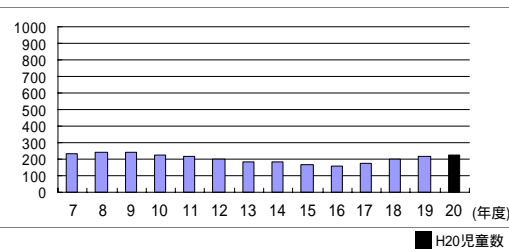
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	233	243	238	226	214	202	187	183	168	156	178	203	215	224
学級	8	10	9	8	7	7	7	6	6	6	8	9	8	8

これまでの学校規模の推移について

平成14年度から16年度まで6学級以下の過小規模となるなど、小規模傾向が見られます。人数は回復傾向ですが、平成20年度現在、1学年1学級の規模が4学年あります。

学校全体の児童数の推移グラフ



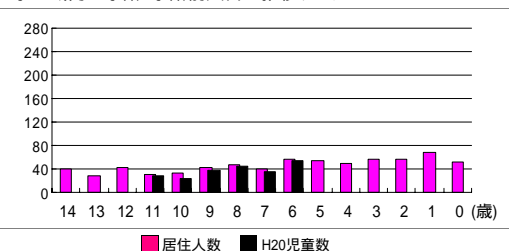
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	40	29	43	31	33	43	46	41	56	53	50	57	56	68	52
H20児童数				29	24	38	44	36	53						

今後の児童数の推移について

大規模な集合住宅の建設により、学区内に住む児童数はやや増加することが見込まれます。その他の大規模な集合住宅の建設は見込まれていないため、増加傾向は一時的である可能性があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

児童数はやや増加の傾向ですが、その後減少する可能性があります。長期的な視野で改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	60	学校名	花畑小学校
所在地	121-0062 足立区南花畑3-22-1		
交通	北千住駅(JR等)五反野駅(東武線)綾瀬駅(千代田線)から東武バス花畑車庫下車徒歩4分 綾瀬駅(千代田線)から東武バス神明町下車徒歩5分 六町駅(TX)下車徒歩15分		

開校年月日	明治33年11月28日	敷地面積	10,867 m <sup>2</sup>	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和38年	延床面積	6,043 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71～0.72(H18補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)				

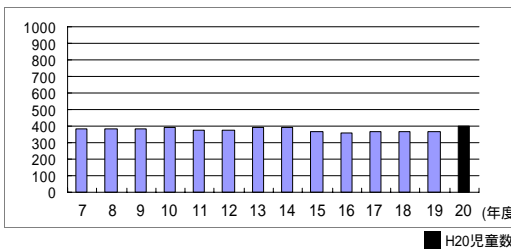
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	386	381	387	392	375	376	394	394	367	356	363	369	368	404
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から13学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



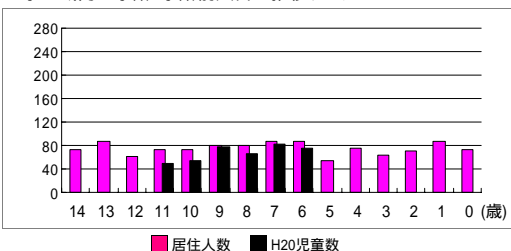
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	72	88	62	72	74	80	80	86	86	55	75	64	71	86	74
H20児童数				49	53	78	65	83	76						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 61 学校名 花畑第一小学校

所在地 121-0061 足立区花畑1-29-1

交通 竹ノ塚駅(東武線)から東武バス南花畑養護学校前下車徒歩1分

開校年月日 昭和40年4月1日 敷地面積 10,480 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和38年 延床面積 6,155 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟・0.71～0.76(H16補強済) 体育館・0.76(H16補強済)

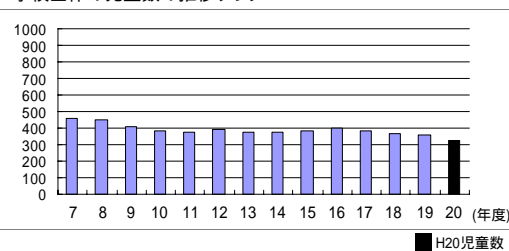
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	460	447	408	385	378	388	376	379	384	397	381	366	361	328
学級	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から13学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

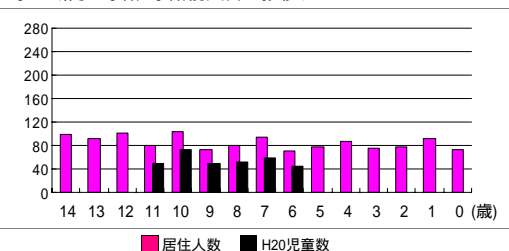
居住人数 99 91 101 81 104 73 81 93 71 78 88 75 77 92 73

H20児童数 49 73 50 51 60 45

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 62 学校名 花畑西小学校

所在地 121-0061 足立区花畑4-21-1

交通 竹ノ塚駅(東武線)から東武バス団地入口下車徒歩5分

開校年月日 昭和46年4月1日 敷地面積 10,537 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和45年 延床面積 6,412 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.70～0.78(H17補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)

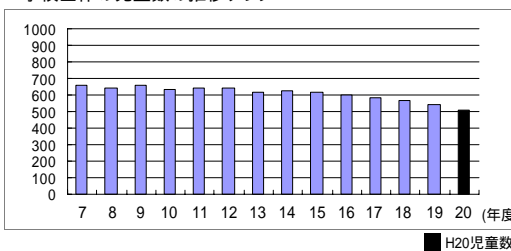
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	662	638	659	631	639	644	617	623	617	603	584	568	544	510
学級	18	19	19	18	18	18	18	18	18	18	17	17	16	15

これまでの学校規模の推移について

常に15学級から19学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

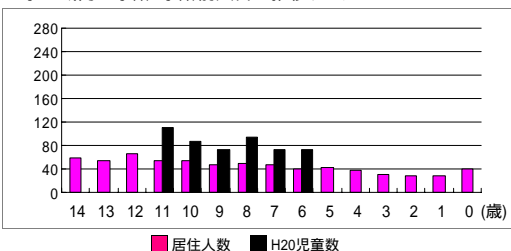
居住人数 60 54 65 54 53 46 49 46 39 43 38 31 29 28 41

H20児童数 110 87 74 93 74 72

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、やや減少が見込まれ、平成20年度現在の1歳から4歳が単学級規模、0歳と5歳が40人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

常に適正規模を維持していますが、学校選択制度の影響が見られます。今後、多くの年代で1学年1学級規模の居住人数となる見込みであり、学校選択制度の状況をみながら、必要に応じて改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	63	学校名	桜花小学校
所在地	121-0061 足立区花畑6-4-6		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス花畑団地下車徒歩5分		

開校年月日	平成9年4月1日	敷地面積	11,826 m <sup>2</sup>	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和47年	延床面積	5,936 m <sup>2</sup>	学童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.72~0.74(H18補強済) 体育館・1.33(H18補強済)				

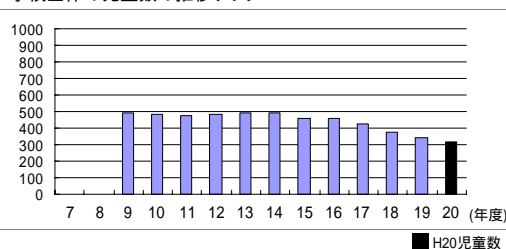
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数			489	480	474	485	490	492	460	460	426	377	345	319
学級			16	14	16	15	15	15	14	14	13	12	12	11

これまでの学校規模の推移について

平成9年に花畑東小学校と桑袋小学校を統合し開校しました。開校後12学級以上を維持していましたが、平成20年度は11学級の小規模校となっています。

学校全体の児童数の推移グラフ



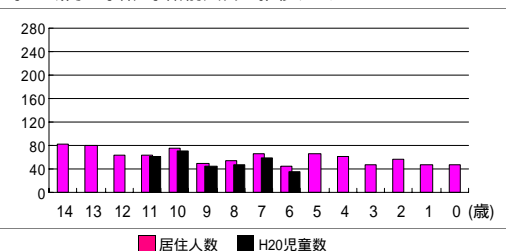
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年			6年	5年	4年	3年	2年	1年							
居住人数	82	80	64	63	75	49	54	65	44	65	62	47	56	48	47
H20児童数			62	71	45	48	58	35							

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれ、平成20年度現在の3歳が47人、1歳が48人、0歳が47人で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

おおむね適正規模を保っていますが、児童数が少ない年代があります。今後の児童数をみながらも、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	64	学校名	花保小学校
所在地	121-0062 足立区南花畑2-19-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)または綾瀬駅(千代田線)から東武バス足立区総合スポーツセンター入口下車徒歩5分		

開校年月日	昭和48年4月1日	敷地面積	9,707 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和47年	延床面積	5,639 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.75~0.86(H19補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)				

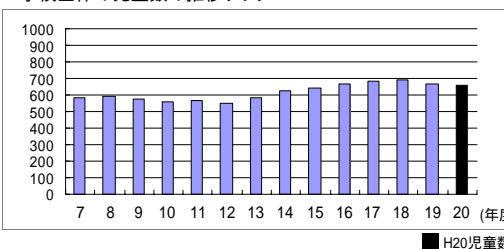
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	584	591	577	562	564	549	582	622	645	668	687	692	669	658
学級	18	18	18	18	18	18	19	20	21	21	20	20	20	19

これまでの学校規模の推移について

常に18学級から21学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



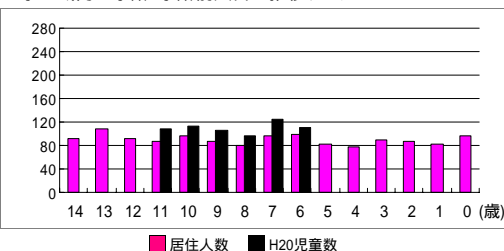
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年			6年	5年	4年	3年	2年	1年							
居住人数	91	109	92	88	97	86	80	96	98	83	77	89	87	83	96
H20児童数			108	112	106	96	125	111							

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	65	学校名	六木小学校
所在地	121-0052 足立区六木3-21-11		
交通	綾瀬駅(千代田線)または亀有駅(JR)から東武バス六木小学校前下車徒歩1分 八潮駅(TX)下車徒歩15分		
開校年月日	昭和54年4月1日	敷地面積	11,581 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和54年	延床面積	6,063 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.75～1.19(H20補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)		

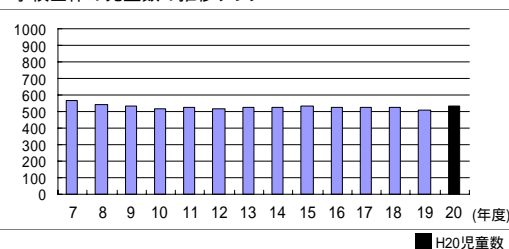
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	564	543	537	519	524	520	528	521	534	527	527	524	511	531
学級	18	17	18	17	17	17	17	16	17	17	17	17	17	17

これまでの学校規模の推移について

常に16学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

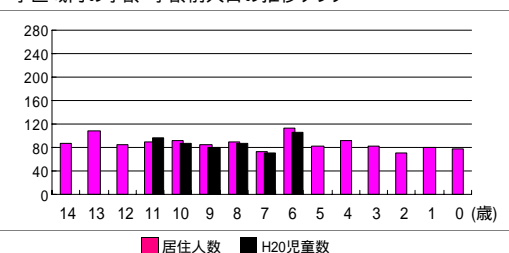
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	86	108	84	90	91	85	89	73	112	83	92	82	71	80	77
H20児童数				96	88	81	88	71	107						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	66	学校名	洲江小学校
所在地	121-0812 足立区西保木間1-10-3		
交通	竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩10分		
開校年月日	明治34年5月1日	敷地面積	9,729 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和41年	延床面積	6,351 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71～0.72(H20補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		

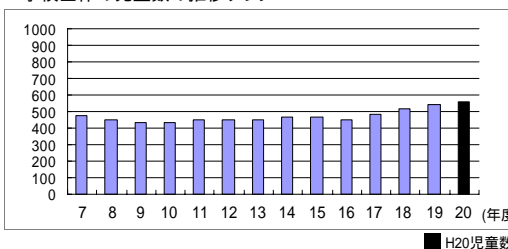
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	475	450	437	437	450	446	452	468	464	452	487	519	538	557
学級	15	14	13	13	14	13	13	14	14	14	15	17	17	17

これまでの学校規模の推移について

常に13学級から17学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



■ H20児童数

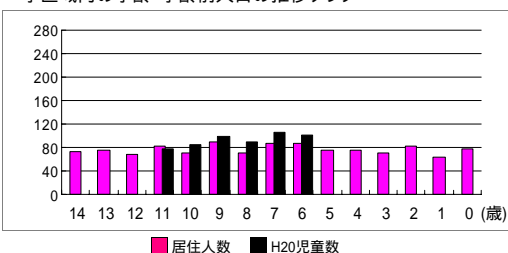
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年					6年	5年	4年	3年	2年	1年					
居住人数	72	76	68	82	71	89	70	87	88	75	76	71	82	64	78
H20児童数					77	84	100	90	105	101					

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	67	学校名	洲江第一小学校
所在地	121-0064 足立区保木間3-27-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)または綾瀬駅(千代田線)から東武バス保木間四丁目下車徒歩3分		

開校年月日	昭和42年4月1日	敷地面積	12,989 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和42年	延床面積	6,197 m <sup>2</sup>	児童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.77～0.78(H11補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)				

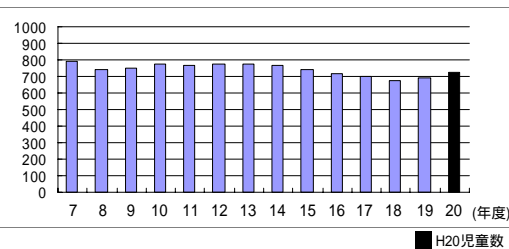
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	790	741	749	779	766	777	774	765	745	713	702	678	692	721
学級	22	21	21	23	22	23	22	22	22	20	21	20	20	21

これまでの学校規模の推移について

常に20学級から23学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



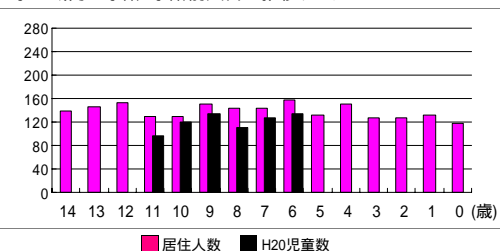
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	140	146	152	129	130	151	143	144	158	132	150	126	128	132	117
H20児童数				96	120	134	110	127	134						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、やや減少が見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	68	学校名	西保木間小学校
所在地	121-0812 足立区西保木間4-2-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分		

開校年月日	平成9年4月1日	敷地面積	9,945 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和44年	延床面積	5,569 m <sup>2</sup>	児童保育室	あり
耐震IS値	校舎棟・0.74～0.77(H17補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)				

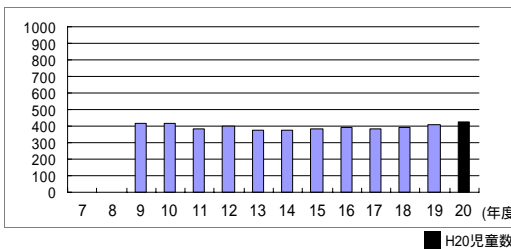
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数			419	413	386	402	375	375	385	389	387	389	411	422
学級			13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13

これまでの学校規模の推移について

平成9年に洲江第二小学校と竹ノ塚北小学校を統合し開校しました。開校後は常に12学級から13学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



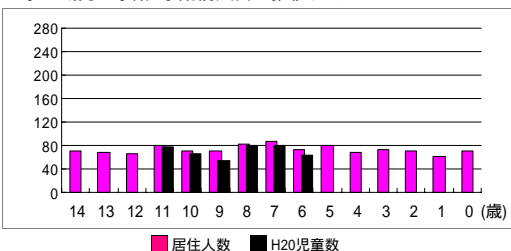
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	70	68	65	80	71	70	82	87	72	79	68	72	70	62	71
H20児童数				78	67	54	79	81	63						

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 69 学校名 保木間小学校

所在地 121-0813 足立区竹の塚3-6-3

交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩13分

開校年月日 昭和34年9月1日 敷地面積 13,277 m<sup>2</sup> 特別支援学級 情緒障がい

建築年 昭和48年 延床面積 6,277 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.71~0.80(H15補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)

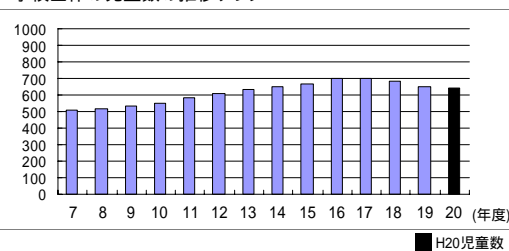
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	511	518	531	549	587	610	634	649	670	701	696	684	647	639
学級	17	16	17	18	18	18	19	19	19	21	20	19	18	18

これまでの学校規模の推移について

常に16学級から21学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

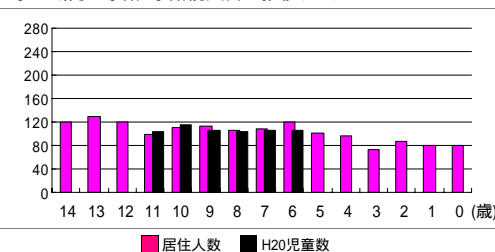
居住人数 121 129 120 100 110 114 107 108 120 102 97 73 87 79 79

H20児童数 103 115 106 104 105 106

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は減少が見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

児童数が減少する可能性があります。2学級以上を確保できる人数が居住しているため、今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 70 学校名 竹の塚小学校

所在地 121-0813 足立区竹の塚1-8-1

交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩7分

開校年月日 昭和43年4月1日 敷地面積 11,593 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和43年 延床面積 6,221 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

耐震IS値 校舎棟・0.60以上(S63補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)

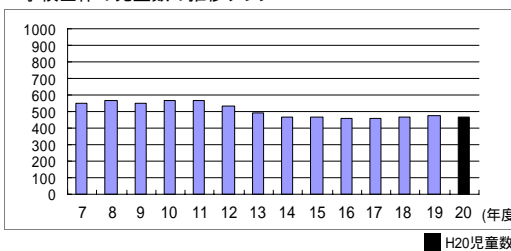
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	552	564	546	570	563	533	489	465	463	462	455	470	475	469
学級	17	17	17	18	18	17	16	15	14	14	14	14	15	14

これまでの学校規模の推移について

常に14学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。すべての学年で学区内に住む児童数を上回る人数となっており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

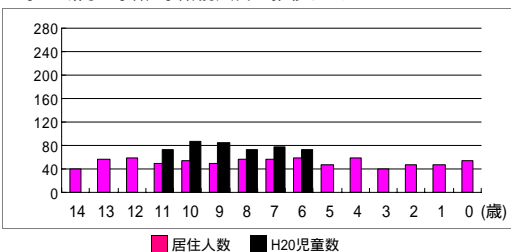
居住人数 41 56 58 50 54 49 57 57 58 46 59 39 46 48 53

H20児童数 72 87 84 74 78 74

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれ、平成20年度現在の3歳が単学級規模、1歳が48人、2歳と5歳が46人で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

児童数の少ない年代が見られるため、学校選択制度の影響により小規模化する可能性があります。今後の児童数をみながら、必要に応じて改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 71 学校名 伊興小学校

所在地 121-0823 足立区伊興4-16-1

交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分  
舎人公園駅(日舎ライナー)下車徒歩15分

開校年月日 明治9年10月16日 敷地面積 10,890 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和39年 延床面積 5,989 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.75(H9、10補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)

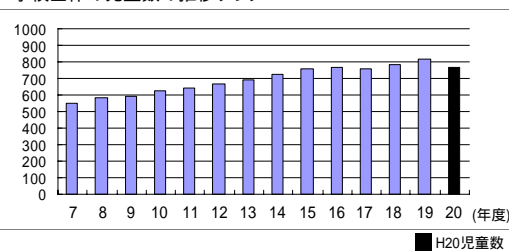
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	554	585	592	622	641	664	690	723	758	763	759	786	820	763
学級	18	18	18	18	18	19	20	21	22	22	21	22	23	21

これまでの学校規模の推移について

常に18学級から23学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

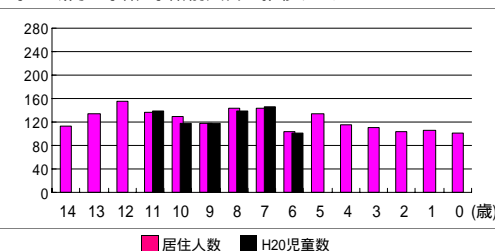
居住人数 113 135 156 136 129 118 143 143 104 133 115 111 103 107 102

H20児童数 139 118 118 140 146 102

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、やや減少が見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 72 学校名 東伊興小学校

所在地 121-0801 足立区東伊興1-4-15

交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分または東武バス聖一の橋下車徒歩2分

開校年月日 昭和46年4月1日 敷地面積 10,350 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和46年 延床面積 5,877 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.73~0.92(H20補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)

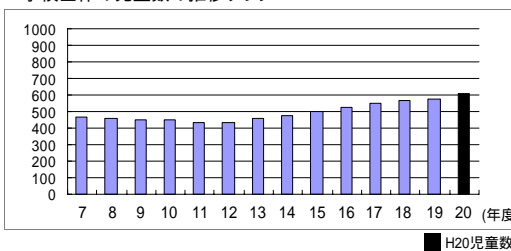
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	469	455	451	449	432	434	462	471	498	524	548	568	574	605
学級	15	15	14	14	13	13	14	14	16	17	16	17	18	18

これまでの学校規模の推移について

常に13学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の児童数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 6年 5年 4年 3年 2年 1年

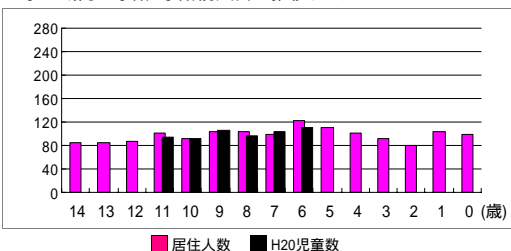
居住人数 85 85 86 101 92 103 104 99 123 110 102 92 80 104 98

H20児童数 95 92 106 97 104 111

今後の児童数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。



## 1 学校基礎データ

行政番号 01 学校名 第一中学校

所在地 120-0037 足立区千住河原町4-7

交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩15分  
千住大橋駅(京成線)下車徒歩2分

開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 9,270 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい

建築年 平成17年 延床面積 7,853 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)

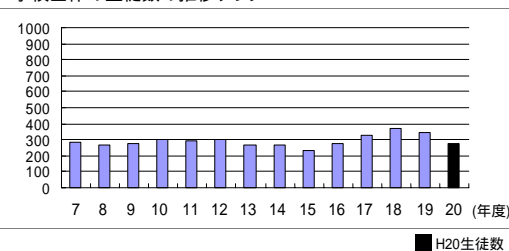
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	281	270	276	299	297	299	266	264	231	276	331	367	343	280
学級	9	9	9	9	9	9	8	8	7	9	10	11	10	8

これまでの学校規模の推移について

学校全体で11学級以下の小規模が続いています。  
学区内に住む生徒数は、各学年とも5学級規模の人数のため、学校選択制度などの影響が見られます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

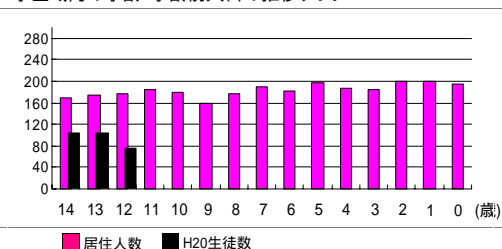
居住人数 170 174 176 184 179 160 176 191 181 198 186 184 200 200 194

H20生徒数 103 102 75

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、やや増加することが見込まれます。  
千住大橋駅周辺地区の集合住宅開発により、将来的に生徒数が増加する可能性があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

千住地域の小中学校は、平成17年までに統廃合を順次進めてきました。  
大幅な生徒数の増減がない限り、現状の学校数および学区を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 02 学校名 千寿桜堤中学校

所在地 120-0022 足立区柳原2-49-1

交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩10分

開校年月日 平成17年4月1日 敷地面積 7,756 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 平成17年 延床面積 8,120 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)

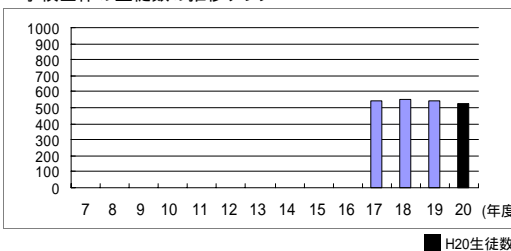
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数											539	552	545	529
学級											15	15	15	14

これまでの学校規模の推移について

平成17年に第二中学校と第十六中学校を統合し開校しました。  
開校後、常に14学級から15学級を維持しており、適正な学校規模といえます。  
平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む生徒数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

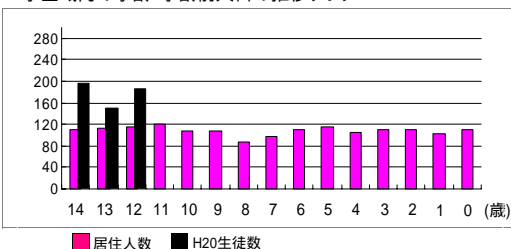
居住人数 110 112 115 120 108 107 88 97 109 116 106 109 109 102 109

H20生徒数 195 150 184

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の0歳から11歳のすべての年代が3学級規模となっており、学校選択制度の状況によっては、1学年3学級以下になる可能性があります。  
千住大川端地区の集合住宅開発により、将来的に生徒数が増加する可能性があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

千住地域の小中学校は、平成17年までに統廃合を順次進めてきました。  
大幅な生徒数の増減がない限り、現状の学校数および学区を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 03 学校名 千寿青葉中学校

所在地 120-0043 足立区千住宮元町27-6

交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩13分

開校年月日 平成15年4月1日 敷地面積 10,390 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和37年 延床面積 6,281 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.71～1.40(H20補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)

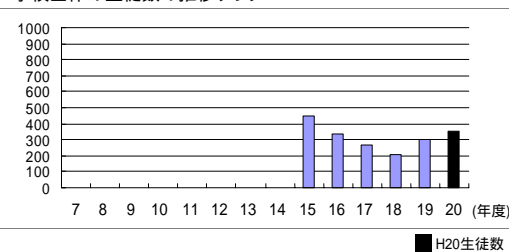
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数									450	338	271	207	306	357
学級									12	10	9	7	10	11

これまでの学校規模の推移について

平成15年に第三中学校と第十五中学校を統合し開校しました。開校後、一時的に生徒数が減少しましたが、平成20年度は11学級まで回復しています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

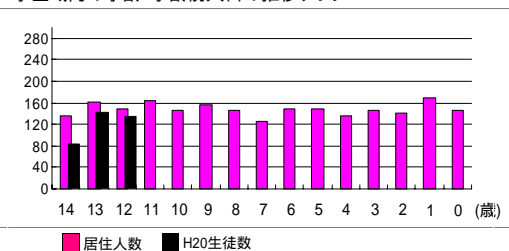
居住人数 135 162 148 163 147 157 146 126 148 149 135 146 141 168 147

H20生徒数 81 142 134

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の7歳が120人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、児童数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

千住地域の小中学校は、平成17年までに統廃合を順次進めてきました。大幅な生徒数の増減がない限り、現状の学校数および学区を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 04 学校名 第四中学校

所在地 121-0816 足立区梅島1-2-33

交通 梅島駅(東武線)下車徒歩7分

開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 13,863 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和36年 延床面積 7,407 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 平成22年改修終了予定

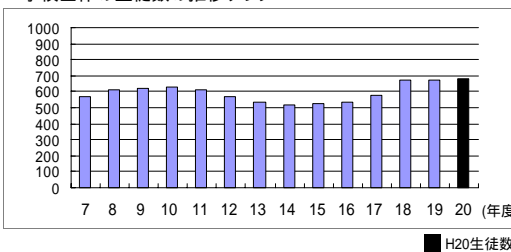
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	567	616	625	626	610	566	538	517	523	533	579	675	669	684
学級	17	18	18	18	17	16	15	15	15	15	16	18	18	18

これまでの学校規模の推移について

常に15学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む生徒数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

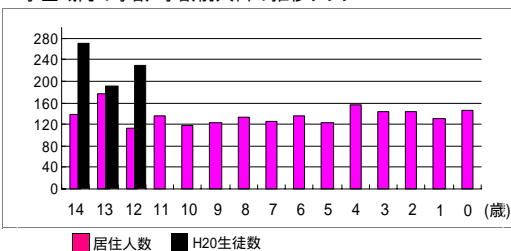
居住人数 139 178 113 136 119 123 134 125 136 124 157 143 144 131 146

H20生徒数 268 189 227

今後の生徒数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の10歳は120人以下、9歳、7歳、5歳が120人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成22年の完成に向けて、大規模改修計画を進めています。

## 1 学校基礎データ

行政番号 05 学校名 第五中学校

所在地 123-0845 足立区西新井本町2-3-1

交通 大師前駅(東武線)下車徒歩5分

開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 11,693 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和43年 延床面積 7,294 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.74～0.89(H17補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)

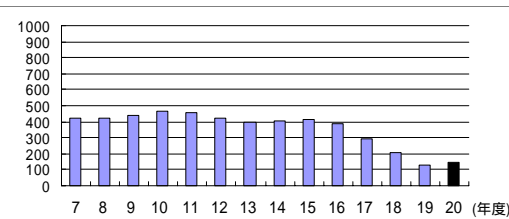
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	423	420	441	464	454	426	394	407	412	386	294	206	132	149
学級	12	12	12	13	13	13	12	12	12	11	9	7	5	5

これまでの学校規模の推移について

生徒数の減少が見られます。平成16年度には11学級以下の小規模校となり、平成19年度から学校全体で5学級の過小規模となっています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



■ H20生徒数

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

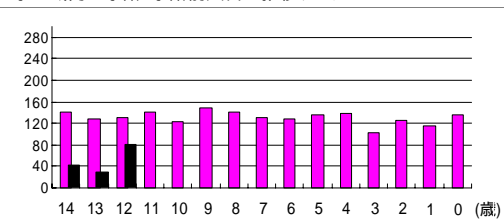
居住人数 142 128 131 141 122 149 142 132 129 136 138 102 126 116 137

H20生徒数 40 29 80

今後の生徒数の推移について

学区内に住む児童数は、今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の3歳と1歳で120人以下、10歳、6歳、2歳が120人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も小規模の傾向が続く可能性があります。生徒数の推移を見ながら、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 06 学校名 第六中学校

所在地 123-0856 足立区本木西町16-1

交通 北千住駅(東武線等)から東武バス本木小学校前下車徒歩3分

開校年月日 昭和22年4月19日 敷地面積 11,290 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい

建築年 昭和47年 延床面積 7,152 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.72～0.87(H17補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)

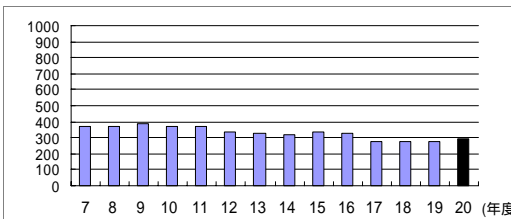
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	371	372	385	373	369	334	331	321	334	325	276	273	279	290
学級	11	11	12	11	10	10	10	9	9	9	8	8	8	8

これまでの学校規模の推移について

平成9年度以外は常に11学級以下の小規模校となっています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



■ H20生徒数

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

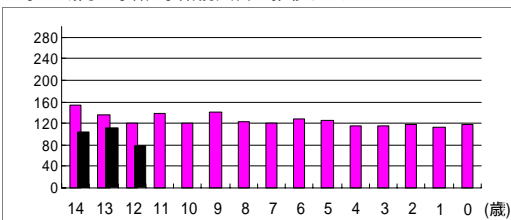
居住人数 154 136 121 138 120 142 122 121 129 125 115 116 118 112 118

H20生徒数 103 110 77

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、やや減少が見込まれ、平成20年度現在の0歳から4歳で120人以下、5歳から8歳と10歳が120人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も小規模の傾向が続く可能性があります。生徒数の推移を見ながら、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	07	学校名	第七中学校
所在地	123-0852 足立区関原3-32-14		
交通	西新井駅(東武線)下車徒歩10分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	10,955 m <sup>2</sup>	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和39年	延床面積	6,158 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	平成22年改修終了予定				

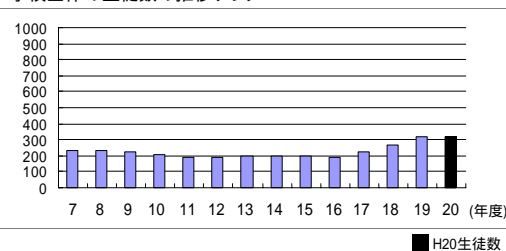
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	235	229	224	204	193	191	197	195	196	190	223	265	317	319
学級	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	7	8	10	9

これまでの学校規模の推移について

学校全体で11学級以下の小規模が続いています。平成10年度から平成16年度までは6学級以下の過小規模でしたが、平成17年度以降は回復傾向にあります。平成20年度現在、すべての学年で学区域内に住む生徒数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



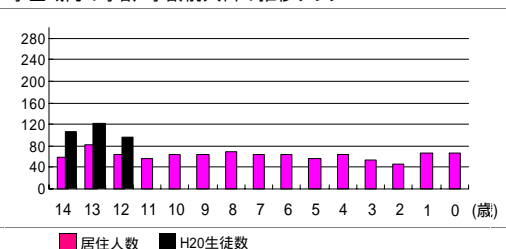
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	59	83	65	56	64	64	69	64	65	57	65	53	46	66	66	
H20生徒数	105	120	94													

今後の生徒数の推移について

学区域内に住む児童数は今後もほぼ横ばいが見込まれ、1学年2学級規模の人数となっています。第七中学校の北側では西新井駅西口駅前の大規模な集合住宅開発が行われており、隣の第十中学校の学区域で大幅な生徒数の増加が見込まれます。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成22年度の完成に向けて、大規模改修計画を進めています。平成20年度現在、西新井駅西口駅前の集合住宅開発エリアは第十中学校の学区域ですが、通学距離を考慮し、第七中学校学区域への編入の検討が必要です。

## 1 学校基礎データ

行政番号	08	学校名	第八中学校
所在地	123-0872 足立区江北7-17-11		
交通	西新井駅(東武線)から東武バス谷在家公園下車徒歩5分 西新井大駅西駅(日舎ライナー)下車徒歩10分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	12,662 m <sup>2</sup>	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和42年	延床面積	7,210 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.73~1.09(H17補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)				

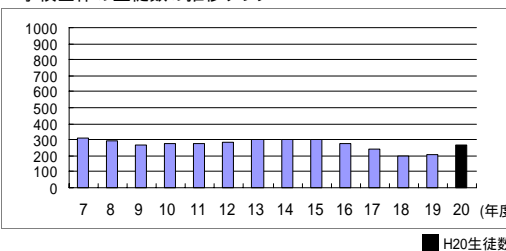
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	312	297	269	272	278	288	298	298	301	280	240	201	211	265
学級	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	7	7	8

これまでの学校規模の推移について

学校全体で11学級以下の小規模が続いています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



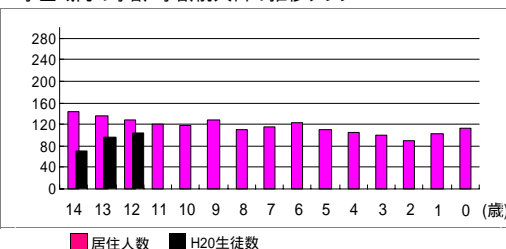
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	143	135	129	121	118	128	109	116	122	110	104	99	89	102	112	
H20生徒数	68	94	103													

今後の生徒数の推移について

学区域内に住む児童数は減少する見込みであり、ほとんどの年代で3学級規模となり、学校選択の状況によっては一部の年代で80人以下の2学級となる可能性があります。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学区域内の児童数や学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

近隣校を含めた地域全体の小規模化が伺えます。新線の状況を見ながらも、地域を一体的にみた改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	09	学校名	第九中学校
所在地	123-0851 足立区梅田6-32-1		
交通	梅島駅(東武線)下車徒歩3分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	13,666 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和36年	延床面積	6,884 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	平成22年改修終了予定				

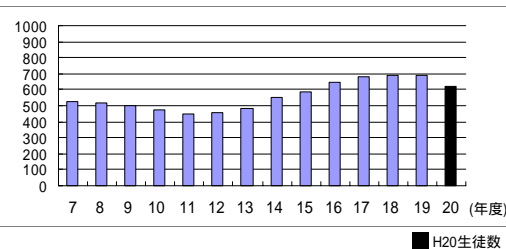
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	530	518	496	475	451	461	482	554	583	647	682	691	692	620
学級	15	15	14	14	13	13	14	16	16	17	19	19	19	17

これまでの学校規模の推移について

常に13学級から19学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



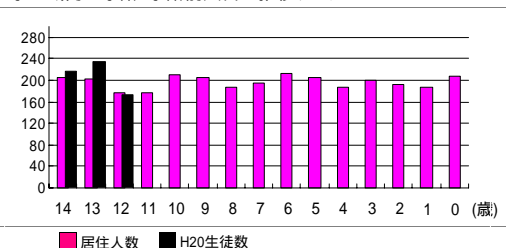
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	204	202	178	178	211	206	186	194	212	205	186	200	193	187	208	
H20生徒数	215	233	172													

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。学区内に700世帯を超える集合住宅が建設されており、生徒数が増加する可能性があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成22年の完成に向けて、大規模改修計画を進めています。今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	10	学校名	第十中学校
所在地	121-0816 足立区梅島3-23-3		
交通	西新井駅(東武線)下車徒歩5分		

開校年月日	昭和22年4月19日	敷地面積	11,212 m <sup>2</sup>	特別支援学級	情緒障がい
建築年	昭和37年	延床面積	7,812 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.78～0.79(H11補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)				

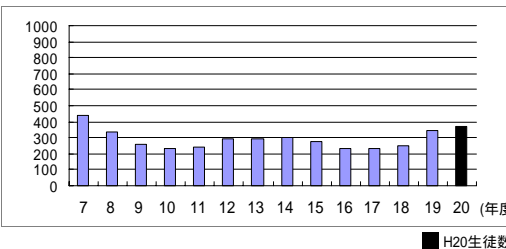
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	440	334	262	231	244	291	291	299	275	229	231	249	342	369
学級	13	9	7	7	8	9	9	9	9	8	8	8	10	11

これまでの学校規模の推移について

平成8年度以降、学校全体で11学級以下の小規模が続いていますが、平成19年度から回復傾向が見られます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



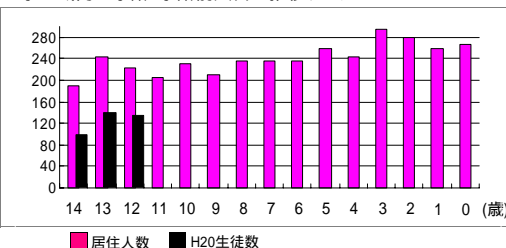
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	190	243	223	204	231	211	237	237	235	258	243	296	280	258	266	
H20生徒数	97	138	134													

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、大幅に増加することが見込まれます。これは、第七中学校の北側の西新井駅西口駅前の大規模な住宅開発の影響によるものです。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成20年度現在、西新井駅西口駅前の集合住宅開発エリアは第十中学校の学区域ですが、通学距離を考慮し、第七中学校学区域への編入を検討します。

## 1 学校基礎データ

行政番号	11	学校名	第十一中学校
所在地	120-0013 足立区弘道1-38-15		
交通	五反野駅(東武線)下車徒歩10分 青井駅(TX)下車徒歩10分		
開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	13,227 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和55年	延床面積	7,817 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71(H13補強済、一部新耐震基準) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)		

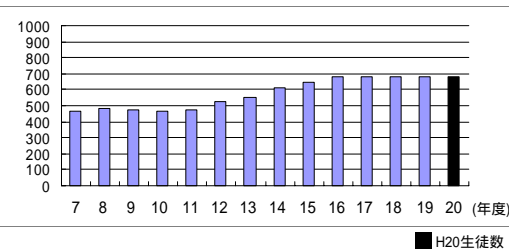
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	469	480	478	469	470	523	554	614	645	682	683	684	680	680
学級	13	13	14	13	13	15	15	16	17	18	18	18	18	18

これまでの学校規模の推移について

常に13学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



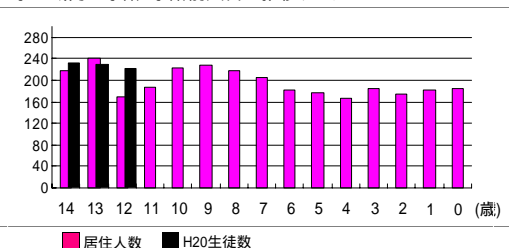
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	218	242	169	186	222	227	219	206	181	177	167	184	175	181	184
H20生徒数	232	228	220												

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、やや減少が見込まれますが、各年代とも5学級規模を維持できる生徒数が居住しています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	12	学校名	第十二中学校
所在地	120-0001 足立区大谷田1-37-1		
交通	亀有駅(JR)から東武バス大谷田下車徒歩5分		
開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	11,380 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和35年	延床面積	7,066 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71~0.79(H15補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		

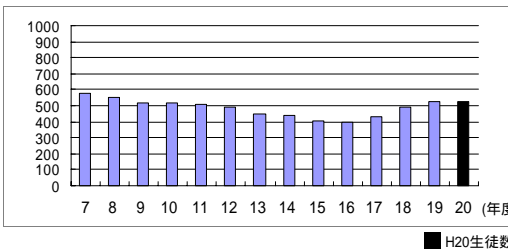
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	578	552	521	517	508	488	448	443	402	395	430	490	529	522
学級	15	15	15	15	14	13	12	12	11	11	12	14	15	15

これまでの学校規模の推移について

平成15年度から平成16年度まで、一時的に11学級の小規模となりましたが、その他は12学級から15学級を維持しており、おおむね適正な学校規模といえます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



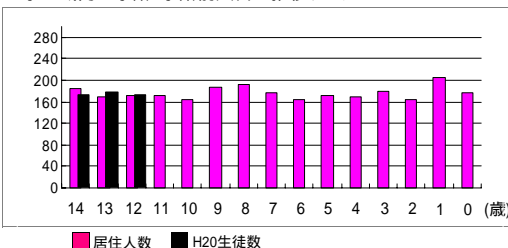
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	184	170	172	172	165	187	193	178	163	171	170	180	163	206	178
H20生徒数	172	177	173												

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 13 学校名 第十三中学校

所在地 121-0057 足立区神明南1-16-1

交通 綾瀬駅(千代田線)から東武バス神明南下車徒歩5分またははるかぜ雪見橋南詰下車徒歩5分

開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 13,632 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい

建築年 昭和42年 延床面積 8,111 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.78～0.80(H13補強済、一部新耐震基準) 体育館・新耐震診断基準(S57以降建築)

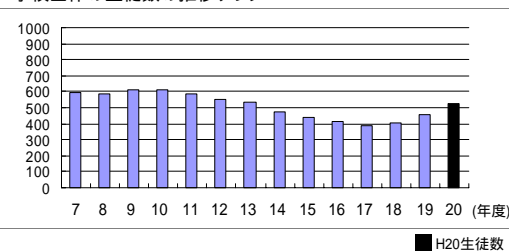
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	597	585	615	609	583	555	538	474	440	414	387	404	460	525
学級	16	16	17	17	16	15	15	14	13	12	11	11	13	15

これまでの学校規模の推移について

平成17年度から平成18年度まで、一時的に11学級の小規模となりましたが、その他は12学級から17学級を維持しており、おおむね適正な学校規模といえます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

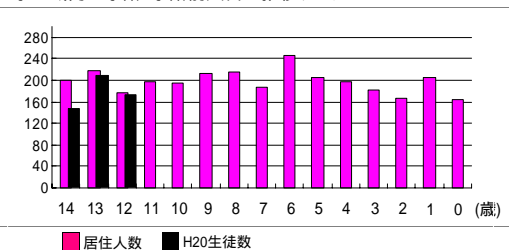
居住人数 200 218 176 198 196 212 216 187 247 205 198 183 167 206 165

H20生徒数 146 207 172

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 14 学校名 第十四中学校

所在地 121-0822 足立区西竹の塚1-8-1

交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩3分

開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 14,828 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和39年 延床面積 8,092 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.75～0.87(H13補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)

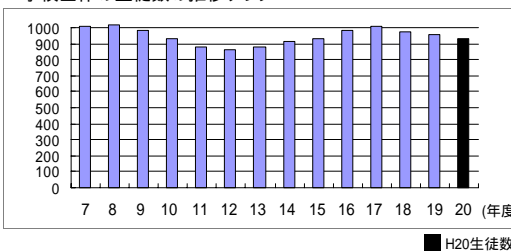
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	1010	1016	987	928	881	864	882	917	932	986	1006	975	953	927
学級	27	27	26	24	24	23	24	25	25	27	27	26	25	24

これまでの学校規模の推移について

常に23学級から27学級あり、足立区で最も大きな中学校となっています。平成20年度現在、すべての学年で学区内に住む生徒数を上回る人数が在籍しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

居住人数 197 210 250 220 195 197 227 243 232 230 217 196 187 210 240

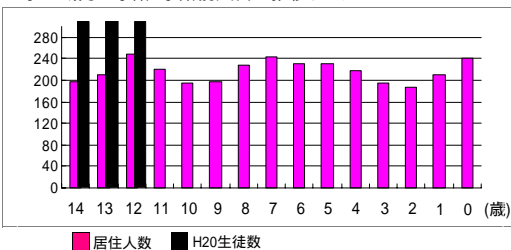
H20生徒数 307 312 308

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

H20生徒数の棒グラフは、300人を超えるため正確に表示されていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

大規模化の傾向があるため、学校選択制度の受入れ可能人数を調整することにより適正規模である24学級以下を維持していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	15	学校名	江南中学校
所在地	120-0047 足立区宮城1-8-4		
交通	西新井駅(東武線)から都バス宮城二丁目下車徒歩7分 田端駅(JR)から都バス宮城都営住宅前下車徒歩3分		
開校年月日	昭和28年4月1日	敷地面積	9,243 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和42年	延床面積	5,458 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.75(H10補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		

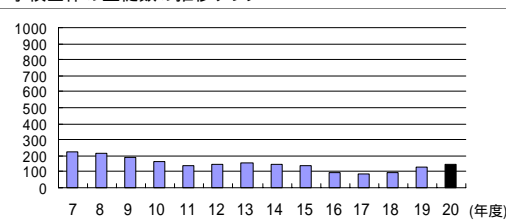
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	226	212	188	163	135	146	152	150	135	95	87	99	129	145
学級	7	6	6	6	6	6	6	6	6	5	4	4	5	6

これまでの学校規模の推移について

平成8年度以降、学校全体で6学級以下の過小規模が続いています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



■ H20生徒数

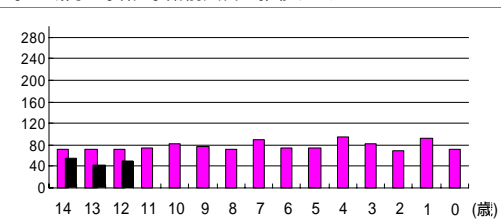
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	73	72	72	74	83	77	71	89	75	74	94	83	68	92	72
H20生徒数	55	42	48												

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。  
河川で他の地区と分断された地域性から、宮城小学校からの進学がほとんどであり、小規模を解消する可能性は非常に低いと思われます。  
学区内には大規模な集合住宅が建設される可能性があり、その状況によっては生徒数が増加する可能性があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

地域的に他の中学校との統合は困難です。  
過小規模が続いた場合でも、単独校として存続します。  
新田地区の小中一貫校の先行事例を参考にしながら、その可能性について検討する必要があります。

## 1 学校基礎データ

行政番号	16	学校名	新田中学校
所在地	123-0865 足立区新田1-21-18		
交通	王子駅(JR等)から都バス新田一丁目下車徒歩3分 西新井駅(東武線)から都バス新田小学校前下車徒歩8分		
開校年月日	昭和34年9月1日	敷地面積	6,242 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和33年	延床面積	4,214 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	平成22年移転改築予定		

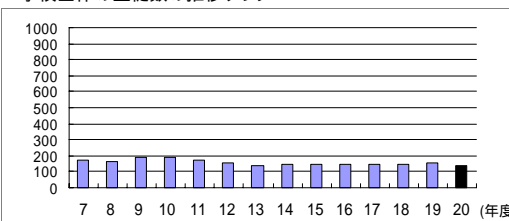
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	170	164	186	192	175	151	138	146	144	143	149	147	155	137
学級	6	6	6	6	5	5	5	6	6	6	6	6	6	5

これまでの学校規模の推移について

常に学校全体で6学級以下の過小規模が続いています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



■ H20生徒数

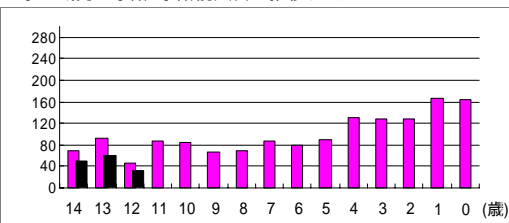
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	69	92	46	87	84	66	70	88	80	90	130	129	129	167	163
H20生徒数	48	58	31												

今後の生徒数の推移について

河川で他の地区と分断された地域性から、新田小学校からの進学がほとんどです。  
新田地区の大規模な集合住宅開発により、学区内に住む生徒数は大幅に増加する見込みです。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成22年に新田小学校と新田中学校の小中一貫校「新田学園」が開校する予定です。



## 1 学校基礎データ

行政番号	17	学校名	江北中学校
所在地	123-0872 足立区江北1 - 17 - 1		
交通	西新井駅(東武線)から都バス江北四丁目下車徒歩3分 高野駅・江北駅(日舎ライナー)下車徒歩3分 西日暮里駅(JR等)から都バス扇3丁目下車徒歩3分(王子駅(JR等)からも可)		
開校年月日	昭和38年4月1日	敷地面積	12,184 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和36年	延床面積	7,188 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.75(H13補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)		

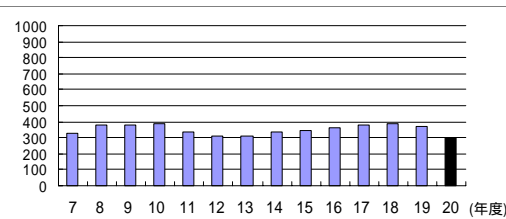
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	331	379	376	384	339	311	307	332	348	359	377	389	367	300
学級	10	11	11	12	11	10	9	9	9	10	11	12	11	9

これまでの学校規模の推移について

ほぼすべての年度で11学級以下の小規模となっています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



■ H20生徒数

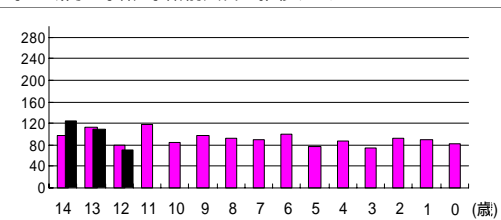
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	97	113	80	118	85	97	93	90	101	76	86	75	92	89	83
H20生徒数	124	108	68												

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は今後もほぼ横ばいが見込まれ、すべての年代で2から3学級規模の人数となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学区内の児童数や学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

近隣校を含めて地域全体で小規模化が伺えます。新線の状況を見ながらも、地域を一体的にみた改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	18	学校名	鹿浜中学校
所在地	123-0864 足立区鹿浜5 - 18 - 1		
交通	西新井駅(東武線)から東武バス鹿浜中学校前下車徒歩3分		
開校年月日	昭和41年4月1日	敷地面積	11,647 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和41年	延床面積	6,988 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.72~1.15(H16補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)		

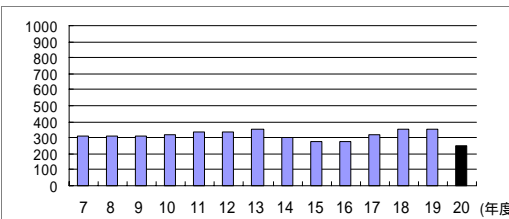
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	308	308	308	319	332	340	352	300	275	273	317	357	354	247
学級	9	9	9	9	9	9	10	8	8	8	9	10	10	8

これまでの学校規模の推移について

常に学校全体で11学級以下の小規模が続いています。平成20年度は、学校選択制度の影響により大幅に生徒数が減少しました。

学校全体の生徒数の推移グラフ



■ H20生徒数

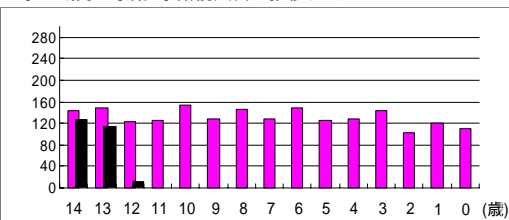
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	144	148	124	126	155	127	145	128	148	125	127	143	103	120	111
H20生徒数	125	112	10												

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれ、平成20年度現在の0歳から2歳が120人以下、4、5、7、9、11歳が120人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

近隣校を含めた地域全体の小規模化が伺えます。学校選択制度の状況を見ながら、地域を一体的にみた改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	19	学校名	東島根中学校
所在地	121-0076 足立区平野1-27-2		
交通	梅島駅(東武線)下車徒歩20分 綾瀬駅(千代田線)から東武バスツツ家二丁目下車徒歩4分		
開校年月日	昭和35年9月1日	敷地面積	12,500 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和34年	延床面積	7,269 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.60以上(H8補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)		

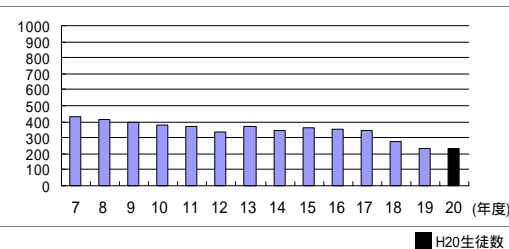
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	429	411	399	377	368	339	368	343	365	354	341	276	235	237
学級	12	12	12	11	11	10	11	10	11	11	11	9	8	8

これまでの学校規模の推移について

生徒数の減少が見られます。平成10年度以降は学校全体で11学級以下の小規模が続いています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



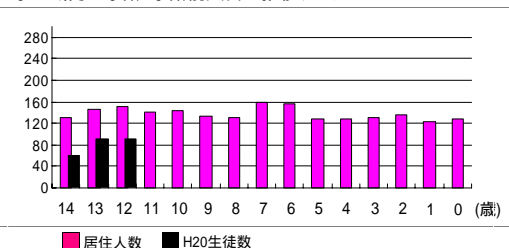
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	130	146	152	142	143	133	131	158	157	127	129	131	137	122	127	
H20生徒数	59	89	89													

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の0歳と1歳、4歳と5歳が120人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

建物および設備の老朽化が進んでいます。改築または統合の検討を早急に進める必要があります。

## 1 学校基礎データ

行政番号	20	学校名	洲江中学校
所在地	121-0064 足立区保木間3-6-6		
交通	竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩20分 竹ノ塚駅(東武線)から東武バス保木間三丁目下車徒歩1分		
開校年月日	昭和35年4月1日	敷地面積	12,205 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和37年	延床面積	8,692 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71~0.74(H9、12補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)		

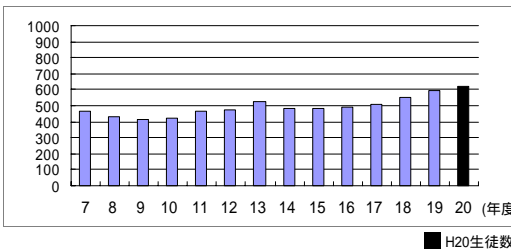
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	468	432	416	422	462	477	523	484	481	490	511	556	599	620
学級	14	13	12	12	13	14	15	14	14	13	14	16	17	17

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から17学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



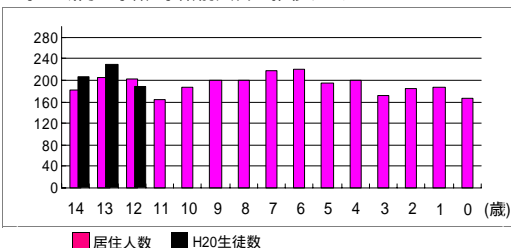
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	183	205	203	164	188	201	199	219	220	194	199	172	185	186	167	
H20生徒数	205	228	187													

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	21	学校名	竹の塚中学校
所在地	121-0812 足立区西保木間4 - 12 - 13		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から都バス・東武バス足立清掃工場下車徒歩3分		
開校年月日	昭和45年4月1日	敷地面積	11,120 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和45年	延床面積	7,383 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.72～0.73(H15補強済、一部新耐震基準) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)		

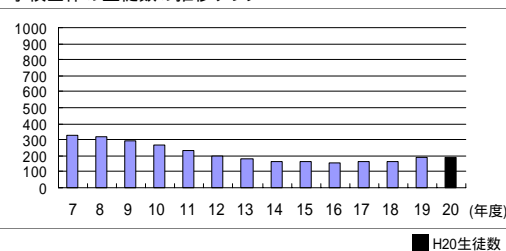
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	326	315	295	270	237	202	177	164	164	156	166	165	186	186
学級	9	9	9	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6

これまでの学校規模の推移について

常に学校全体で11学級以下の小規模であり、平成13年度から学校全体で6学級以下の過小規模校となっています。学区内には3から4学級規模の生徒数が居住しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



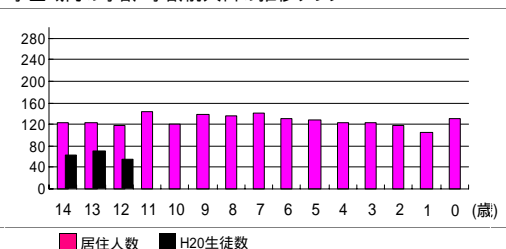
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	122	122	118	143	120	138	137	141	130	129	123	124	119	106	131
H20生徒数	62	70	54												

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれ、平成20年度現在の1歳と2歳が120人以下、10歳と3歳から5歳が120人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

現時点では過小規模となっていますが、学区内には3から4学級規模の生徒数が居住しています。今後の学校規模の推移を見ながら、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	22	学校名	東綾瀬中学校
所在地	120-0005 足立区綾瀬3 - 23 - 14		
交通	綾瀬駅(千代田線)下車徒歩5分		
開校年月日	昭和39年4月1日	敷地面積	12,658 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和38年	延床面積	7,912 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・076～0.85(H11補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)		

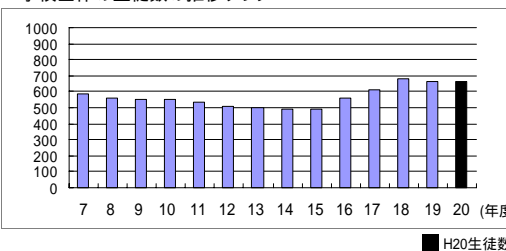
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	585	557	553	553	535	511	498	490	493	563	615	678	666	661
学級	15	15	15	15	15	15	15	14	15	16	17	18	18	18

これまでの学校規模の推移について

常に14学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

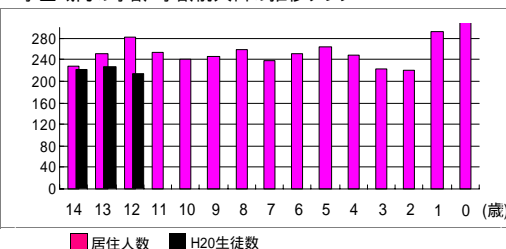
年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	229	252	281	254	240	246	258	238	252	263	249	224	221	292	309
H20生徒数	221	226	214												

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、一部の年代で減少または増加が見られますが、全体としては今後もほぼ横ばいが見込まれます。平成20年度現在の0歳から1歳の人口が非常に多くなっています。

0歳の居住人数の棒グラフは、300人を超えるため正確に表示されていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれますが、一部の学齢前人口の急激な増加が見込まれるため、今後の生徒数の推移を見ながら対応策を検討していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 23 学校名 青井中学校

所在地 121-0012 足立区青井4-19-1

交通 青井駅(TX)下車徒歩5分

開校年月日 昭和48年4月1日 敷地面積 15,701 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和48年 延床面積 5,532 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.81～0.99(H19補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)

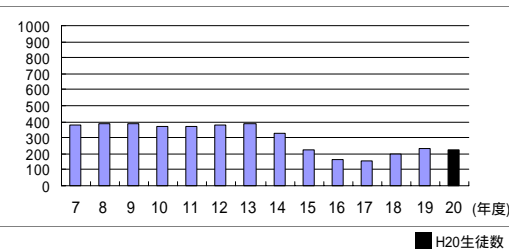
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	381	386	391	373	373	380	387	329	223	160	153	197	230	221
学級	12	12	12	11	11	11	12	10	7	5	5	6	7	7

これまでの学校規模の推移について

生徒数の減少が見られます。平成10年以降のほとんどの年度で、学校全体で11学級以下の小規模となり、平成16年度から18年度には学校全体で6学級以下の過小規模となっていました。学区内には3から4学級規模の生徒数が居住しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

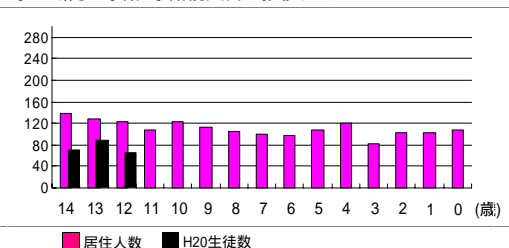
居住人数 138 129 122 107 122 114 106 99 98 108 120 81 102 103 107

H20生徒数 70 86 65

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は減少が見込まれ、ほとんどの年代で3学級規模となり、学校選択の状況によっては一部の年代で80人以下の2学級となる可能性があります。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後の生徒数は、各年代とも2から3学級規模であり、学校全体で12学級以下となる可能性があります。生徒数の推移を見ながら、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 24 学校名 花畑中学校

所在地 121-0061 足立区花畑1-31-1

交通 竹ノ塚駅(東武線)から東武バス第五都住団地前下車徒歩5分

開校年月日 昭和41年4月1日 敷地面積 14,122 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和38年 延床面積 6,769 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.71(H9、10補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)

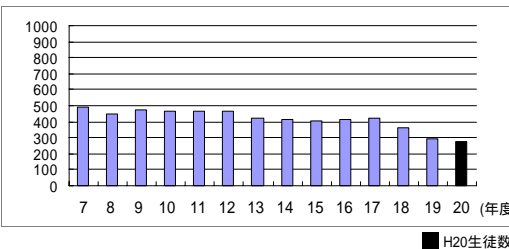
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	488	448	474	468	463	467	426	416	406	418	426	362	295	275
学級	14	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	11	9	8

これまでの学校規模の推移について

生徒数の減少が見られます。平成18年度以降、学校全体で11学級以下の小規模が続いています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

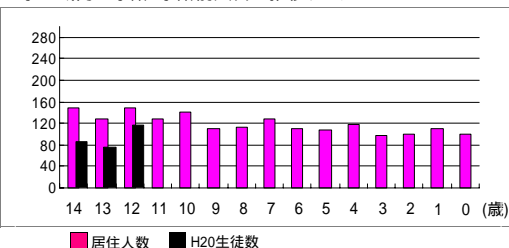
居住人数 150 129 148 129 140 111 113 128 110 108 117 98 100 109 99

H20生徒数 84 75 116

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は減少が見込まれ、ほとんどの年代で3学級規模となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

近隣校を含めた地域全体の小規模化が伺えます。学校選択制度などの状況を見ながら、地域一体的にみた改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 25 学校名 蒲原中学校

所在地 120-0003 足立区東和3 - 17 - 15

交通 綾瀬駅(千代田線)からはるかぜ蒲原中学校入り口下車徒歩2分

開校年月日 昭和32年4月1日 敷地面積 15,133 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和47年 延床面積 7,576 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.75～1.06(H13補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)

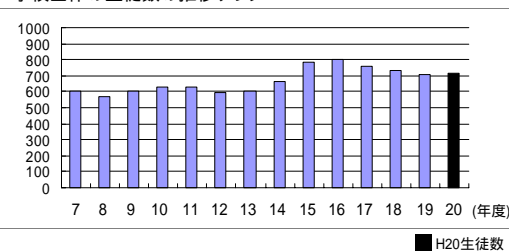
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	604	573	604	630	633	597	600	664	783	802	761	729	705	718
学級	17	15	16	17	17	16	16	18	21	22	21	20	19	19

これまでの学校規模の推移について

常に15学級から22学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

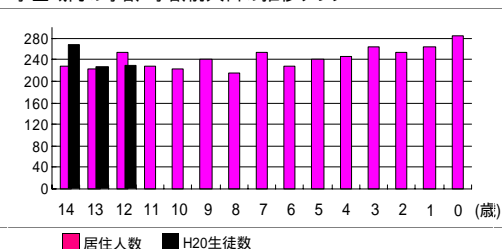
居住人数 229 224 253 228 224 242 216 253 229 241 246 265 253 264 285

H20生徒数 266 225 227

今後の生徒数の推移について

学区内で大規模な集合住宅が建設されたため、生徒数は増加する見込みです。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 26 学校名 西新井中学校

所在地 123-0841 足立区西新井7 - 22 - 1

交通 大師前駅(東武線)下車徒歩15分  
西新井大師西駅(日舎ライナー)下車徒歩3分

開校年月日 昭和50年4月1日 敷地面積 10,830 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和50年 延床面積 7,367 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟・0.71～0.72(H18補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)

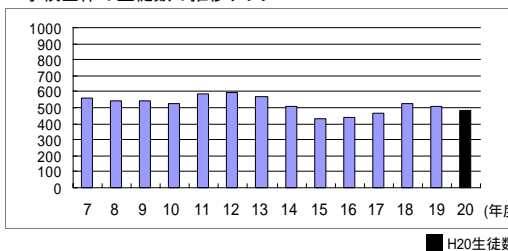
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	559	539	547	528	583	591	565	507	432	440	463	522	510	479
学級	15	14	14	15	16	16	15	14	12	12	14	15	14	13

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から16学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

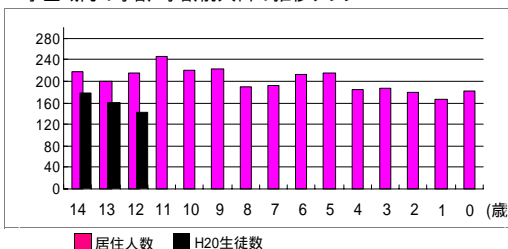
居住人数 219 201 216 245 220 224 191 192 213 215 184 187 180 166 182

H20生徒数 178 160 141

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、やや減少が見込まれます。  
大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学区内の児童数や学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	27	学校名	入谷中学校
所在地	121-0836 足立区入谷3-6-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス入谷三丁目下車徒歩3分		

開校年月日	昭和51年4月1日	敷地面積	14,686 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和51年	延床面積	6,388 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71～0.74(H20補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)				

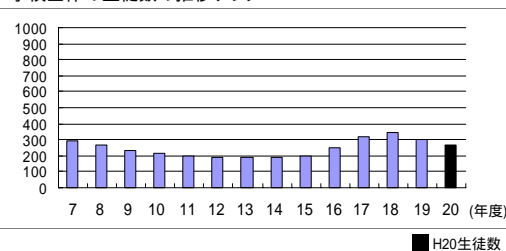
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	294	265	230	216	196	186	187	187	201	249	316	349	300	267
学級	9	9	8	7	6	6	6	6	6	7	9	10	9	8

これまでの学校規模の推移について

平成11年度から平成15年度まで、学校全体で6学級以下の過小規模となるなど、常に小規模が続いています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



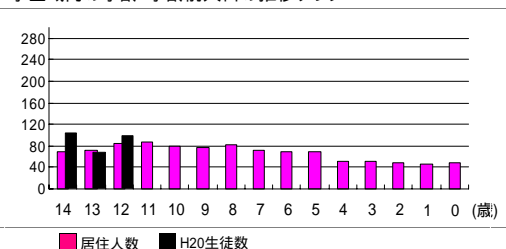
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	68	73	85	87	80	78	83	71	68	70	51	52	50	45	48	
H20生徒数	103	66	98													

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、やや減少が見込まれ、ほとんどの年代で80人以下の2学級規模となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後の生徒数は、各年代とも2学級から3学級規模であり、学校全体で11学級以下となる可能性が高いと思われます。生徒数の推移を見ながら、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	28	学校名	上沼田中学校
所在地	123-0872 足立区江北5-14-1		
交通	西新井駅(東武線)から都バス・国際興業バス江北陸橋下車徒歩7分 江北駅・西新井大師西駅(日舎ライナー)下車徒歩10分		

開校年月日	昭和52年4月1日	敷地面積	7,666 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和52年	延床面積	4,476 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.72～0.81(H18、19補強済) 体育館・1.15(H18、19補強済)				

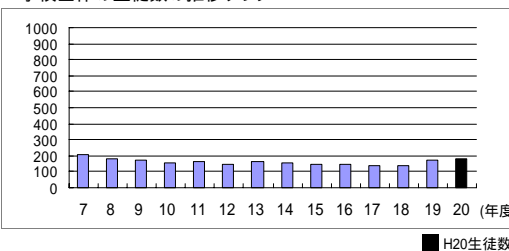
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	210	178	170	153	160	148	166	159	147	150	141	142	171	182
学級	7	6	6	6	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6

これまでの学校規模の推移について

平成8年度以降、学校全体で6学級以下の過小規模校が続いています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



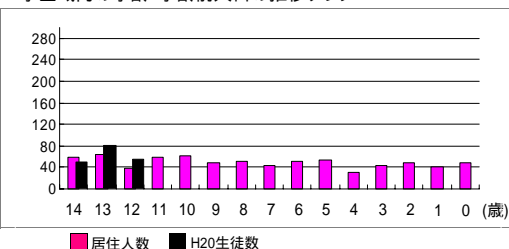
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	58	63	38	58	61	49	52	43	51	55	32	43	50	42	50	
H20生徒数	48	79	55													

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。周辺地域において、上沼田南土地区画整理事業が進められています。また、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学区内の児童数や学齢前人口の推移をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

現時点では生徒数の大幅な増加は見込まれませんが、区画整理事業と新線の状況により変化する可能性があります。今後の学校規模の推移を見ながら、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	29	学校名	伊興中学校
所在地	121-0823 足立区伊興5-17-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分		

開校年月日	昭和53年4月1日	敷地面積	12,640 m <sup>2</sup>	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和53年	延床面積	6,939 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.73～1.01(H19補強済) 体育館・0.81(H19補強済)				

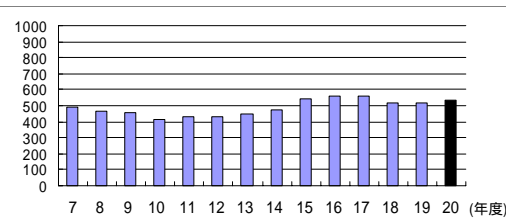
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	490	467	460	416	428	430	452	475	543	562	559	515	517	531
学級	14	14	13	12	12	12	12	13	15	16	16	14	15	15

これまでの学校規模の推移について

常に12学級から16学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



■ H20生徒数

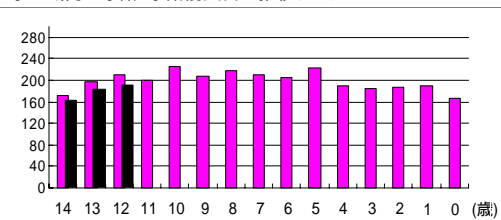
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	172	198	209	200	225	207	219	209	204	222	190	184	187	190	167
H20生徒数	161	181	189												

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	30	学校名	花畑北中学校
所在地	121-0061 足立区花畑6-12-35		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス花畑団地下車徒歩5分		

開校年月日	昭和53年4月1日	敷地面積	13,223 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和53年	延床面積	7,387 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71(H20補強済、一部新耐震基準) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)				

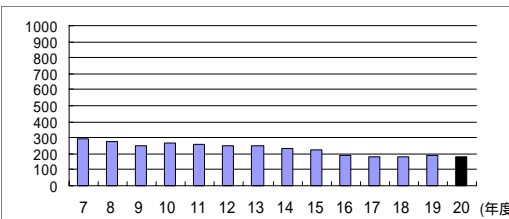
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	292	278	253	266	256	247	249	229	224	186	179	179	193	183
学級	8	8	8	9	9	8	9	8	7	6	6	6	6	6

これまでの学校規模の推移について

平成16年度以降、学校全体で6学級以下の過小規模校が続いています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



■ H20生徒数

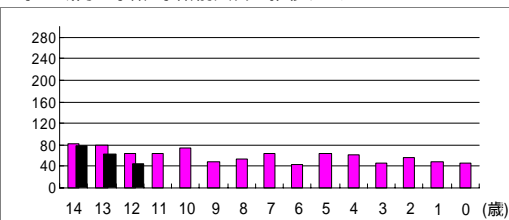
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	82	80	64	63	75	49	54	65	44	65	62	47	56	48	47
H20生徒数	77	62	44												

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、やや減少が見込まれ、すべての年代で80人以下の2学級規模となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

学校規模の回復は今後も難しいため、改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	31	学校名	谷中中学校
所在地	120-0006 足立区谷中3-14-1		
交通	北綾瀬駅(千代田線)下車徒歩7分		

開校年月日	昭和54年4月1日	敷地面積	13,195 m <sup>2</sup>	特別支援学級	
建築年	昭和54年	延床面積	6,957 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71～0.97(H14補強済) 体育館・0.97(H14補強済)				

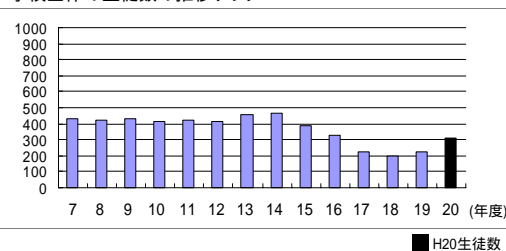
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	427	422	434	412	422	413	453	463	389	329	227	200	220	314
学級	12	12	12	12	12	12	12	13	11	9	7	7	7	9

これまでの学校規模の推移について

平成15年度以降、学校全体で11学級以下の小規模が続いていますが、平成20年度以降、回復傾向が見られます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



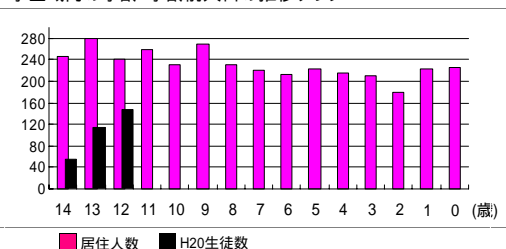
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	246	280	241	260	230	268	232	221	212	222	216	211	180	224	226	
H20生徒数	55	114	145													

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれます。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

現時点では小規模となっていますが、学区内には5から7学級規模の生徒数が居住しており、適正な規模に回復する可能性があります。今後の生徒数の推移をみながら、必要に応じて改善策の検討を進めます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	32	学校名	花保中学校
所在地	121-0062 足立区南花畑2-41-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)または綾瀬駅(千代田線)から東武バス足立総合スポーツセンター前下車徒歩2分		

開校年月日	昭和54年4月1日	敷地面積	12,455 m <sup>2</sup>	特別支援学級	情緒障がい
建築年	昭和54年	延床面積	7,403 m <sup>2</sup>	学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.71～0.72(H14補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)				

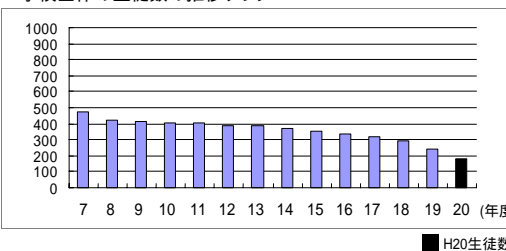
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	470	426	410	402	404	386	389	372	355	340	322	292	239	185
学級	13	12	12	12	12	11	11	11	10	10	10	9	7	5

これまでの学校規模の推移について

生徒数の減少が見られます。平成12年度には11学級以下の小規模校となり、平成20年度現在、学校全体で6学級以下の過小規模校となっています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



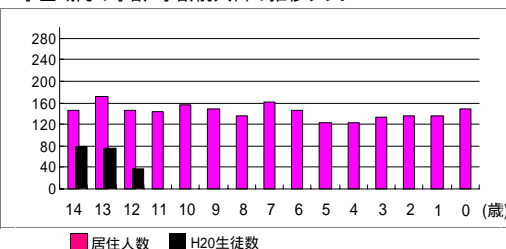
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	146	172	145	144	156	148	135	161	146	122	123	134	135	137	149	
H20生徒数	76	74	35													

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、やや減少が見込まれ、平成20年度現在の4歳と5歳が120人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

現時点では小規模となっていますが、学区内には4から5学級規模の生徒数が居住しており、適正な規模に回復する可能性があります。今後の生徒数の推移をみながら、必要に応じて改善策の検討を進めます。



## 1 学校基礎データ

行政番号	33	学校名	栗島中学校
所在地	121-0011 足立区中央本町5 - 23 - 1		
交通	五反野駅(東武線)下車徒歩20分 西新井駅(東武線)から東武バス栗島中学校前下車徒歩1分		
開校年月日	昭和56年4月1日	敷地面積	11,859 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和56年	延床面積	6,759 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.73～0.79(H19補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)		

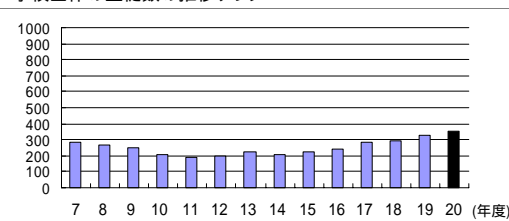
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	285	263	246	211	188	202	223	205	228	243	282	293	325	354
学級	9	8	8	6	6	6	7	7	8	8	9	9	10	10

これまでの学校規模の推移について

平成10年度から平成12年度まで学校全体で6学級以下の過小規模となるなど、常に小規模が続いていますが、生徒数は回復の傾向が見られます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



■ H20生徒数

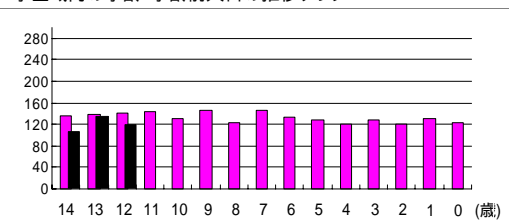
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	135	139	141	143	130	147	124	145	134	129	120	127	121	130	124
H20生徒数	104	133	117												

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、今後もほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の0歳と2歳から5歳、8歳が120人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

学区内には3から4学級規模の生徒数が居住していますが、学校選択の状況によっては再度小規模化する可能性があります。今後の生徒数の推移をみながら、必要に応じて改善策の検討を進めます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	34	学校名	扇中学校
所在地	123-0873 足立区扇3 - 18 - 14		
交通	西新井駅(東武線)から都バス阿弥陀橋下車徒歩3分 江北駅(日舎ライナー)下車徒歩3分		
開校年月日	昭和57年4月1日	敷地面積	15,852 m <sup>2</sup>
		特別支援学級	
建築年	昭和57年	延床面積	5,614 m <sup>2</sup>
		学童保育室	
耐震IS値	校舎棟・0.72(H20補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)		

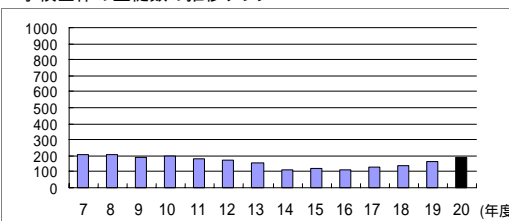
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	208	209	189	199	185	169	152	116	121	116	133	140	160	187
学級	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	6	6

これまでの学校規模の推移について

常に学校全体で6学級以下の過小規模が続いています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



■ H20生徒数

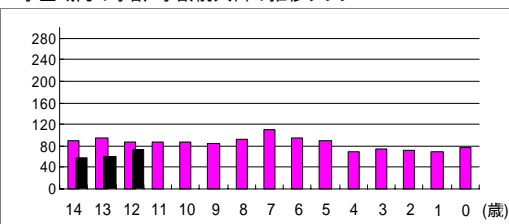
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H20学年	3年	2年	1年												
居住人数	91	94	88	86	88	85	92	109	95	90	70	75	72	68	78
H20生徒数	57	58	72												

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、ほぼ横ばいが見込まれ、ほとんどの年代で2から3学級規模となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学区内の児童数や学齢前人口の変動をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 ■ H20生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成20年度現在、足立区唯一の小中一貫校です。学区が小学校と同一のため、興本小学校からの進学が大部分をしめており、学級数の増加は見込めません。小規模ではありますが、小中一貫校として今後も存続していきます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	35	学校名	加賀中学校
所在地	123-0861 足立区加賀2-25-22		
交通	西新井駅(東武線)から東武バス加賀一丁目下車徒歩5分		

開校年月日	昭和59年4月1日	敷地面積	11,459 m <sup>2</sup>	特別支援学級
建築年	昭和59年	延床面積	8,098 m <sup>2</sup>	学童保育室
耐震IS値	校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)			

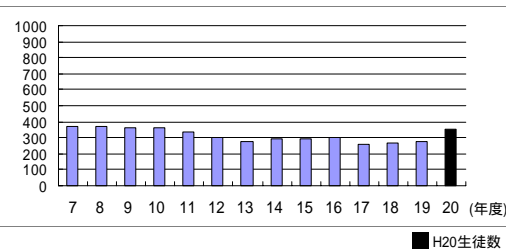
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	371	369	361	360	335	298	278	290	292	302	261	263	274	352
学級	11	11	11	11	10	9	9	9	9	9	8	8	8	10

これまでの学校規模の推移について

常に11学級以下の小規模が続いています。

学校全体の生徒数の推移グラフ



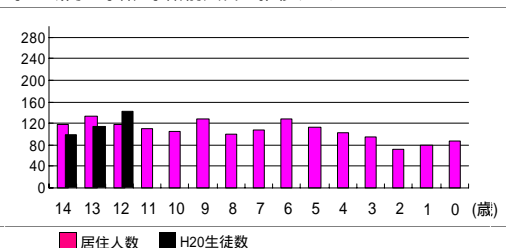
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	117	134	117	110	104	128	100	108	127	114	103	96	72	80	88	
H20生徒数	97	113	142													

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は減少が見込まれ、ほとんどの年代で3学級規模となり、学校選択の状況によっては一部の年代で80人以下の2学級となる可能性があります。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

近隣校を含めた地域全体の小規模化が伺えます。学校選択制度の状況を見ながら、地域を一体的にみた改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号	36	学校名	入谷南中学校
所在地	121-0836 足立区入谷1-24-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス入谷新道下車徒歩5分 または都バス・東武バス中入谷下車徒歩5分 舎人駅(日舎ライナー)下車徒歩5分		

開校年月日	昭和61年4月1日	敷地面積	14,249 m <sup>2</sup>	特別支援学級
建築年	平成2年	延床面積	7,373 m <sup>2</sup>	学童保育室
耐震IS値	校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)			

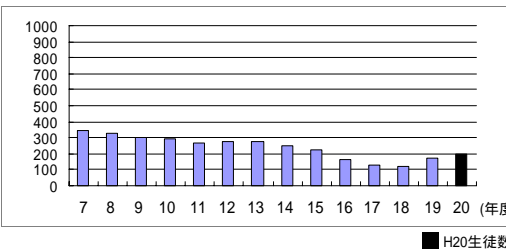
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	341	328	303	291	265	276	275	254	222	160	133	122	174	201
学級	10	9	8	8	8	9	9	8	7	6	5	5	6	7

これまでの学校規模の推移について

常に11学級以下の小規模が続いており、平成16年度から平成19年度までは、学校全体で6学級以下の過小規模となっていました。学区内には5学級規模の生徒数が居住しており、学校選択制度の影響が見られます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



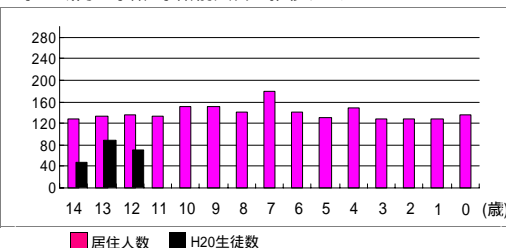
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H20学年	3年	2年	1年													
居住人数	129	134	136	133	151	152	140	180	140	132	150	129	128	128	135	
H20生徒数	46	86	69													

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は、ほぼ横ばいが見込まれますが、平成20年度現在の1歳から3歳が120人台で、やや少ない人数となっています。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていませんが、日暮里・舎人ライナーの駅周辺となったため、学区内の児童数や学齢前人口の推移をみる必要があります。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

近隣校を含めて地域全体の小規模化が伺えます。学校選択制度や新線の状況を見ながらも、地域を一体的にみた改善策の検討が必要と考えます。

## 1 学校基礎データ

行政番号 37 学校名 六月中学校

所在地 121-0814 足立区六月1-30-1

交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩13分  
または都バス六月町下車徒歩3分

開校年月日 昭和62年4月1日 敷地面積 16,084 m<sup>2</sup> 特別支援学級

建築年 昭和62年 延床面積 8,433 m<sup>2</sup> 学童保育室

耐震IS値 校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)

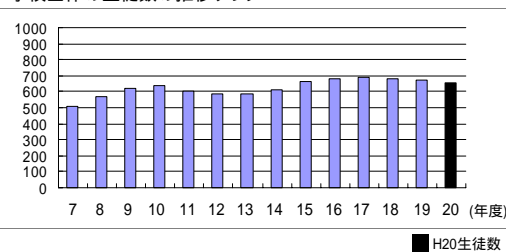
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
在籍人数	507	572	621	634	605	588	587	615	660	683	686	684	672	655
学級	13	15	17	17	16	16	16	17	18	18	18	18	18	18

これまでの学校規模の推移について

常に13学級から18学級を維持しており、適正な学校規模といえます。

学校全体の生徒数の推移グラフ



## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H20/5/1付データ)

年齢 14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H20学年 3年 2年 1年

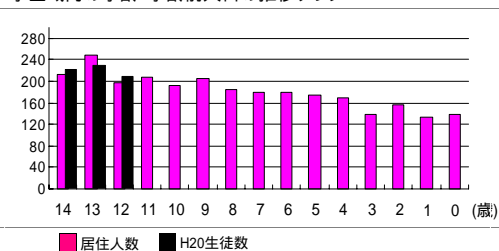
居住人数 214 248 197 207 192 206 185 179 180 175 168 138 157 134 139

H20生徒数 220 227 208

今後の生徒数の推移について

学区内に住む生徒数は減少が見込まれます。大きな住宅開発など、生徒数が大幅に増加する要因は今のところ見込まれていません。

学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

生徒数が大きく減少する可能性があります。各年代とも4から6学級規模の人数が居住しており、今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

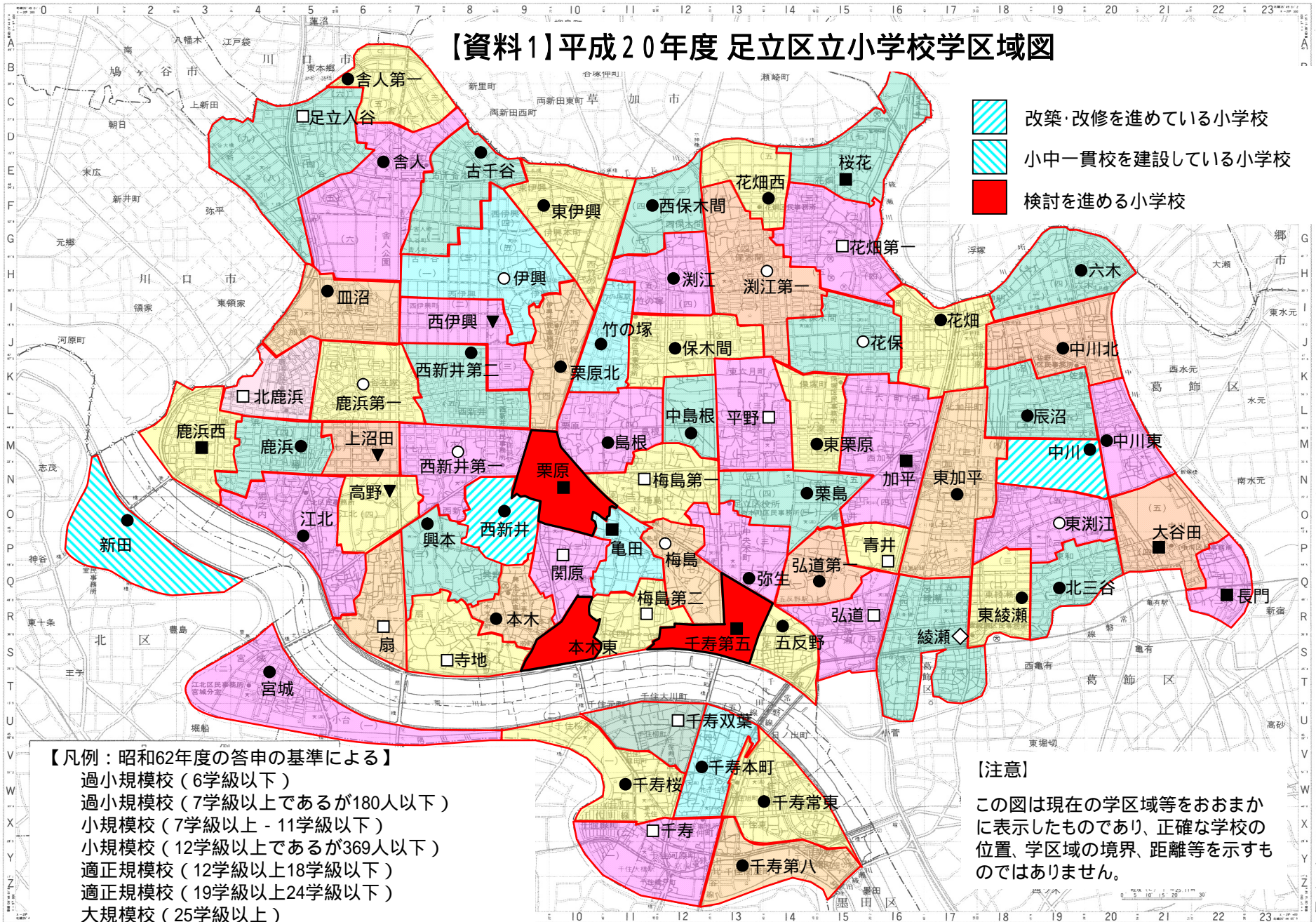


# 資料編

- 資料1 平成20年度 足立区立小学校学区域図
- 資料2 平成20年度 足立区立中学校学区域図
- 資料3 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧
- 資料4 昭和54年度以降の児童・生徒数等の推移
- 資料5 平成7年度以降の学校規模（学級数）の推移
- 資料6 平成20年度現在の学区域内居住人数一覧
- 資料7 区立小・中学校の建設年次一覧



# 【資料1】平成20年度 足立区立小学校学区区域図



- 改築・改修を進めている小学校
- 小中一貫校を建設している小学校
- 検討を進める小学校

**【凡例：昭和62年度の答申の基準による】**

- 過小規模校（6学級以下）
- 過小規模校（7学級以上であるが180人以下）
- 小規模校（7学級以上 - 11学級以下）
- 小規模校（12学級以上であるが369人以下）
- 適正規模校（12学級以上18学級以下）
- 適正規模校（19学級以上24学級以下）
- 大規模校（25学級以上）
- 大規模校（25学級未満であるが841人以上）

**【注意】**

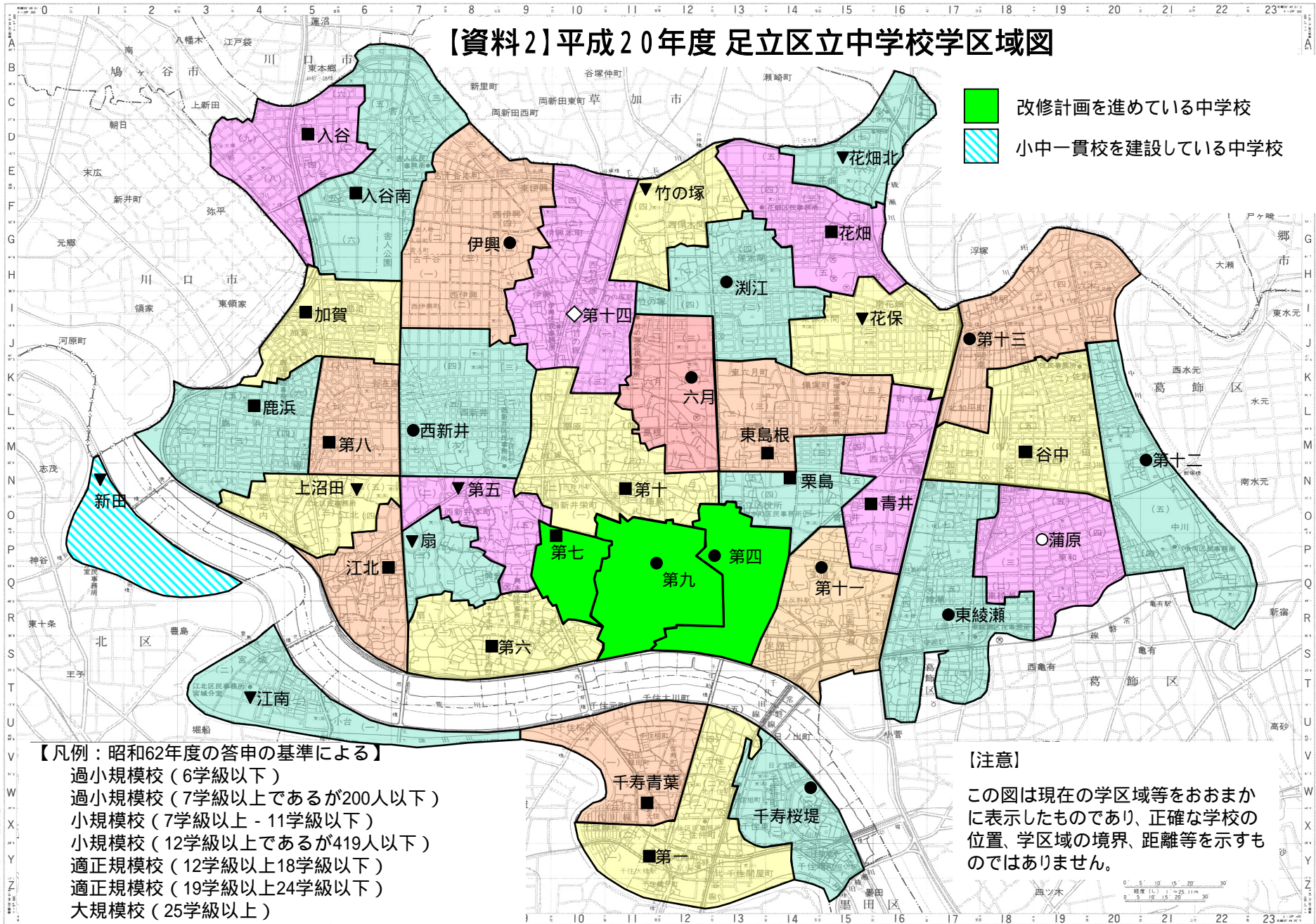
この図は現在の学区区域をおおまかに表示したものであり、正確な学校の位置、学区区域の境界、距離等を示すものではありません。

1. この図は「足立区立小学校学区区域図」を基に作成したものであり、正確な学校の位置、学区区域の境界、距離等を示すものではありません。  
 2. この図は足立区管内は隣接する市、町の境界も併せて表示したものではありません。許可なく複製を禁じます。

調査印刷 緑川地図印刷株式会社

東京都足立区

# 【資料2】平成20年度 足立区立中学校学区域図



- 改修計画を進めている中学校
- 小中一貫校を建設している中学校

【凡例：昭和62年度の答申の基準による】

- 過小規模校（6学級以下）
- 過小規模校（7学級以上であるが200人以下）
- 小規模校（7学級以上 - 11学級以下）
- 小規模校（12学級以上であるが419人以下）
- 適正規模校（12学級以上18学級以下）
- 適正規模校（19学級以上24学級以下）
- 大規模校（25学級以上）
- 大規模校（25学級未満であるが881人以上）

【注意】  
この図は現在の学区域等をおおまかに表示したものであり、正確な学校の位置、学区域の境界、距離等を示すものではありません。

発行印刷 緑川地図印刷株式会社

東京都足立区

1. この図は「足立区立中学校及び小学校」の縮小版である。2. この図は足立区内は隣接する市、町の縮小版を併用して作成したものである。許可なく複製を禁ずる。



【資料3】平成20年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧（小学校）

平成20年5月1日現在

行政 番号	学校名	児 童 数							学 級 数							19年度 学級数	学 級 増減数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		
01	千寿小学校	56	61	63	52	51	70	353	2	2	2	2	2	2	12	12	
02	千寿本町小学校	104	68	67	100	77	106	522	3	2	2	3	2	3	15	15	
03	千寿双葉小学校	59	42	58	65	49	53	326	2	2	2	2	2	2	12	11	1
04	千寿常東小学校	84	80	68	80	94	98	504	3	2	2	2	3	3	15	16	-1
05	千寿第五小学校	61	34	49	21	43	36	244	2	1	2	1	2	1	9	8	1
06	千寿桜小学校	71	75	82	67	82	81	458	2	2	3	2	3	3	15	15	
07	千寿第八小学校	72	70	64	57	66	61	390	2	2	2	2	2	2	12	12	
08	西新井小学校	87	84	96	100	80	115	562	3	3	3	3	2	3	17	17	
09	西新井第一小学校	90	103	103	119	123	110	648	3	3	3	3	4	3	19	19	
10	西新井第二小学校	104	84	73	104	101	112	578	3	3	2	3	3	3	17	17	
11	西伊興小学校	35	32	37	34	36	35	209	1	1	1	1	1	1	6	7	-1
12	興本小学校	113	114	102	98	93	92	612	3	3	3	3	3	3	18	18	
13	本木小学校	64	54	76	82	59	62	397	2	2	2	3	2	2	13	12	1
14	本木東小学校	10	19	11	18	17	23	98	1	1	1	1	1	1	6	6	
15	寺地小学校	53	55	41	46	47	55	297	2	2	2	2	2	2	12	12	
16	関原小学校	57	65	62	51	53	63	351	2	2	2	2	2	2	12	12	
17	江北小学校	59	46	62	72	67	80	386	2	2	2	2	2	2	12	12	
18	高野小学校	33	28	27	25	30	34	177	1	1	1	1	1	1	6	6	
19	扇小学校	51	55	49	56	42	59	312	2	2	2	2	2	2	12	12	
20	鹿浜小学校	63	72	78	70	73	64	420	2	2	2	2	2	2	12	12	
21	鹿浜第一小学校	130	108	95	118	126	122	699	4	3	3	3	4	4	21	21	
22	北鹿浜小学校	57	60	51	55	62	61	346	2	2	2	2	2	2	12	12	
23	鹿浜西小学校	56	42	51	40	48	47	284	2	2	2	1	2	2	11	11	
24	上沼田小学校	26	10	19	27	29	22	133	1	1	1	1	1	1	6	6	
25	皿沼小学校	73	67	63	68	49	59	379	2	2	2	2	2	2	12	12	
26	新田小学校	75	83	69	59	80	80	446	2	3	2	2	2	2	13	12	1
27	宮城小学校	59	74	52	69	72	67	393	2	2	2	2	2	2	12	12	
28	舎人小学校	69	98	91	88	97	87	530	2	3	3	3	3	3	17	18	-1
29	舎人第一小学校	61	77	50	69	69	66	392	2	2	2	2	2	2	12	12	
30	足立入谷小学校	43	45	51	51	50	48	288	2	2	2	2	2	2	12	12	
31	古千谷小学校	106	98	102	97	78	75	556	3	3	3	3	2	2	16	15	1
32	梅島小学校	146	107	107	136	126	135	757	4	3	3	4	4	4	22	22	
33	梅島第一小学校	47	48	59	46	55	68	323	2	2	2	2	2	2	12	12	
34	梅島第二小学校	45	57	64	60	71	50	347	2	2	2	2	2	2	12	12	
35	島根小学校	107	91	100	90	99	65	552	3	3	3	3	3	2	17	17	
36	中島根小学校	88	91	89	90	92	103	553	3	3	3	3	3	3	18	17	1
37	亀田小学校	37	38	39	54	49	34	251	1	1	1	2	2	1	8	9	-1
38	栗原小学校	51	51	45	33	38	32	250	2	2	2	1	1	1	9	8	1
39	栗原北小学校	86	85	89	64	76	75	475	3	3	3	2	2	2	15	15	
40	栗島小学校	90	95	72	96	76	84	513	3	3	2	3	2	3	16	16	
41	加平小学校	44	29	47	48	59	41	268	2	1	2	2	2	2	11	10	1
42	東栗原小学校	92	78	87	91	71	80	499	3	2	3	3	2	2	15	15	
43	平野小学校	66	83	50	47	57	66	369	2	3	2	2	2	2	13	12	1
44	弥生小学校	96	101	96	93	92	89	567	3	3	3	3	3	3	18	17	1
45	五反野小学校	69	96	98	95	92	62	512	2	3	3	3	3	2	16	16	
46	弘道小学校	50	59	59	68	59	62	357	2	2	2	2	2	2	12	12	
47	弘道第一小学校	67	69	78	81	86	76	457	2	2	2	3	3	3	15	15	
48	青井小学校	44	60	60	61	67	69	361	2	2	2	2	2	2	12	12	
49	綾瀬小学校	127	140	154	156	137	145	859	4	4	4	4	4	4	24	25	-1
50	東綾瀬小学校	80	67	58	76	66	60	407	2	2	2	2	2	2	12	12	
51	東加平小学校	104	91	113	108	100	96	612	3	3	3	3	3	3	18	18	

行政 番号	学校名	児 童 数							学 級 数							19年度 学級数	学 級 増減数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		
52	東渕江小学校	129	136	120	123	115	134	757	4	4	3	4	3	4	22	22	
53	中川小学校	95	107	89	87	91	77	546	3	3	3	3	3	2	17	17	
54	中川北小学校	101	93	99	96	72	99	560	3	3	3	3	2	3	17	16	1
55	辰沼小学校	70	91	81	119	95	107	563	2	3	3	3	3	3	17	18	-1
56	中川東小学校	59	66	75	79	70	85	434	2	2	2	2	2	3	13	13	
57	北三谷小学校	63	88	69	89	70	65	444	2	3	2	3	2	2	14	15	-1
58	大谷田小学校	38	62	67	66	72	65	370	1	2	2	2	2	2	11	12	-1
59	長門小学校	53	36	44	38	24	29	224	2	1	2	1	1	1	8	8	
60	花畑小学校	76	83	65	78	53	49	404	2	3	2	2	2	2	13	12	1
61	花畑第一小学校	45	60	51	50	73	49	328	2	2	2	2	2	2	12	12	
62	花畑西小学校	72	74	93	74	87	110	510	2	2	3	2	3	3	15	16	-1
63	桜花小学校	35	58	48	45	71	62	319	1	2	2	2	2	2	11	12	-1
64	花保小学校	111	125	96	106	112	108	658	3	4	3	3	3	3	19	20	-1
65	六木小学校	107	71	88	81	88	96	531	3	2	3	3	3	3	17	17	
66	渕江小学校	101	105	90	100	84	77	557	3	3	3	3	3	2	17	17	
67	渕江第一小学校	134	127	110	134	120	96	721	4	4	3	4	3	3	21	20	1
68	西保木間小学校	63	81	79	54	67	78	422	2	3	2	2	2	2	13	13	
69	保木間小学校	106	105	104	106	115	103	639	3	3	3	3	3	3	18	18	
70	竹の塚小学校	74	78	74	84	87	72	469	2	2	2	3	3	2	14	15	-1
71	伊興小学校	102	146	140	118	118	139	763	3	4	4	3	3	4	21	23	-2
72	東伊興小学校	111	104	97	106	92	95	605	3	3	3	3	3	3	18	18	
合 計		5,362	5,435	5,305	5,484	5,387	5,430	32,403	169	172	169	172	169	168	1,019	1,020	-1

弘道第一小学校の6年生は、2学級規模の人数ですが、学級維持制度を適用して3学級としています。

学級維持制度とは、1年生から2年生、5年生から6年生に進級する場合に限り、学級経営を円滑に進めるために学級数を維持できる制度です。

【資料3】平成20年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧（中学校）

平成20年5月1日現在

行政 番号	学 校 名	生 徒 数				学 級 数					19年度 学級数	学 級 増減数
		1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	複式	合計		
01	第一中学校	75	102	103	280	2	3	3		8	10	-2
02	千寿桜堤中学校	184	150	195	529	5	4	5		14	15	-1
03	千寿青葉中学校	134	142	81	357	4	4	3		11	10	1
04	第四中学校	227	189	268	684	6	5	7		18	18	0
05	第五中学校	80	29	40	149	2	1	2		5	5	0
06	第六中学校	77	110	103	290	2	3	3		8	8	0
07	第七中学校	94	120	105	319	3	3	3		9	10	-1
08	第八中学校	103	94	68	265	3	3	2		8	7	1
09	第九中学校	172	233	215	620	5	6	6		17	19	-2
10	第十中学校	134	138	97	369	4	4	3		11	10	1
11	第十一中学校	220	228	232	680	6	6	6		18	18	0
12	第十二中学校	173	177	172	522	5	5	5		15	15	0
13	第十三中学校	172	207	146	525	5	6	4		15	13	2
14	第十四中学校	308	312	307	927	8	8	8		24	25	-1
15	江南中学校	48	42	55	145	2	2	2		6	5	1
16	新田中学校	31	58	48	137	1	2	2		5	6	-1
17	江北中学校	68	108	124	300	2	3	4		9	11	-2
18	鹿浜中学校	10	112	125	247	1	3	4		8	10	-2
19	東島根中学校	89	89	59	237	3	3	2		8	8	0
20	洲江中学校	187	228	205	620	5	6	6		17	16	1
21	竹の塚中学校	54	70	62	186	2	2	2		6	6	0
22	東綾瀬中学校	214	226	221	661	6	6	6		18	18	0
23	青井中学校	65	86	70	221	2	3	2		7	7	0
24	花畑中学校	116	75	84	275	3	2	3		8	9	-1
25	蒲原中学校	227	225	266	718	6	6	7		19	19	0
26	西新井中学校	141	160	178	479	4	4	5		13	14	-1
27	入谷中学校	98	66	103	267	3	2	3		8	9	-1
28	上沼田中学校	55	79	48	182	2	2	2		6	6	0
29	伊興中学校	189	181	161	531	5	5	5		15	15	0
30	花畑北中学校	44	62	77	183	2	2	2		6	6	0
31	谷中中学校	145	114	55	314	4	3	2		9	7	2
32	花保中学校	35	74	76	185	1	2	2		5	7	-2
33	栗島中学校	117	133	104	354	3	4	3		10	10	0
34	扇中学校	72	58	57	187	2	2	2		6	6	0
35	加賀中学校	142	113	97	352	4	3	3		10	8	2
36	入谷南中学校	69	86	46	201	2	3	2		7	6	1
37	六月中学校	208	227	220	655	6	6	6		18	18	0
小 計		4,577	4,903	4,673	14,153	131	137	137		405	410	-5
38	四中夜間（一 般）	2	6	24	32	1	1	1		3	3	0
39	四中夜間（日本語）	2	2	42	46				3	3	3	0
合 計		4,581	4,911	4,739	14,231	132	138	138	3	411	416	-5

第五中学校の3年生は、1学級規模の人数ですが、学級維持制度を適用して2学級としています。  
学級維持制度とは、2年生から3年生に進級する場合に限り、学級経営を円滑に進めるために学級数を維持できる制度です。

【資料3】平成20年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧（特別支援学級）

【小学校】

平成20年5月1日現在

障がい種別	学校名	学級数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	備考
知的障がい	千寿第五小学校	2	1	3	0	2	2	1	9	
知的障がい	本木小学校	2	3	1	2	2	3	0	11	
知的障がい	関原小学校	2	1	2	2	4	2	2	13	
知的障がい	高野小学校	3	4	3	2	3	3	3	18	
知的障がい	鹿浜第一小学校	3	1	4	4	2	8	4	23	
知的障がい	宮城小学校	1	1	0	1	0	1	0	3	
知的障がい	梅島第二小学校	1	1	2	0	0	3	1	7	
知的障がい	青井小学校	2	1	2	4	2	2	3	14	
知的障がい	東淵江小	2	3	1	1	1	2	5	13	
知的障がい	花畑小学校	3	5	1	1	5	4	7	23	
知的障がい	淵江小学校	3	6	3	2	7	0	2	20	
知的障がい	古千谷小学校	3	1	4	6	3	5	1	20	
知的障がい	平野小学校	3	3	2	5	2	3	2	17	
知的障がい	六木小学校	2	1	2	2	2	4	2	13	
知的障がい	千寿桜小学校	2	2	1	2	1	3	0	9	
知的障がい	桜花小学校	1	0	3	0	0	1	2	6	
知的障がい	千寿常東小学校	2	0	2	1	2	3	3	11	
	計	37	34	36	35	38	49	38	230	
弱視	五反野小学校	1	2	0	2	4	0	1	9	
	計	1	2	0	2	4	0	1	9	
難聴	弥生小学校	1	1	1	0	1	0	0	3	
難聴	中川東小学校	1	0	0	1	0	0	1	2	
難聴	千寿本町小学校	1	1	2	1	0	0	1	5	
	計	3	2	3	2	1	0	2	10	
言語障がい	弥生小学校	4	1	16	10	15	13	9	64	
言語障がい	中川東小学校	2	2	4	5	5	4	2	22	
言語障がい	千寿本町小学校	3	2	14	12	17	8	3	56	
	計	9	5	34	27	37	25	14	142	
情緒障がい	辰沼小学校	2	0	4	1	3	3	6	17	
情緒障がい	保木間小学校	5	3	5	15	7	10	5	45	
情緒障がい	上沼田小学校	3	4	4	4	3	4	5	24	
	計	10	7	13	20	13	17	16	86	

【中学校】

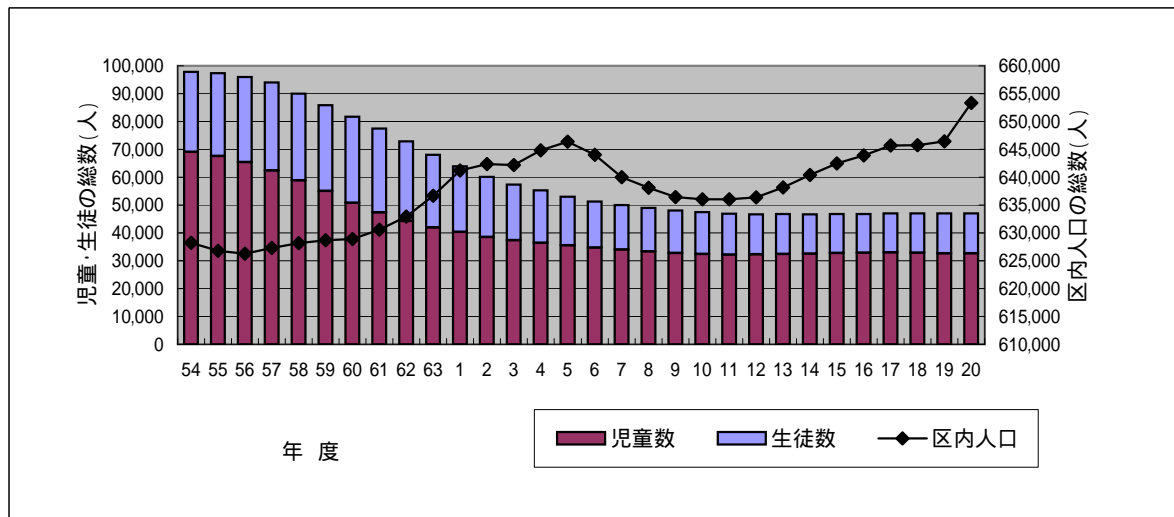
平成20年5月1日現在

障がい種別	学校名	学級数	1年	2年	3年				計	備考
知的障がい	第一中学校	3	8	10	5				23	
知的障がい	第六中学校	2	5	8	3				16	
知的障がい	第七中学校	4	5	12	9				26	
知的障がい	第八中学校	2	5	5	4				14	
知的障がい	第十三中学校	2	4	5	6				15	
知的障がい	東綾瀬中学校	3	7	8	3				18	
知的障がい	伊興中学校	2	4	3	7				14	
知的障がい	栗島中学校	4	14	9	6				29	
	計	22	52	60	43				155	
情緒障がい	第十中	2	0	3	12				15	
情緒障がい	花保中	5	2	20	22				44	
	計	7	2	23	34				59	

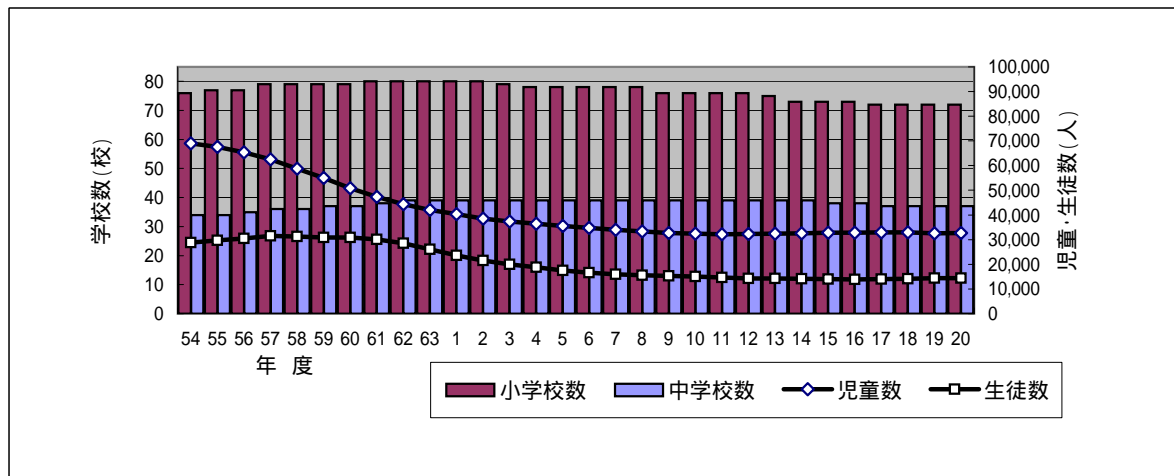
【資料4】昭和54年度以降の児童・生徒数等の推移

年	児童・生徒数			人口比 (a)/(b)	学校数			区内人口 (b)
	児童数	生徒数	合計(a)		小学校	中学校	合計	
54	69,033	28,836	97,869	15.6%	76	34	110	628,213
55	67,590	29,713	97,303	15.5%	77	34	111	626,781
56	65,430	30,493	95,923	15.3%	77	35	112	626,250
57	62,457	31,566	94,023	15.0%	79	36	115	627,276
58	58,814	31,234	90,048	14.3%	79	36	115	628,148
59	55,004	30,832	85,836	13.7%	79	37	116	628,653
60	50,824	30,853	81,677	13.0%	79	37	116	628,923
61	47,383	30,094	77,477	12.3%	80	38	118	630,556
62	44,306	28,558	72,864	11.5%	80	39	119	632,922
63	41,972	26,077	68,049	10.7%	80	39	119	636,661
1	40,315	23,548	63,863	10.0%	80	39	119	641,224
2	38,518	21,568	60,086	9.4%	80	39	119	642,347
3	37,364	20,022	57,386	8.9%	79	39	118	642,177
4	36,436	18,820	55,256	8.6%	78	39	117	644,827
5	35,520	17,447	52,967	8.2%	78	39	117	646,395
6	34,714	16,549	51,263	8.0%	78	39	117	644,005
7	33,992	16,006	49,998	7.8%	78	39	117	640,005
8	33,381	15,592	48,973	7.7%	78	39	117	638,099
9	32,711	15,361	48,072	7.6%	76	39	115	636,427
10	32,459	15,005	47,464	7.5%	76	39	115	636,035
11	32,190	14,668	46,858	7.4%	76	39	115	636,041
12	32,293	14,331	46,624	7.3%	76	39	115	636,370
13	32,441	14,288	46,729	7.3%	75	39	114	638,157
14	32,536	14,127	46,663	7.3%	73	39	112	640,387
15	32,769	14,037	46,806	7.3%	73	38	111	642,460
16	32,846	13,932	46,778	7.3%	73	38	111	643,909
17	32,989	13,970	46,959	7.3%	72	37	109	645,678
18	32,919	14,120	47,039	7.3%	72	37	109	645,770
19	32,602	14,366	46,968	7.3%	72	37	109	646,461
20	32,633	14,386	47,019	7.2%	72	37	109	653,323

昭和54年度以降の児童・生徒数の総数と区内人口の推移



昭和54年度以降の学校数の推移



[数値の基準日]

- ・児童・生徒数は、各年5月1日現在の数値です。
- ・児童・生徒数には、特別支援学級（固定）の人数が含まれます。
- ・生徒数には、第四中学校（夜間）の人数が含まれます。
- ・区内人口は、各年1月1日現在の数値です。
- ・区内人口には、外国人登録人数を含みます。
- ・人口比は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

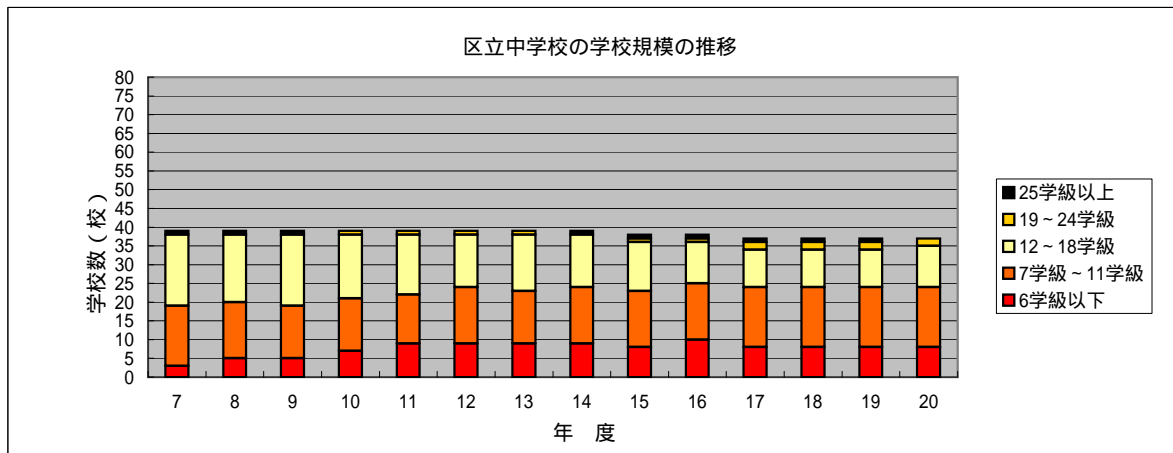
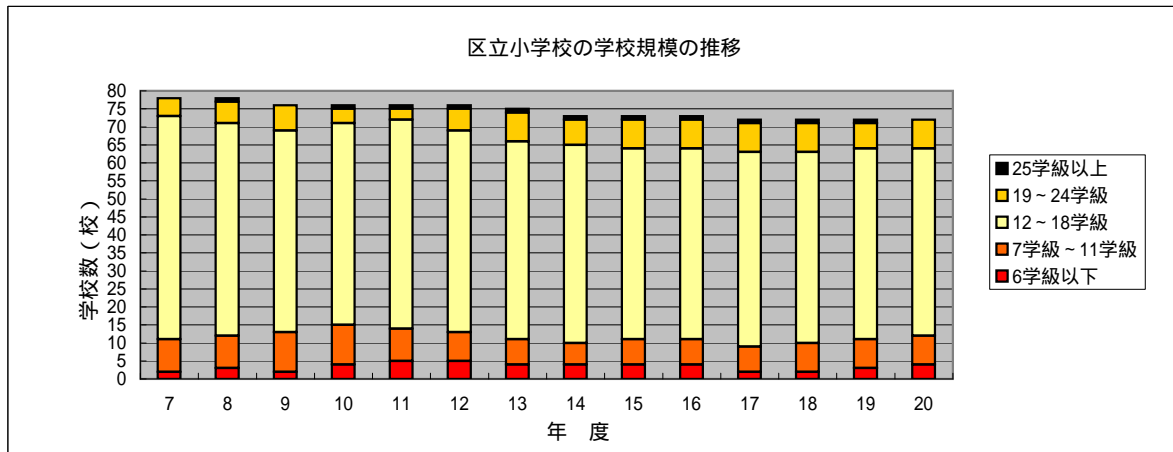
【資料5】平成7年度以降の学校規模（学級数）の推移

年度	小学校 (単位:校)														中学校 (単位:校)														年度
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
25学級以上	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	25学級以上
19~24学級	5	6	7	4	3	6	8	7	8	8	8	8	7	8	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	2	2	2	2	19~24学級
12~18学級	62	59	56	56	58	56	55	55	53	53	54	53	53	52	19	18	19	17	16	14	15	14	13	11	10	10	10	11	12~18学級
7学級~11学級	9	9	11	11	9	8	7	6	7	7	7	8	8	8	16	15	14	14	13	15	14	15	15	15	16	16	16	16	7学級~11学級
6学級以下	2	3	2	4	5	5	4	4	4	4	2	2	3	4	3	5	5	7	9	9	9	9	8	10	8	8	8	8	6学級以下
計	78	78	76	76	76	76	75	73	73	73	72	72	72	72	39	39	39	39	39	39	39	39	38	38	37	37	37	37	計

区立学校の学校規模の推移

[数値の基準日]

・各年5月1日現在の数値です。



【資料6】平成20年度現在の学区内居住人数一覧

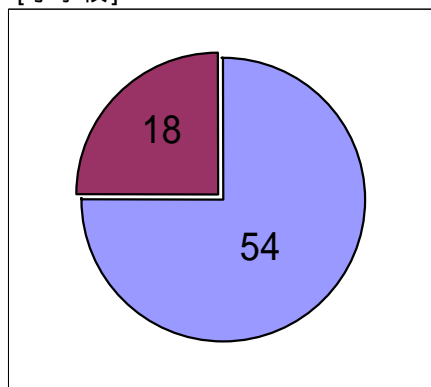
居住人数の傾向

	傾向		校数
	減少	増加	
小学校	54	18	72
中学校	26	11	37

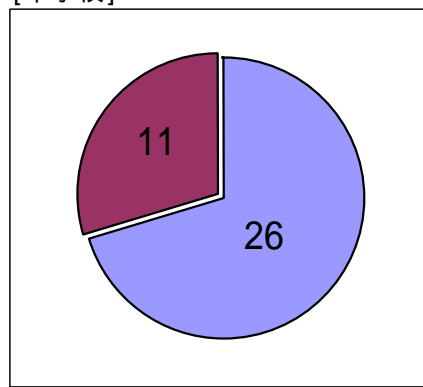
[数値の基準日]

- ・平成20年5月1日現在の数値です。
- ・(a)(b)の平均値は、小数点第二位で四捨五入しています。

[小学校]



[中学校]



■ 減少傾向 ■ 増加傾向 (単位:校)

詳細データ

【小学校】

行政 番号	学校名	学区内に住んでいる児童数(a)																(a)の平 均値	(b)の平 均値	(a)(b) の差	傾向	行政 番号
		学区内に住んでいる児童数(a)										学区内に住んでいる入学前人数(b)										
		14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳						
01	千寿小学校	81	86	66	86	64	64	71	76	70	61	62	73	71	67	80	71.8	69.0	-2.8	減少	01	
02	千寿本町小学校	50	40	55	56	53	55	53	63	70	74	74	66	74	80	70	58.3	73.0	14.7		02	
03	千寿双葉小学校	69	70	88	72	65	68	73	54	70	75	54	67	64	77	57	67.0	65.7	-1.3	減少	03	
04	千寿常東小学校	88	92	86	97	93	84	76	81	85	96	87	86	93	79	89	86.0	88.3	2.3		04	
05	千寿第五小学校	60	58	48	52	52	45	60	44	64	61	63	56	67	63	67	52.8	62.8	10.0		05	
06	千寿桜小学校	66	92	60	91	82	89	73	72	78	74	81	79	77	91	90	80.8	82.0	1.2		06	
07	千寿第八小学校	61	68	84	65	77	64	64	68	65	83	69	68	71	76	64	67.2	71.8	4.6		07	
08	西新井小学校	97	84	79	105	67	90	96	84	82	77	86	60	72	56	66	87.3	69.5	-17.8	減少	08	
09	西新井第一小学校	86	80	93	84	113	90	85	90	74	90	85	71	65	78	82	89.3	78.5	-10.8	減少	09	
10	西新井第二小学校	95	80	90	105	88	98	69	66	89	92	75	87	84	72	80	85.8	81.7	-4.1	減少	10	
11	西伊興小学校	70	65	61	69	69	59	65	72	82	75	62	58	64	51	63	69.3	62.2	-7.1	減少	11	
12	興本小学校	91	94	88	86	88	85	92	109	95	90	70	75	72	68	78	92.5	75.5	-17.0	減少	12	
13	本木小学校	65	55	47	56	49	73	55	49	60	52	55	52	55	53	66	57.0	55.5	-1.5	減少	13	
14	本木東小学校	27	27	24	27	34	32	31	26	22	33	28	21	28	26	31	28.7	27.8	-0.9	減少	14	
15	寺地小学校	80	75	64	67	57	66	55	67	70	57	59	57	57	58	47	63.7	55.8	-7.9	減少	15	
16	関原小学校	54	76	59	52	56	53	61	56	57	56	54	50	42	59	61	55.8	53.7	-2.1	減少	16	
17	江北小学校	76	80	53	78	70	72	68	52	65	67	46	54	60	56	67	67.5	58.3	-9.2	減少	17	
18	高野小学校	40	40	31	45	33	34	29	31	39	35	27	33	45	33	39	35.2	35.3	0.1		18	
19	扇小学校	49	64	51	64	54	50	58	62	60	47	55	44	57	62	47	58.0	52.0	-6.0	減少	19	
20	鹿浜小学校	49	60	50	51	69	54	71	58	70	51	52	65	45	63	57	62.2	55.5	-6.7	減少	20	
21	鹿浜第一小学校	130	129	131	142	127	124	119	116	133	116	101	94	81	96	91	126.8	96.5	-30.3	減少	21	
22	北鹿浜小学校	70	72	57	67	65	68	56	58	57	65	56	67	35	52	53	61.8	54.7	-7.1	減少	22	
23	鹿浜西小学校	57	60	47	46	52	44	48	51	52	44	46	44	43	36	34	48.8	41.2	-7.6	減少	23	
24	上沼田小学校	42	41	34	23	28	40	23	26	22	16	27	23	21	19	22	27.0	21.3	-5.7	減少	24	
25	皿沼小学校	73	83	80	61	56	82	62	64	83	77	69	55	51	45	67	68.0	60.7	-7.3	減少	25	
		小計1 10,013										小計1 9,290										





【中学校】

行政 番号	学校名	学区内に住んでいる生徒数(a)															(a)の平 均値	(b)の平 均値	(a)(b) の差	傾向	行政 番号	
		学区内に住んでいる入学前人数(b)																				
		14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳						
01	第一中学校	170	174	176	184	179	160	176	191	181	198	186	184	200	200	194	173.3	186.1	12.8		01	
02	千寿桜堤中学校	110	112	115	120	108	107	88	97	109	116	106	109	109	102	109	112.3	106.7	-5.6	減少	02	
03	千寿青葉中学校	135	162	148	163	147	157	146	126	148	149	135	146	141	168	147	148.3	147.8	-0.5	減少	03	
04	第四中学校	139	178	113	136	119	123	134	125	136	124	157	143	144	131	146	143.3	134.8	-8.5	減少	04	
05	第五中学校	142	128	131	141	122	149	142	132	129	136	138	102	126	116	137	133.7	130.8	-2.9	減少	05	
06	第六中学校	154	136	121	138	120	142	122	121	129	125	115	116	118	112	118	137.0	123.0	-14.0	減少	06	
07	第七中学校	59	83	65	56	64	64	69	64	65	57	65	53	46	66	66	69.0	61.3	-7.7	減少	07	
08	第八中学校	143	135	129	121	118	128	109	116	122	110	104	99	89	102	112	135.7	110.8	-24.9	減少	08	
09	第九中学校	204	202	178	178	211	206	186	194	212	205	186	200	193	187	208	194.7	197.2	2.5		09	
10	第十中学校	190	243	223	204	231	211	237	237	235	258	243	296	280	258	266	218.7	246.3	27.6		10	
11	第十一中学校	218	242	169	186	222	227	219	206	181	177	167	184	175	181	184	209.7	192.4	-17.3	減少	11	
12	第十二中学校	184	170	172	172	165	187	193	178	163	171	170	180	163	206	178	175.3	177.2	1.9		12	
13	第十三中学校	200	218	176	198	196	212	216	187	247	205	198	183	167	206	165	198.0	198.3	0.3		13	
14	第十四中学校	197	210	250	220	195	197	227	243	232	230	217	196	187	210	240	219.0	216.2	-2.8	減少	14	
15	江南中学校	73	72	72	74	83	77	71	89	75	74	94	83	68	92	72	72.3	79.3	7.0		15	
16	新田中学校	69	92	46	87	84	66	70	88	80	90	130	129	129	167	163	69.0	106.9	37.9		16	
17	江北中学校	97	113	80	118	85	97	93	90	101	76	86	75	92	89	83	96.7	90.4	-6.3	減少	17	
18	鹿浜中学校	144	148	124	126	155	127	145	128	148	125	127	143	103	120	111	138.7	129.8	-8.9	減少	18	
19	東島根中学校	130	146	152	142	143	133	131	158	157	127	129	131	137	122	127	142.7	136.4	-6.3	減少	19	
20	洲江中学校	183	205	203	164	188	201	199	219	220	194	199	172	185	186	167	197.0	191.2	-5.8	減少	20	
21	竹の塚中学校	122	122	118	143	120	138	137	141	130	129	123	124	119	106	131	120.7	128.4	7.7		21	
22	東綾瀬中学校	229	252	281	254	240	246	258	238	252	263	249	224	221	292	309	254.0	253.8	-0.2	減少	22	
23	青井中学校	138	129	122	107	122	114	106	99	98	108	120	81	102	103	107	129.7	105.6	-24.1	減少	23	
24	花畑中学校	150	129	148	129	140	111	113	128	110	108	117	98	100	109	99	142.3	113.5	-28.8	減少	24	
25	蒲原中学校	229	224	253	228	224	242	216	253	229	241	246	265	253	264	285	235.3	245.5	10.2		25	
26	西新井中学校	219	201	216	245	220	224	191	192	213	215	184	187	180	166	182	212.0	199.9	-12.1	減少	26	
27	入谷中学校	68	73	85	87	80	78	83	71	68	70	51	52	50	45	48	75.3	65.3	-10.0	減少	27	
28	上沼田中学校	58	63	38	58	61	49	52	43	51	55	32	43	50	42	50	53.0	48.8	-4.2	減少	28	
29	伊興中学校	172	198	209	200	225	207	219	209	204	222	190	184	187	190	167	193.0	200.3	7.3		29	
30	花畑北中学校	82	80	64	63	75	49	54	65	44	65	62	47	56	48	47	75.3	56.3	-19.0	減少	30	
31	谷中中学校	246	280	241	260	230	268	232	221	212	222	216	211	180	224	226	255.7	225.2	-30.5	減少	31	
32	花保中学校	146	172	145	144	156	148	135	161	146	122	123	134	135	137	149	154.3	140.8	-13.5	減少	32	
33	栗島中学校	135	139	141	143	130	147	124	145	134	129	120	127	121	130	124	138.3	131.2	-7.1	減少	33	
34	扇中学校	91	94	88	86	88	85	92	109	95	90	70	75	72	68	78	91.0	84.0	-7.0	減少	34	
35	加賀中学校	117	134	117	110	104	128	100	108	127	114	103	96	72	80	88	122.7	102.5	-20.2	減少	35	
36	入谷南中学校	129	134	136	133	151	152	140	180	140	132	150	129	128	128	135	133.0	141.5	8.5		36	
37	六月中学校	214	248	197	207	192	206	185	179	180	175	168	138	157	134	139	219.7	171.7	-48.0	減少	37	
合計		16,769			合計												64,526		減少傾向数		26	
																			減少校割合		70.3%	

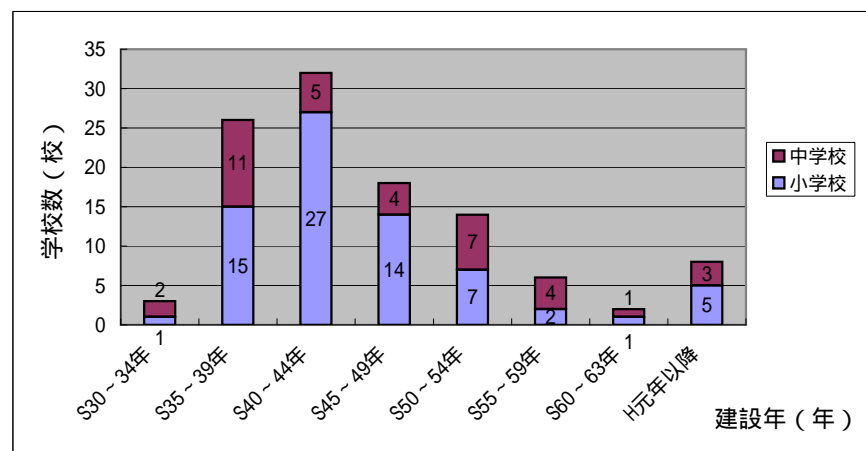
【資料7】区立小・中学校の建設年次一覧

建設年代別学校数

	小学校	中学校	計
S30～34年	1	2	3
S35～39年	15	11	26
S40～44年	27	5	32
S45～49年	14	4	18
S50～54年	7	7	14
S55～59年	2	4	6
S60～63年	1	1	2
H元年以降	5	3	8
	72	37	109

【数値の基準日】

- ・平成20年12月31日現在の数値です。
- ・建設年は、最も古い建物の建設年です。
- ・網掛けは、改修等を実施中または計画中の学校です。



詳細データ

【小学校】

連番	行政番号	学校名	開校年月日	建設年	敷地面積	延床面積	耐震最低 I S 値	50年到達	連番
1	08	西新井小学校	昭和4年4月1日	昭和33年	9,075	6,285	平成22年改築終了予定	H20	1
2	05	千寿第五小学校	大正14年4月1日	昭和35年	6,553	5,640	校舎棟・0.72～0.78 (H20補強済) 体育館・0.78 (H20補強済)	H22	2
3	12	興本小学校	昭和37年4月1日	昭和37年	13,344	5,766	校舎棟・0.74～0.85 (H16補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H24	3
4	18	高野小学校	昭和38年4月1日	昭和37年	12,964	6,106	校舎棟・0.76～0.79 (H13補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H24	4
5	53	中川小学校	昭和37年4月1日	昭和37年	12,861	4,778	平成22年改修終了予定	H24	5
6	04	千寿常東小学校	平成14年4月1日	昭和38年	9,563	6,568	校舎棟・0.72 (H16補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H25	6
7	14	本木東小学校	昭和32年4月1日	昭和38年	6,725	4,905	校舎棟・0.74～0.81 (H13補強済) 体育館・0.81 (H13補強済)	H25	7
8	41	加平小学校	昭和40年4月1日	昭和38年	11,387	6,252	校舎棟・0.30～0.38 (H21補強工事予定) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H25	8
9	49	綾瀬小学校	昭和37年4月1日	昭和38年	11,396	6,556	校舎棟・0.71～0.77 (H15補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H25	9
10	52	東洲江小学校	明治44年8月1日	昭和38年	9,134	6,667	校舎棟・0.71～0.74 (H20補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H25	10
11	60	花畑小学校	明治33年11月28日	昭和38年	10,867	6,043	校舎棟・0.71～0.72 (H18補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H25	11
12	61	花畑第一小学校	昭和40年4月1日	昭和38年	10,480	6,155	校舎棟・0.71～0.76 (H16補強済) 体育館・0.76 (H16補強済)	H25	12
13	10	西新井第二小学校	昭和39年9月1日	昭和39年	9,953	5,611	校舎棟・0.60以上 (H8補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H26	13
14	16	関原小学校	昭和7年4月1日	昭和39年	7,209	6,547	校舎棟および体育館・0.60以上 (S62補強済)	H26	14
15	27	宮城小学校	昭和22年4月1日	昭和39年	8,496	6,264	校舎棟・0.72～0.87 (H19補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H26	15
16	71	伊興小学校	明治9年10月16日	昭和39年	10,890	5,989	校舎棟・0.75 (H9、10補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H26	16
17	13	本木小学校	明治10年3月10日	昭和40年	6,527	5,652	校舎棟・0.81～0.82 (H12補強済) 体育館・0.81 (H12補強済)	H27	17
18	21	鹿浜第一小学校	昭和41年4月1日	昭和40年	12,636	6,022	校舎棟・0.71～0.76 (H9、10補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H27	18
19	33	梅島第一小学校	昭和8年4月11日	昭和40年	6,919	5,583	校舎棟および体育館・0.60以上 (H2補強済)	H27	19
20	37	亀田小学校	昭和31年4月1日	昭和40年	11,744	5,373	校舎棟・0.60以上 (H8補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H27	20
21	47	弘道第一小学校	昭和40年9月1日	昭和40年	10,918	5,975	校舎棟・0.76～0.86 (H18補強済) 体育館・0.77 (H18補強済)	H27	21
22	59	長門小学校	昭和39年4月1日	昭和40年	9,329	4,315	校舎棟・0.72～0.81 (H9、10補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H27	22

連番	行政番号	学校名	開校年月日	建設年	敷地面積	延床面積	耐震最低 I S 値	50年到達	連番
23	07	千寿第八小学校	昭和13年4月1日	昭和41年	9,439	6,532	校舎棟・0.72～0.89 (H20補強済) 体育館・0.89 (H20補強済)	H28	23
24	09	西新井第一小学校	昭和27年4月1日	昭和41年	10,904	6,191	校舎棟・0.71～0.72 (H19、20補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H28	24
25	17	江北小学校	明治7年11月1日	昭和41年	8,115	5,675	校舎棟・0.75～0.93 (H17補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H28	25
26	26	新田小学校	昭和23年4月1日	昭和41年	6,624	6,007	H22移転予定 (小中一貫校)	H28	26
27	44	弥生小学校	昭和28年4月1日	昭和41年	9,329	6,635	校舎棟・0.60以上 (H2補強済) 体育館・新耐震基準 (S57以降建築)	H28	27
28	58	大谷田小学校	昭和25年5月1日	昭和41年	10,599	4,726	校舎棟・0.74 (H19補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H28	28
29	66	洲江小学校	明治34年5月1日	昭和41年	9,729	6,351	校舎棟・0.71～0.72 (H20補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H28	29
30	34	梅島第二小学校	昭和19年6月1日	昭和42年	8,198	5,397	校舎棟・0.61 (H11、12補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H29	30
31	38	栗原小学校	昭和17年7月1日	昭和42年	6,105	4,542	校舎棟・0.72～0.79 (H18補強済) 体育館・0.89 (H18補強済)	H29	31
32	40	栗島小学校	昭和29年4月1日	昭和42年	9,405	5,330	校舎棟・0.71～0.74 (H14補強済) 体育館・0.71 (H14補強済)	H29	32
33	46	弘道小学校	明治11年5月28日	昭和42年	10,680	5,709	校舎棟・0.60以上 (S62補強済) 体育館・新耐震基準 (S57以降建築)	H29	33
34	67	洲江第一小学校	昭和42年4月1日	昭和42年	12,989	6,197	校舎棟・0.77～0.78 (H11補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H29	34
35	15	寺地小学校	昭和15年9月16日	昭和43年	9,637	6,229	校舎棟・0.75～0.96 (H12補強済) 体育館・0.78 (H12補強済)	H30	35
36	20	鹿浜小学校	昭和23年11月1日	昭和43年	8,118	5,428	校舎棟・0.78～0.83 (H12補強済) 体育館・0.83 (H12補強済)	H30	36
37	57	北三谷小学校	昭和30年2月1日	昭和43年	7,916	5,782	校舎棟・0.71～0.78 (H19補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H30	37
38	70	竹の塚小学校	昭和43年4月1日	昭和43年	11,593	6,221	校舎棟・0.60以上 (S63補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H30	38
39	01	千寿小学校	平成14年4月1日	昭和44年	7,681	4,747	校舎棟・0.60以上 (H2補強済) 体育館・新耐震基準 (S57以降建築)	H31	39
40	23	鹿浜西小学校	昭和44年4月1日	昭和44年	10,153	4,226	校舎棟・0.72～0.81 (H16補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H31	40
41	28	舎人小学校	明治26年1月28日	昭和44年	10,685	6,376	校舎棟・0.72～0.75 (H18補強済) 体育館・新耐震基準 (S57以降建築)	H31	41
42	51	東加平小学校	昭和44年4月1日	昭和44年	10,110	5,593	校舎棟・0.60以上 (H8補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H31	42
43	68	西保木間小学校	平成9年4月1日	昭和44年	9,945	5,569	校舎棟・0.74～0.77 (H17補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H31	43
44	19	扇小学校	昭和45年4月1日	昭和45年	8,059	5,027	校舎棟・0.71～0.75 (H14補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H32	44
45	42	東栗原小学校	昭和45年4月1日	昭和45年	10,963	5,723	校舎棟・0.72～0.73 (H15補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H32	45
46	45	五反野小学校	昭和27年9月1日	昭和45年	8,693	4,927	校舎棟・0.60以上 (H1補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H32	46
47	62	花畑西小学校	昭和46年4月1日	昭和45年	10,537	6,412	校舎棟・0.70～0.78 (H17補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H32	47
48	72	東伊興小学校	昭和46年4月1日	昭和46年	10,350	5,877	校舎棟・0.73～0.92 (H20補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H33	48
49	11	西伊興小学校	昭和47年4月1日	昭和47年	11,383	5,428	校舎棟・0.72～0.82 (H19補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H34	49
50	24	上沼田小学校	昭和47年4月1日	昭和47年	9,042	6,195	校舎棟・0.71～0.72 (H20補強済) 体育館・1.22 (H20補強済)	H34	50
51	54	中川北小学校	昭和47年4月1日	昭和47年	11,445	6,376	校舎棟・0.71 (H14補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H34	51
52	63	桜花小学校	平成9年4月1日	昭和47年	11,826	5,936	校舎棟・0.72～0.74 (H18補強済) 体育館・1.33 (H18補強済)	H34	52
53	64	花保小学校	昭和48年4月1日	昭和47年	9,707	5,639	校舎棟・0.75～0.86 (H19補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H34	53
54	22	北鹿浜小学校	昭和48年4月1日	昭和48年	10,275	5,698	校舎棟・0.74～0.82 (H14補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H35	54
55	48	青井小学校	昭和48年4月2日	昭和48年	9,114	4,660	校舎棟・0.71～0.73 (H19補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H35	55
56	69	保木間小学校	昭和34年9月1日	昭和48年	13,277	6,277	校舎棟・0.71～0.80 (H15補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H35	56
57	36	中島根小学校	昭和49年4月1日	昭和49年	11,522	4,935	校舎棟・0.74～0.77 (H16補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H36	57
58	30	足立入谷小学校	平成13年4月1日	昭和50年	10,665	5,668	校舎棟・0.71～1.03 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H37	58
59	31	古千谷小学校	昭和51年4月1日	昭和51年	9,198	5,048	校舎棟・0.77～0.83 (H20補強済) 体育館・0.77 (H20補強済)	H38	59
60	50	東綾瀬小学校	昭和51年4月1日	昭和51年	7,073	4,881	校舎棟・0.74～0.86 (H14補強済) 体育館・0.86 (H14補強済)	H38	60
61	39	栗原北小学校	昭和52年4月1日	昭和52年	9,426	5,820	校舎棟・0.73～0.79 (H20補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H39	61
62	43	平野小学校	昭和52年4月1日	昭和52年	8,384	6,068	校舎棟および体育館・0.76 (H19補強済)	H39	62
63	55	辰沼小学校	昭和53年4月1日	昭和53年	14,807	6,093	校舎棟・0.73～0.89 (H17補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H40	63
64	65	六木小学校	昭和54年4月1日	昭和54年	11,581	6,063	校舎棟・0.75～1.19 (H20補強済) 体育館・耐震診断中 (H21補強工事予定)	H41	64
65	56	中川東小学校	昭和55年4月1日	昭和55年	13,787	7,669	校舎棟・0.72～0.74 (H15補強済) 体育館・0.74 (H15補強済)	H42	65
66	25	血沼小学校	昭和57年4月1日	昭和57年	12,735	6,095	校舎棟・0.77～0.92 (H19補強済) 体育館・H21耐震診断予定 (H22補強工事予定)	H44	66
67	29	舎人第一小学校	昭和61年4月1日	昭和61年	9,471	8,969	校舎棟および体育館・新耐震基準 (S57以降建築)	H48	67
68	02	千寿本町小学校	平成3年4月1日	平成5年	6,252	8,889	校舎棟および体育館・新耐震基準 (S57以降建築)	H55	68
69	06	千寿桜小学校	平成4年4月1日	平成6年	8,175	8,987	校舎棟および体育館・新耐震基準 (S57以降建築)	H56	69
70	32	梅島小学校	明治22年10月26日	平成12年	10,366	7,934	校舎棟および体育館・新耐震基準 (S57以降建築)	H62	70
71	35	島根小学校	昭和36年10月1日	平成14年	9,240	7,732	校舎棟および体育館・新耐震基準 (S57以降建築)	H64	71
72	03	千寿双葉小学校	平成17年4月1日	平成19年	7,949	7,551	校舎棟および体育館・新耐震基準 (S57以降建築)	H68	72

【中学校】

連番	行政番号	学校名	開校年月日	建設年	敷地面積	延床面積	耐震最低 I S 値	50年到達	連番
1	16	新田中学校	昭和34年9月1日	昭和33年	6,242	4,214	H22移転予定(小中一貫校)	H20	1
2	19	東島根中学校	昭和35年9月1日	昭和34年	12,500	7,269	校舎棟・0.60以上(H8補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H21	2
3	12	第十二中学校	昭和22年4月1日	昭和35年	11,380	7,066	校舎棟・0.71~0.79(H15補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)	H22	3
4	04	第四中学校	昭和22年4月1日	昭和36年	13,863	7,407	平成22年改修終了予定	H23	4
5	09	第九中学校	昭和22年4月1日	昭和36年	13,666	6,884	平成22年改修終了予定	H23	5
6	17	江北中学校	昭和38年4月1日	昭和36年	12,184	7,188	校舎棟・0.75(H13補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H23	6
7	03	千寿青葉中学校	平成15年4月1日	昭和37年	10,390	6,281	校舎棟・0.71~1.40(H20補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H24	7
8	10	第十中学校	昭和22年4月1日	昭和37年	11,212	7,812	校舎棟・0.78~0.79(H11補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)	H24	8
9	20	湘江中学校	昭和35年4月1日	昭和37年	12,205	8,692	校舎棟・0.71~0.74(H9、12補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H24	9
10	22	東綾瀬中学校	昭和39年4月1日	昭和38年	12,658	7,912	校舎棟・0.76~0.85(H11補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H25	11
11	24	花畑中学校	昭和41年4月1日	昭和38年	14,122	6,769	校舎棟・0.71(H9、10補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H25	12
12	07	第七中学校	昭和22年4月1日	昭和39年	10,955	6,158	平成22年改修終了予定	H26	27
13	14	第十四中学校	昭和22年4月1日	昭和39年	14,828	8,092	校舎棟・0.75~0.87(H13補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)	H26	13
14	18	鹿浜中学校	昭和41年4月1日	昭和41年	11,647	6,988	校舎棟・0.72~1.15(H16補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)	H28	14
15	08	第八中学校	昭和22年4月1日	昭和42年	12,662	7,210	校舎棟・0.73~1.09(H17補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H29	15
16	13	第十三中学校	昭和22年4月1日	昭和42年	13,632	8,111	校舎棟・0.78~0.80(H13補強済、一部新耐震基準) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H29	10
17	15	江南中学校	昭和28年4月1日	昭和42年	9,243	5,458	校舎棟・0.75(H10補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)	H29	16
18	05	第五中学校	昭和22年4月1日	昭和43年	11,693	7,294	校舎棟・0.74~0.89(H17補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)	H30	17
19	21	竹の塚中学校	昭和45年4月1日	昭和45年	11,120	7,383	校舎棟・0.72~0.73(H15補強済、一部新耐震基準) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)	H32	19
20	06	第六中学校	昭和22年4月1日	昭和47年	11,290	7,152	校舎棟・0.72~0.87(H17補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)	H34	20
21	25	蒲原中学校	昭和32年4月1日	昭和47年	15,133	7,576	校舎棟・0.75~1.06(H13補強済) 体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H34	18
22	23	青井中学校	昭和48年4月1日	昭和48年	15,701	5,532	校舎棟・0.81~0.99(H19補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)	H35	21
23	26	西新井中学校	昭和50年4月1日	昭和50年	10,830	7,367	校舎棟・0.71~0.72(H18補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)	H37	22
24	27	入谷中学校	昭和51年4月1日	昭和51年	14,686	6,388	校舎棟・0.71~0.74(H20補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)	H38	23
25	28	上沼田中学校	昭和52年4月1日	昭和52年	7,666	4,476	校舎棟・0.72~0.81(H18、19補強済) 体育館・1.15(H18、19補強済)	H39	24
26	29	伊興中学校	昭和53年4月1日	昭和53年	12,640	6,939	校舎棟・0.73~1.01(H19補強済) 体育館・0.81(H19補強済)	H40	25
27	30	花畑北中学校	昭和53年4月1日	昭和53年	13,223	7,387	校舎棟・0.71(H20補強済、一部新耐震基準) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)	H40	26
28	31	谷中中学校	昭和54年4月1日	昭和54年	13,195	6,957	校舎棟・0.71~0.97(H14補強済) 体育館・0.97(H14補強済)	H41	28
29	32	花保中学校	昭和54年4月1日	昭和54年	12,455	7,403	校舎棟・0.71~0.72(H14補強済) 体育館・H21耐震診断予定(H22補強工事予定)	H41	29
30	11	第十一中学校	昭和22年4月1日	昭和55年	13,227	7,817	校舎棟・0.71(H13補強済、一部新耐震基準) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)	H42	30
31	33	栗島中学校	昭和56年4月1日	昭和56年	11,859	6,759	校舎棟・0.73~0.79(H19補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)	H43	31
32	34	扇中学校	昭和57年4月1日	昭和57年	15,852	5,614	校舎棟・0.72(H20補強済) 体育館・耐震診断中(H21補強工事予定)	H44	32
33	35	加賀中学校	昭和59年4月1日	昭和59年	11,459	8,098	校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H46	33
34	37	六月中学校	昭和62年4月1日	昭和62年	16,084	8,433	校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H49	34
35	36	入谷南中学校	昭和61年4月1日	平成2年	14,249	7,373	校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H52	35
36	01	第一中学校	昭和22年4月1日	平成17年	9,270	7,853	校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H67	36
37	02	千寿桜堤中学校	平成17年4月1日	平成17年	7,756	8,120	校舎棟および体育館・新耐震基準(S57以降建築)	H67	37



足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて

- これからの25年を考える適正規模・適正配置のガイドライン -

発 行 足立区教育委員会

編 集 足立区教育委員会事務局  
学校教育部 副参事（学校適正配置担当）  
住所：足立区中央本町一丁目17番1号  
電話：03-3880-5111（代表）内線3535

発行年月 平成21年5月